

42877

教科書文庫

4
290
42-1929
2000 31336

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

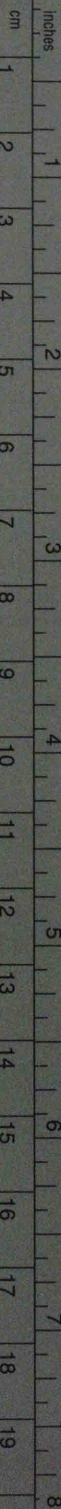


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

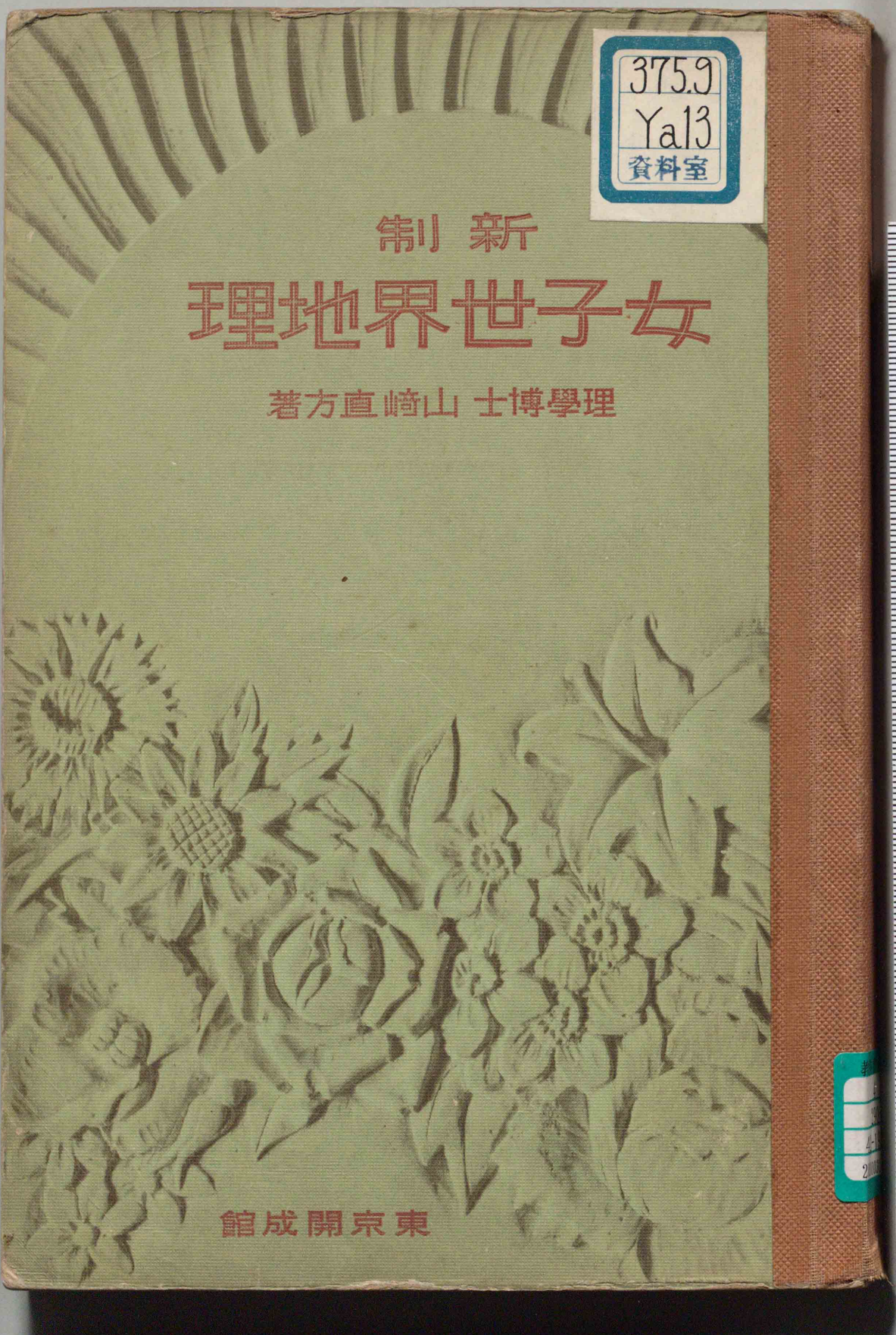


375.9
Ya13
資料室

新制 地理世界子女

著方直崎山 士博學理

館成開京東



資料室

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

資料室

教科書文庫
4
290
42-1929
2000031336

新制 女子世界地理

理學博士
山崎直方
著

昭和四年二月一日
文部省檢定
高等女子學校・師範學校
地理科用

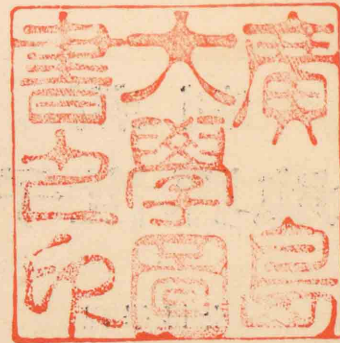
東京開成館

広島大学図書
2000031336

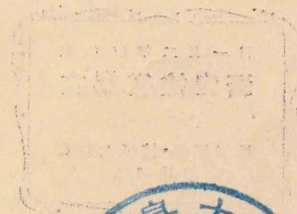

3959
1813

表紙の圖案は主要な外國國花を集めたものである。
因みに國花として擧げられるのは左の通りである。

イギリス	ドイツ	インド	支那	日本	フランス	イタリヤ	ニッパ	アメリカ
ばら	ぎく	けしき	ぼたん	さくら	あじさい	ひなぎく	たばこ	さんざん
らん	くま	し	たん	ら	め	く	な	らん



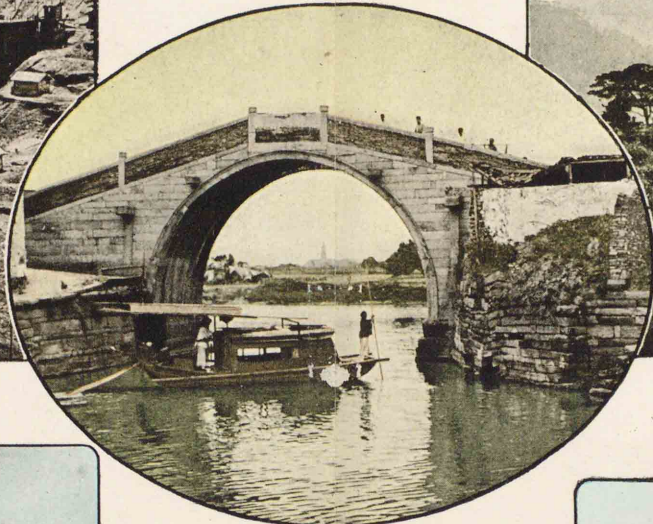
由 德 島 氏



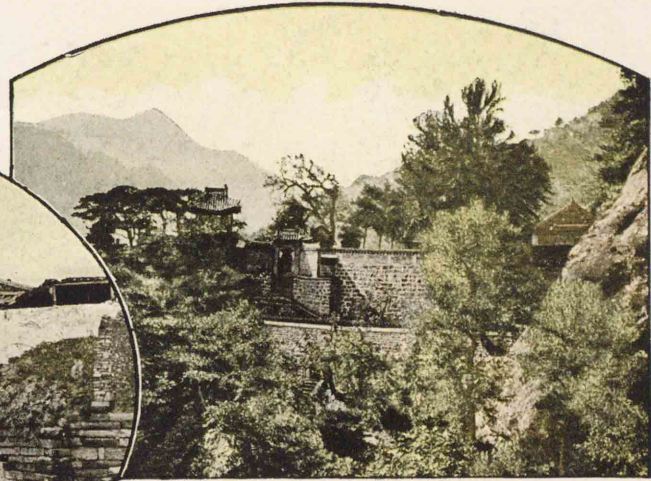
東京關銀齋



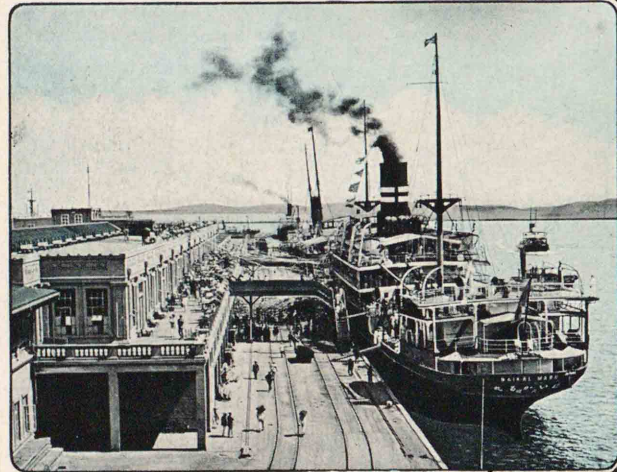
掘天露の田炭順撫



(州蘇)橋楓

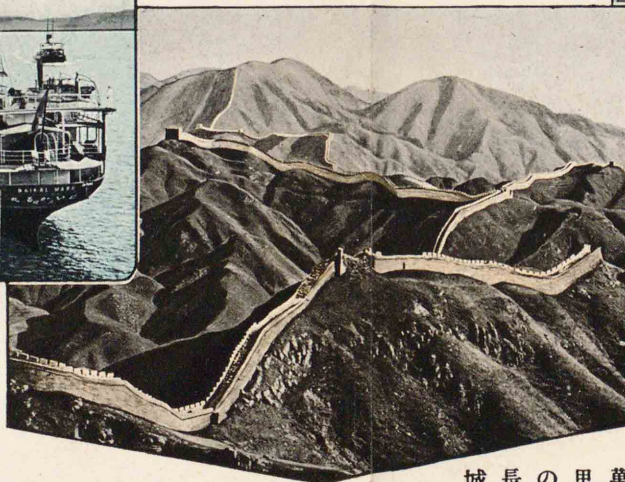


山 千

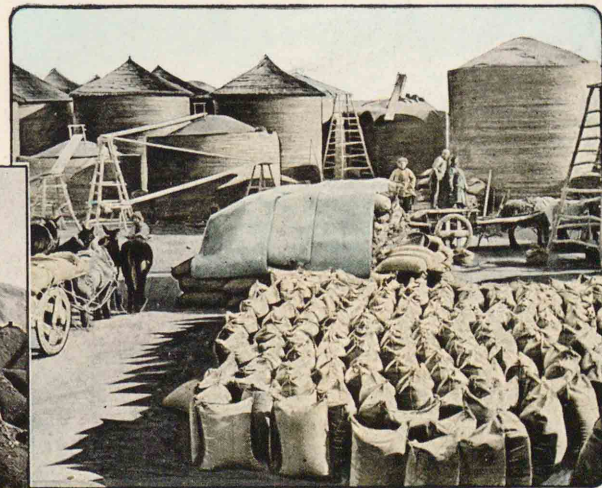


頭埠の連大

頭埠 三才



城長の里萬



(原開)積野の豆大

新女子世界地理

目次

前編 滿洲

第一章 關東州……………一頁

第二章 滿洲……………五

第一編 アジヤ

第一章 總論

一 地文……………三

二 人文……………八

第二章 東部アジヤ

支那……………二四

一 支那本部……………三

二 蒙古……………四〇

三 新疆省……………四一

四 青海……………四一

五 チベット……………四三

第三章 南部アジヤ

一 インドシナ半島……………四四

二 シヤム……………四五

三 イギリス領インドシナ……………四七

四 マライ諸島……………四九

五 インド……………五三

第四章 西部アジヤ

一 イラン地方……………五九

二 トルコその他……………六一

三 アラビヤ……………六三

第五章 北部アジヤ並に

中部アジヤの一部

アジヤロシヤ……………六五

一 シベリヤ……………六五

二 中央アジヤ……………七三

三 コーカシヤ……………七五

第二編 ヨーロッパ

第一章 總論

一 地文……………七

二 人文……………八一

第二章 東部ヨーロッパ

一 ソヴィエツト聯邦……………八七

二 フィンランド……………九一

三 バルト海沿岸諸國……………九二

第三章 北部ヨーロッパ

一 スウェーデン ノルウェー……………九二

二 デンマルク……………九六

第四章 中部ヨーロッパ

一 ドイツ……………九

二 ホーランド……………一〇五

三 ダンチヒ……………一〇七

四 オランダ……………一〇七

五 ベルギー……………一〇

六 スイス……………一一

七 オーストリア……………一一五

八 チェコスロヴァキヤ……………一二六

九 ホンガリヤ……………一二八

第五章 西部ヨーロッパ

一 イギリス……………一二九

二 フランス……………一二九

三 イスパニヤ ホルトガル……………一三六

第六章 南部ヨーロッパ

一 イタリア……………一四〇

第三編 アフリカ

第一章 總論

一 地文……………一五

二 人文……………一五

第二章 北部アフリカ

一 バルバリ諸國……………一五

二 エジプト……………一六

三 サハラ……………一六

第三章 中部アフリカ

一 スタン地方……………一六

二 下ギニー地方……………一七

三 東岸地方……………一六

第四章 南部アフリカ

南部アフリカ……………一六

第五章 アフリカの屬島

アフリカの屬島……………一七

第四編 アメリカ

第一章 總論

一 地文……………一六

二 人文……………一六

第二章 北アメリカ

一 カナダ……………一八

二 グリーンランド……………一七

三 アメリカ合衆國……………一八

四 メキシコ……………一〇〇

五 中部アメリカ……………一〇一

六 西インド諸島……………一〇四

第三章 南アメリカ

一 地文……………一〇七

二 人文……………一一

三 西北部諸國……………一一

四 北部諸國……………一三六

五	ブラジル	二二六
六	南部諸國	二二〇
第五編 オセアニヤ		
第一章	總論	二三四
第二章	オーストララシヤ	
一	オーストラリア	二二七
二	ニュージラランド	二三四
第三章	ポリネシヤ	二二五
第四章	メラネシヤ	二二七
第五章	ミクロネシヤ	二二八
第六編 兩極地方		
		二二三



新制 女子世界地理

理學博士 山崎直方著

前編 滿洲

第一章 關東州(日本租借地)

面積 約三四〇〇方里
(二二〇方里)

■地文 關東州は支那滿洲の西南部に位する遼東半島の南部を占め、東南は黃海に、西北は渤海灣ボホカイに面し、南は直隸海峽チリキカイを隔てて、支那の山東半島に對してゐる。面積はわが伊豆半島の約二倍に等しい。

一般に丘陵性で、海岸は出入多く、大連灣は南から、金州灣は西北から彎入して、金州地峽を造り、また半島の南端には旅順の良港がある。東方の海上には長山列島が横はる。

密度 約二三〇人
密度は一方軒に
ついての人口密
度を示す、以下
皆同じ。

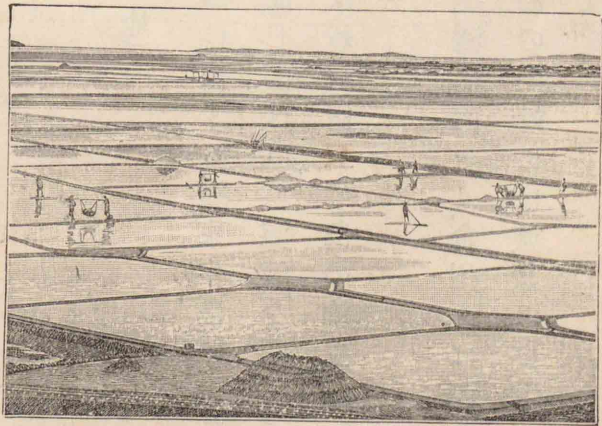
氣候は冬寒夏暑共に厳しく、冬季は海水の結氷する處がある。雨量は初夏の雨季の外は極めて少い。

■人文 人口は約七十七萬ある。

その大部分は支那人で、わが國人は約十萬に過ぎない。わが國は明治三十八年からこの地方を支那から租借し、關東廳を置き、關東長官にその行政を統べさせてゐる。

陸には玉蜀黍高粱大豆を産し、また豆粕豆油を造り、沿海には天日製鹽業及び漁業が行はれる。

南滿洲鐵道は大連に起つて、東北に進み滿洲の南部を貫き、また支線を旅順へ出す。海上には大連より、わが内地朝鮮支那本部及



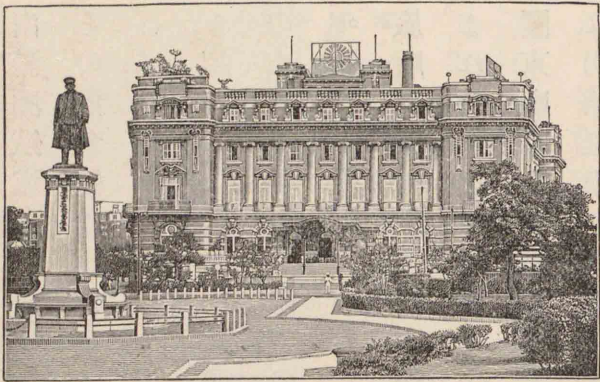
天日製鹽

都市の下に註記したのは萬を單位とする人口の概數である、以下皆同じ。

大連の西南に星ヶ浦の勝地がある。

前景は大連の中央にある大廣場で、左方にあるのは大島大將の銅像である。

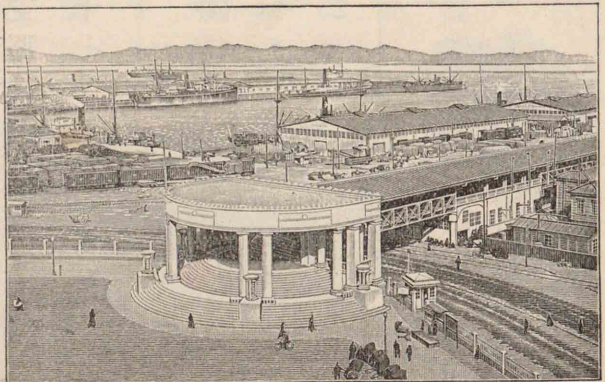
大連の連マヤホトル



び遠くヨーロッパの諸港に航路が開けてある。

■地方誌 大連市は大連灣岸の開

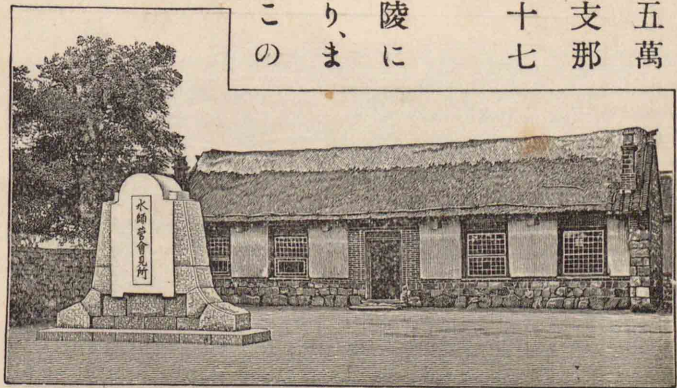
港場で滿洲の門戸にあたり、街路が廣く、壯大な建築が多い。港の設備はよく整つて、大汽船の出入、繫留に便利である。わが内地との貿易が盛で、滿洲産の豆粕大豆石炭等を輸出し、機械綿織物麻袋等を輸入する。



大連埠頭

旅順を距る西北四軒にあつて、明治三十七八年戦役の折わが乃木將軍と敵將ステッセル中將と會見した所である。

南滿洲鐵道會社はここに本社を置いて、南滿洲に於ける鐵道・鑛山その他各種の經營を力め、大にその成績を擧げてゐる。わが國人の大連市内外に住むものは五萬人を超える。金州は大連の北にある純支那風の市街である。附近の南山は明治三十七八年戦役に激戦のあつた處である。旅順市は關東州の南端に近く位し、丘陵に包まれた天然の要害で、今は開港場となり、また關東廳高等法院、工科大学等がある。この地は明治二十七八年及び同三十七八年の兩戦役に、壯烈な戦の行はれた處で、二百三高地、東雞冠山等の戦蹟の名が大に著はれてゐる。



水師營

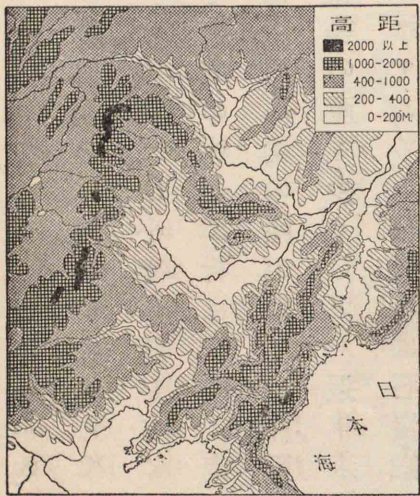
第二章 滿洲

面積 約九四萬方軒 (六萬方里)

滿洲は一に東三省と稱せられる。

人口 約一四人

滿洲地形圖



地文 滿洲は支那の東北に位し、面積はわが國の約一倍半に及ぶ。東南部には長白山脈、本幹山脈、西部には興安嶺が連り、松花江及び遼河流域の大沃野がその間に横はつてゐる。氣候は大陸性で寒暑の差が甚しい。夏は屢大雨があつて、道路が泥濘を極め、冬は河水が凍結して、氷上を車馬が往來する。

人文 域内は奉天、吉林、黒龍江の三省に分かれ、人口は約千三百萬ある。古來の住民は滿洲族であるが、後に漢族が支那本部から移つて來て、今はその人口の過

南滿洲では夏季山
東半島から出稼苦
力の入込むものが
夥しい。

紙の一種、天竺に
似る、黄カッパ、初
三月かどり、うぐ
みさかじは、母を
まやは黄カッパし
よく支那でし
い、くわさかじは、
まのりから、紙を
とり、うぐさかじ
とす、年三、二
三、生

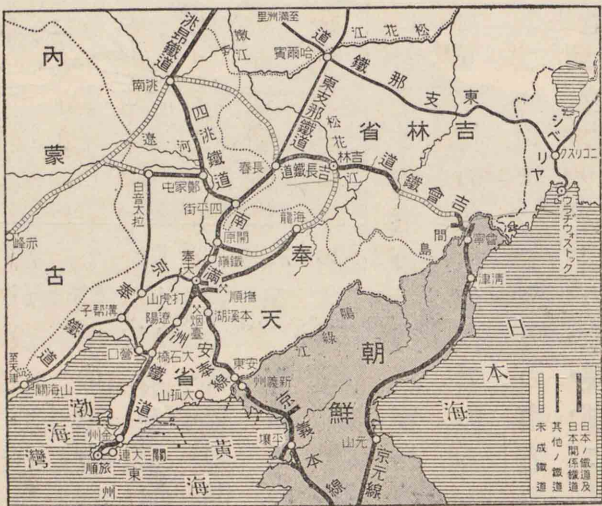
半を占めてゐる。近年わが内地人及
び朝鮮人の移住者が次第に多い。
北滿洲には小麥の産が多く、また羊
その他の牧畜が行はれる。南滿洲に
は大豆・高粱の産が夥しく、柞蠶絲・煙草・
鹽等の産も少くない。近年米作も行
はれてゐる。鑛産には石炭・鐵鑛があ
り、林産は鴨綠江岸に多い。
地方誌 一奉天省は滿洲の南部
に位する。南滿洲鐵道はその南端に
ある關東州に起つて北に走り、東支那鐵道に連絡する。もとロシ
ヤの敷設したものであるが、明治三十七八年戰役の結果、その支線
鐵道附屬地及び附近の炭坑と共に、わが國に割讓させたのである。



(江花松) 氷結の流河

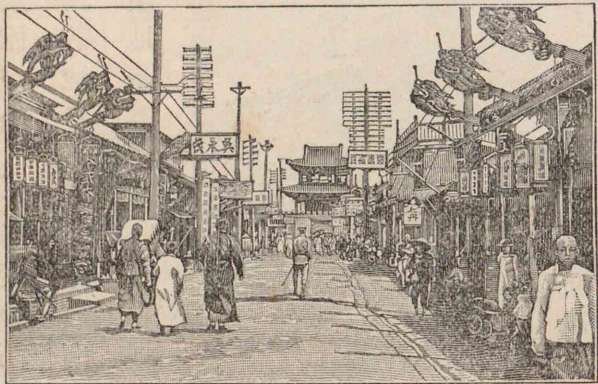
小西門外の景
で、わが國人の
商店が混じつて
ゐる。

滿洲に於ける鐵道



その幹線と朝鮮の京義線とを連
絡する安奉線は、始めからわが國
の敷設したものである。また吉
長・四洮
等の鐵
道も、南
滿洲鐵
道と連
絡する。
この他

支那本部に通ずる京奉鐵道がある。
省城奉天(五)は遼河平野の中央に位し
て、滿洲の政治・交通・商業の大中心である。

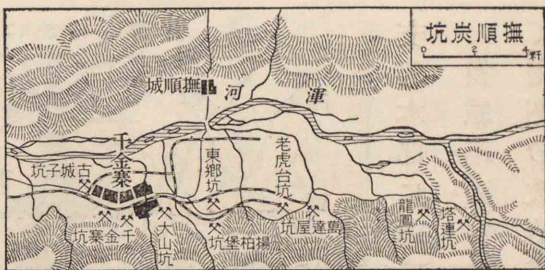


奉天市街

奉天にわが總領事館、遼陽・營口・安東・鐵嶺にわが領事館がある。

近時漢族の東部内蒙古に入つて都邑を造るものが漸く多く、従つて奉天省の領域は著しく西方に延びた、鄭家屯・洮南等はこゝの地方の中心市である。

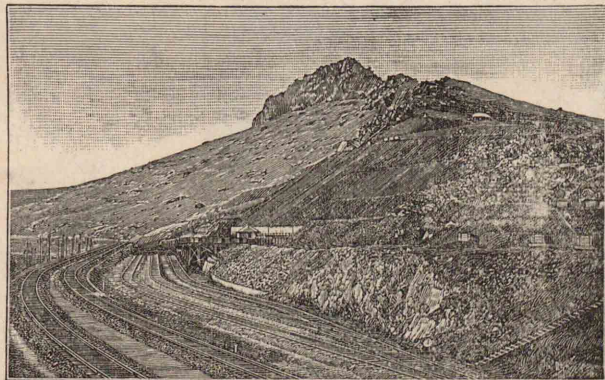
鞍山の一、西鞍山で、南滿洲鐵道がその麓を走り、線路に沿つて鐵鑛床が露出してゐる。



州に對する開港市で、交通貿易の要點にあたり、木材の集散が盛である。安奉線はここから起つて、奉天の南方で南滿洲鐵道に連る。沿線の本溪湖には鐵鑛石

その東方には撫順の大炭田がある。奉天の南方にある遼陽は農産物の集散地である。その南方の鞍山附近には鐵鑛の産地があつて、壯大な製鐵所が設けられてゐる。

鞍山の東方に千山の勝地がある。遼河の口に近く營口の開港場がある。鴨綠江の下流に沿ふ安東は朝鮮の新義



鞍山鐵山の露天掘

吉林・哈爾濱にわが總領事館、長春にわが領事館がある。

長春驛に於ける日支列車の連絡ホーム、機關車は東支那鐵道のものである。

東京から哈爾濱まで急行で三日餘を要する。

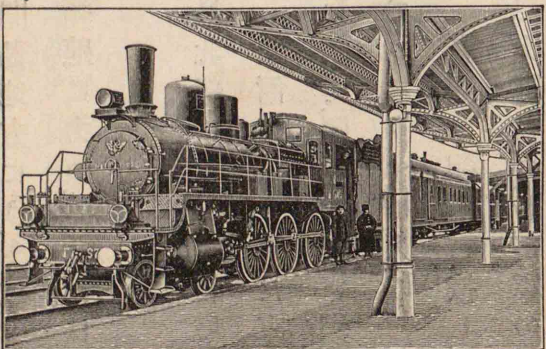
安東の木材集積



炭を産する。

(二) 吉林省は奉天省の東北に隣つてゐる。省城吉林は松花江に臨み、木材・煙草・毛皮を集散する。その西にある長春は南滿洲鐵道の終點にあたり、大豆その他の取引が盛である。東支那鐵道はここに起り、哈爾濱に至つて二つに分れ、一線

は東南に進んでウラヂウオストックに向ひ、他は西北に走つて黒龍江省に入る。ロシヤ人は哈爾濱に壯大な市街を經營してゐる。

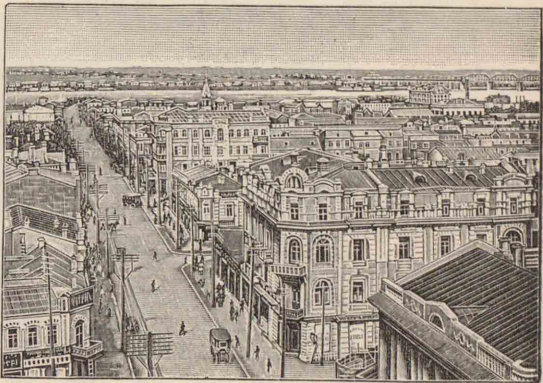


長春停車場

龍井村にわが總領事館がある。

齊齊哈爾・滿洲里にわが領事館がある。

哈爾濱市街



豆滿江北岸の間島地方には、多數の朝鮮人が移住して、拓殖に力め、龍井村はその中心地である。

(三) 黒龍江省は最北部にあつて、省城を齊齊哈爾といふ。哈爾濱から來た東支那鐵道は興安嶺を越え、國境に近い滿洲里の商市を過ぎて、シベリヤに入る。

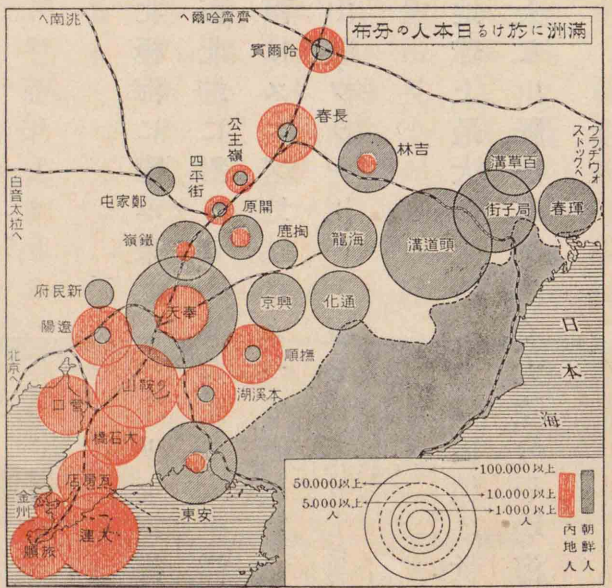
四 滿洲と日本 滿洲は朝鮮に接し、その南部は明治の二大戦役に、わが軍の奮戦した處であるから、その關係は自ら他と異つてゐる。またわが國の有する鐵道はこの地方の要處を連ね、朝鮮の幹線とも連絡してゐる。

撫順の石炭はわが國人が採掘し、鞍山の鐵礦及び鴨綠江岸の森

わが内地との貿易額は年約一億圓に上る。

林は日支人が共同して採掘伐木してゐる。また滿洲に産する大豆、豆粕、豆油等は多くわが内地に送られ、わが内地産の綿織物、綿絲、機械等は滿洲の各地に廣く供給せられる。

わが内地人及び朝鮮人の移住者も次第に増加し、安東、奉天等にはわが内地人の新市街が經營せられ、いづれも道路が廣潤で、壯大な家屋が多く、また各種の施設もよく備つてゐる。朝鮮人は主として農業に従事し、滿洲に於ける米作の發達は、その力による處が多い。



第一編 アジヤ

第一章 總論

一 地文

✕ 境界 アジヤ大陸は、北は北極海に臨み、東北はベーリング海峡を隔てて、北アメリカ大陸の西北端に對する。また東は太平洋に臨み、南はインド洋に面し、西南はスエズ地峽によつて、僅にアフリカ大陸に連り、西方はウラル山脈、ウラル川等を境として、ヨーロッパ大陸に接する。

■ 地形 (一) 總説 アジヤは地球上最大の大陸で、その面積は世界全陸地の三割に近く、また高大な山脈、臺地が多く、大陸の平均海拔は一千米を超えてゐる。

アジヤ・ヨーロッパの兩大陸を合して、ユーラシヤ大陸と稱する。

面積 約四四〇〇萬方
 約四四〇〇萬方
 二九〇萬方里

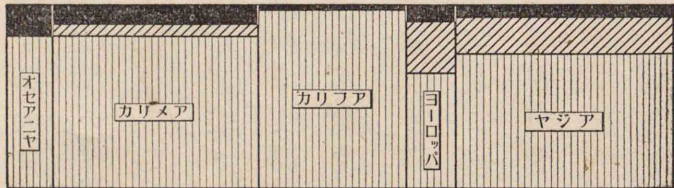
大陸	軀幹	半島	島嶼
アジヤ	七六%	一八%	六%
ヨーロッパ	五五%	三三%	一%
アフリカ	六六%	〇	三
アメリカ	五五%	五	二〇
オセアニア	五五%	〇	二五

アジヤの半島・島嶼の面積は大陸全面積の約四分の一にあたる。

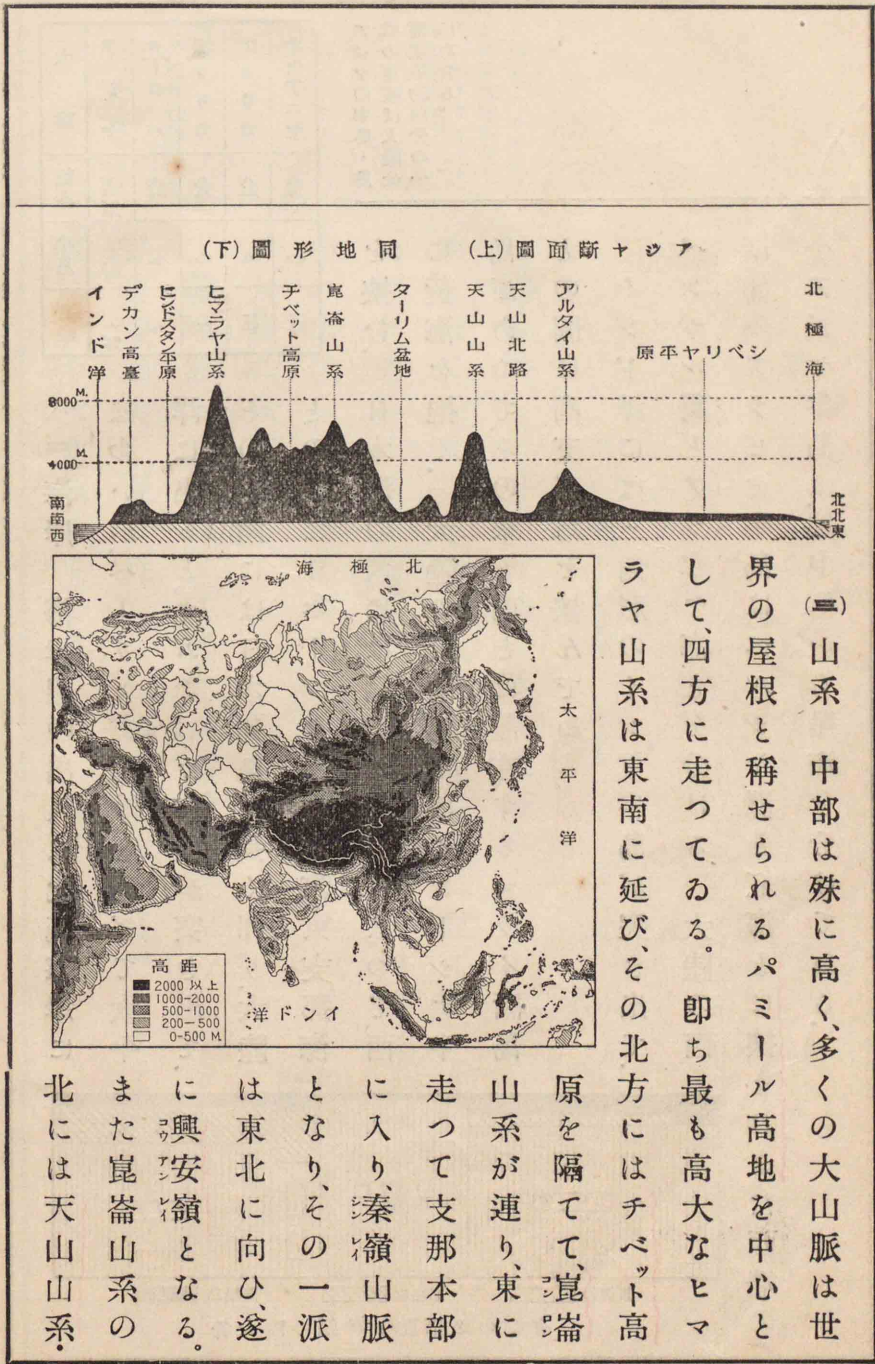
(二) 海岸 海岸線の出入は北極海岸に

は少いが、ベーリング海峡を過ぎて太平洋に出ると、カムチャッカ半島が突き出て、その西南には日本列島が長く列り、大陸との間にオホーツク海、日本海、東支那海を挟む。日本海の西には朝鮮半島が横はつて、西に黄海を抱く。大陸の東南部にはインドシナ半島があつて、その東と南とに散在するマライ諸島との間に、南支那海を挟んでゐる。

インド洋には三角形のインド半島が突き出て、ベンガル灣とアラビヤ海とを分ける。大陸の西南部のアラビヤ半島は、ペルシヤ灣と紅海とに挟まれ、また西端の小アジヤ半島は、地中海から黒海を分けてゐる。



合割のと節肢と幹軀の陸大各



(三) 山系 中部は殊に高く、多くの大山脈は世界の屋根と稱せられるパミール高地を中心として、四方に走つてゐる。即ち最も高大なヒマラヤ山系は東南に延び、その北方にはチベット高原を隔てて、崑崙山系が連り、東に走つて支那本部に入り、秦嶺山脈となり、その一派は東北に向ひ、遂に興安嶺となる。また崑崙山系の北には天山山系

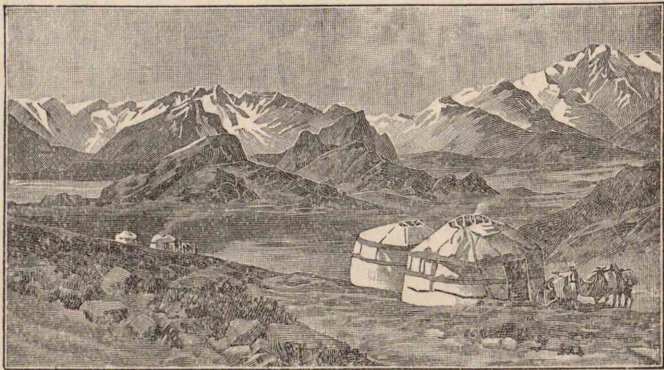
大陸の邊縁には火山が甚だ多く、日本列島・マライ諸島に最も著しい。

アルタイ山系があつて、これらの間には、ターリム盆地、ゴビ沙漠が横はる。

東北部は山がちであるが大山脈が少い。東南部にはインドシナ山系がある。またヒンヅークシ山脈はパミール高地から西南に延びて、イラン高臺を包み、その餘脈は遠くヨーロッパに及んでゐる。

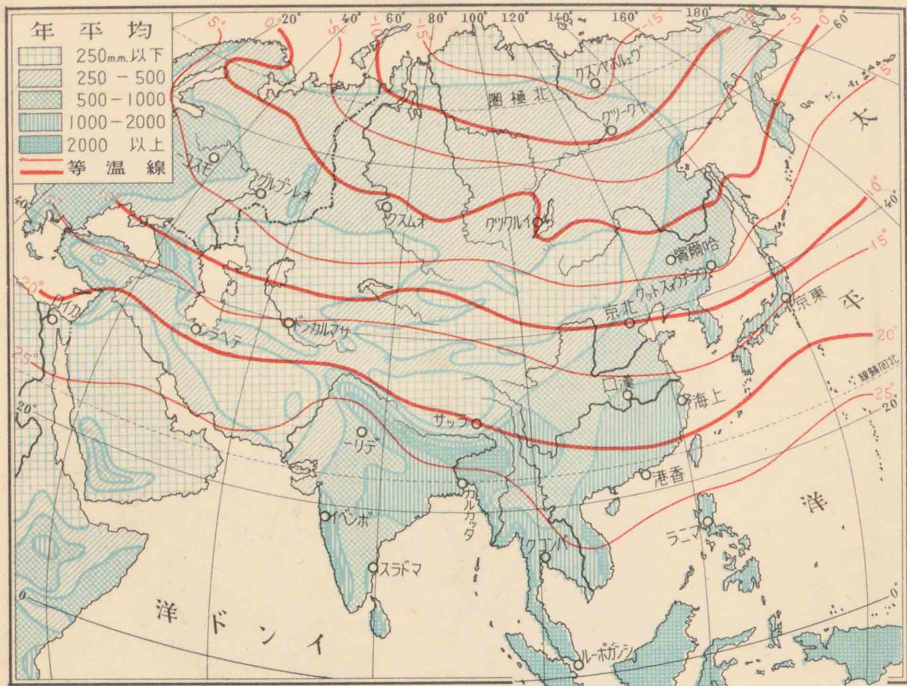
これらの山系の外部には、インド半島にデカン高臺があり、アラビヤ半島も沙漠の高臺である。そして北部シベリヤ地方、支那東部、インドの諸大河の流域及びイラン・アラビヤ兩高臺の間には大平原が展けてゐる。

(四) 水系 おもな河は大陸の中部、高臺地方に源を發して太平洋

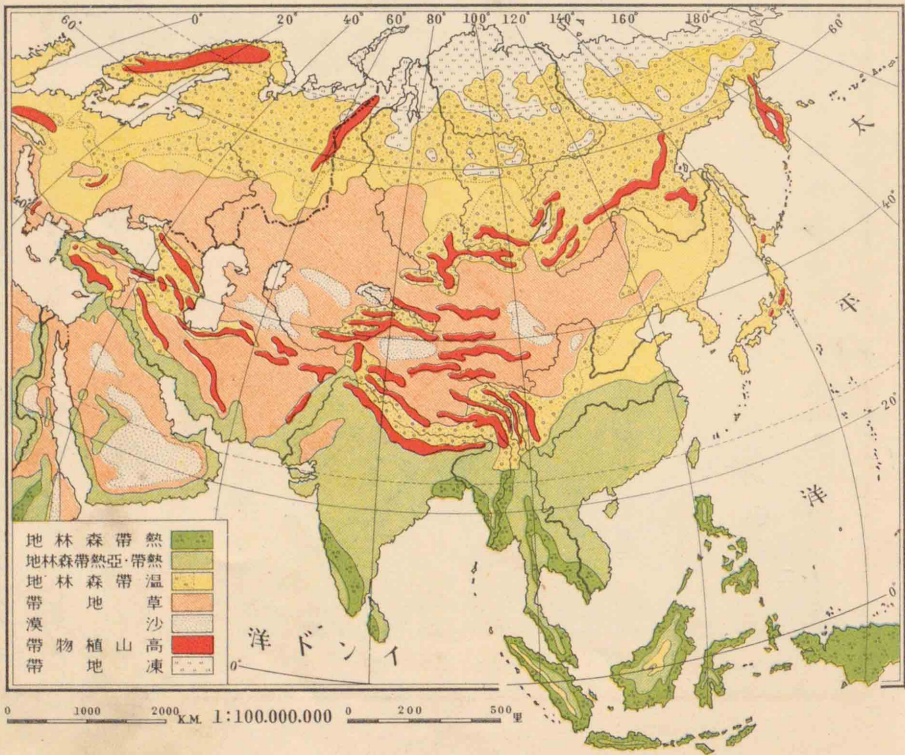


地高ル - ミバ

布分量雨及線温等アジア



布分物植アジア



南部及び東部の地方は毎年季節を定めて一定の風が吹くから季節風帯地方と稱せられる。

(域流陸内は線斜) 系水のアジア



がある。

気候 アジヤは面積が廣大で、且つ地形が複雑であるから氣候が一樣でない。南部・東部には、夏季海上から吹く季節風が多量の雨を降らし、植物がよく生育する。中部地方は寒暑の差が甚しく、且つ海洋から來る濕氣も多くはその周圍の山脈に吸収せられ

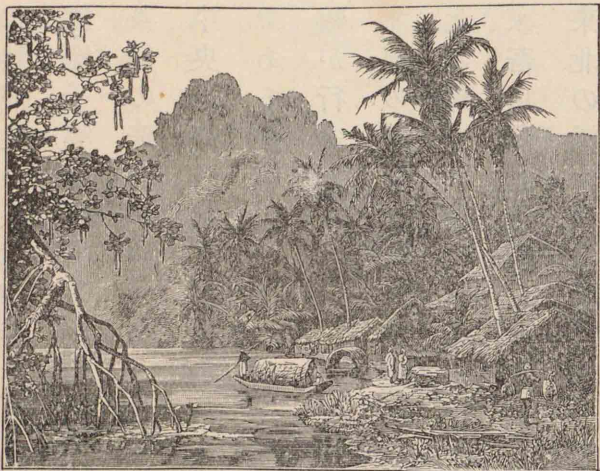
インド洋北極海の三斜面を流れる。ただ大陸の中央部からその西にかけては、河流は内陸流域を造り、カスピ海等の鹹湖に注いでゐる。
太平洋斜面には黒龍江、黄河、揚子江があり、インド洋斜面にはガンガ川、インヅス川があり、また北極海斜面にはレナ、イニセイ、オブの三大河

シベリヤ、ヴェルホヤンスクの一月平均気温は零下五〇・五度である。

圖の右方には椰子、左方にはマングローブの森が見える。

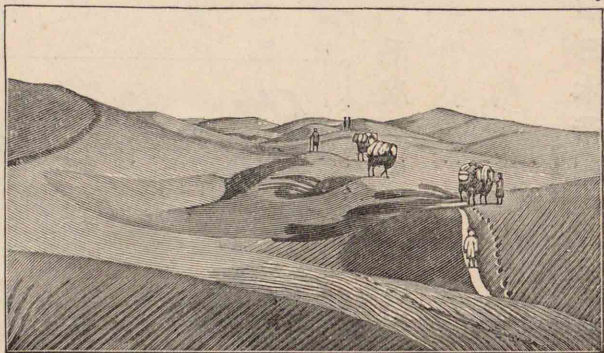
虎は東部地方にも棲む。

南部ジャバ熱地帯の風景



て、雨が乏しく、沙漠になつてゐる處が多い。北部は甚だ寒冷で、殊にシベリヤの東北部は世界の寒極と稱せられる。また西部では地中海、黒海の沿岸は氣候が溫和であるが、イラン、アラビヤの高臺は酷熱で雨が少く、多くは沙漠になつてゐる。

四 生物界 南部の暖い地方には、象・虎・獅子・孔雀・大蛇等の動物が棲む。



中部ジャバの沙漠(ラクマカ)

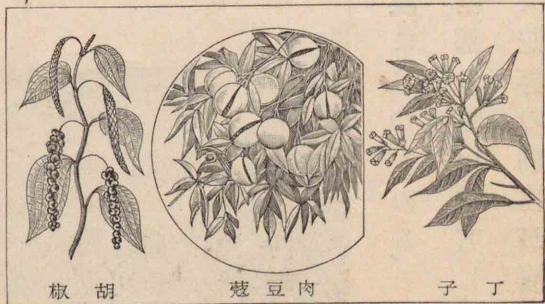
また熱帯性の森林が深く、且つ種々の香料^{コショウ}甘
蔗^{カンザク}、椰子等を産する。南部東部の平原^{コシノ}には、
米・茶等の産出が極めて多い。

中央高臺及び西部地方は土地が多くは不
毛であるが、草地のある處には馬・羊・駱駝等の
放牧が行はれる。

北部の平原には針葉樹の森林帯があるが、
最北の地方は植物が極めて乏しい。動物に
は家畜に馴鹿、野獸に白熊、貂、狐等がある。ま
た東北の沿海には獵虎、臘腸、罽等が多く、よい毛皮を供給する。

二 人 文

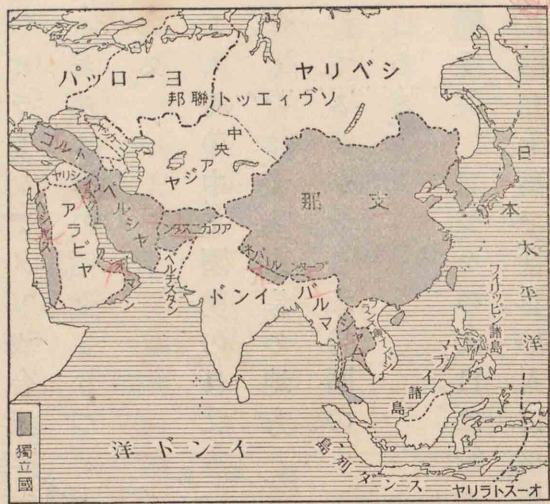
■ 國家 アジヤには獨立國としてはわが日本帝國を始として、



物植料香るす産にヤジヤ

もとトルコ領であ
つた處の大部分は
國際聯盟に管理せ
られてゐる。

布分家國ヤジヤ



支那、トルコの二共和國、シヤム、アフ
ガニスタン、ペルシヤ、ヘヂヤズの四
王國と數多の小國とがあるのみ
で、その餘は概ねヨーロッパ、アメリ
カ諸國の領地である。

これらの國土の分布を見るに、
東部海岸地方から遠く中部にか
けて、廣大な支那共和國がある。

南部にあるインド半島は、概ね
イギリスの領地で、ヒマラヤ山間にはネパール王國、ブータン酋長
國がある。インドシナ半島の中部にはシヤム王國が孤立し、その東
隣はフランスに、西隣及び南隣はイギリスに屬する。

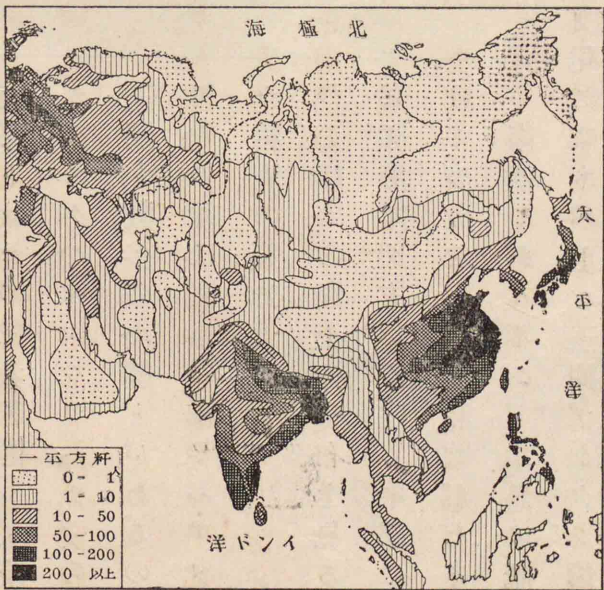
西部のイラン高臺には、アフガニスタン、ペルシヤの二王國があ

る。極西の地方はトルコ共和国に屬し、アラビヤ半島は概ねイギリスの勢力範圍となり、東岸にオマン酋長國、西岸にはヘヂャズ王國がある。大陸の北部一帯の地はソヴェエト聯邦に屬する。この他大陸の東南にあるマライ諸島は、オランダ・アメリカ合衆國・イギリス等の領土となつてゐる。

わが國は支那・シヤム・トルコの三國と通商條約を結んでゐる。

これらの中で國勢の日に盛なもの、大陸東岸の地方に位するわが大日本帝國のみである。

● 住民 アジヤの人口は約八億九千萬で、世界總人口



アジヤ人口密度度

アジヤに於ける人口の密度は、ヨーロッパの二分の一に足りない。

世界各大陸一方料の平均人口密度は左の通りである。

- ヨーロッパ 興人
- アジヤ 三人
- アフリカ 五人
- アメリカ 五人
- オセアニア 一人

の過半を占めてゐる。その最も密な處はわが國を始として、支那及びインドに於ける大河流域の平野であつて、中部北部は概ね甚だ疎である。

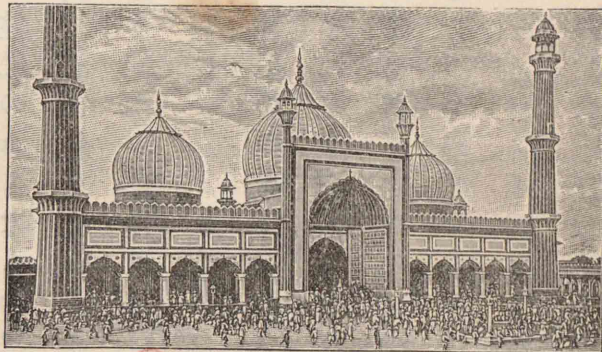
住民のおもなものはアジヤ人種(蒙古人種)で、大陸の東部から中部及び北部に住む。ユーラフリカ人種(コーカシヤ人種)はこれに次いで多く、西部と南部に住する。また東南部のインドシナ半島からマライ諸島にかけては、海岸島嶼種族に屬するものが多い。

住民の開化は一様でない。支那インド等は、上古には甚だよく開けたことがあるけれども、今はその文明が後進のヨーロッパ諸國の下に落ち、その他の地方は、文化の程度が更に一層低い。この間にあつて、獨りアジヤに於ける文明の先導者たる任を全うするものは、わが日本國民である。

◎ 宗教 世界の大宗教はいづれもアジヤに起つたものである

大工業の盛でないのは、鐵・石炭の採掘がなほ不十分なのがその一因である。

(ドジスママヤジ) 院寺教トメホマのーリテ、ドンイ



から、この大陸に行はれる宗教の種類は甚だ多い。佛教は最も弘く行はれ、特に東部東南部に盛である。ヒンヅー教はインドに行はれ、マホメット教は西部を主として、更に南部からマライ諸島に及ぶ。その他儒教・道教は支那に行はれ、キリスト教も次第に各地に信奉せられてゐる。

はまだ盛でない。しかしわが國・支那・インド等には農産物・工藝品等の産が多いから、貿易も盛に行はれる。

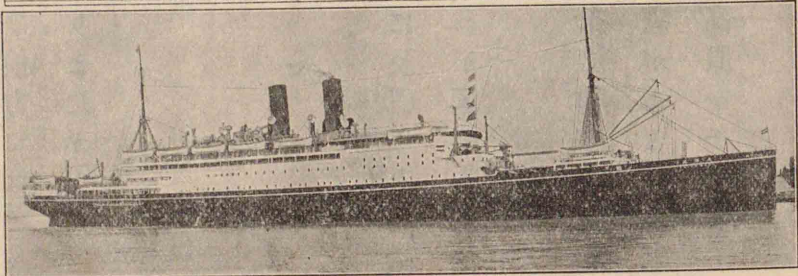
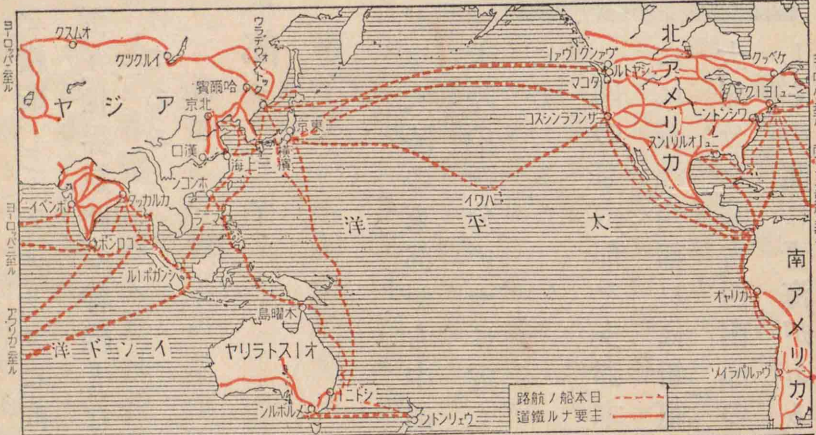
五 交通 鐵道はその延長がなほ甚だ短いけれども、わが國・イン

鐵道の延長は世界全長の十二分の一に過ぎない。

鐵道延長
世界 約一五萬軒
アジヤ 約九・五萬軒

電信線路も、西はヨーロッパ、東はアメリカ、南はオーストラリアに通じ、無線電信局も沿岸の要地に設けられてゐるから世界の通信には今は不便がなくなつた。

ド等には比較的發達してゐる。また北部アジヤにはシベリヤ鐵道があつて、ヨーロッパと太平洋岸との交通を便にしてゐるが、大陸の内地はなほ交通の不便な處が多く、僅に駱駝馬等の背を借りてゐる。しかし海上の交通はよく發達し、わが國及び諸國の汽船は東部の諸港



(下) 丸洋大船汽の大最國がわ (上) 線通交要主るけに洋東

から、一方には太平洋を横断してアメリカに向ひ、他方にはインド洋を経てヨーロッパに至り、世界航路の幹線となり、またオーストラリア等への航路も開けてある。

第二章 東部アジヤ

支那

■ 境域

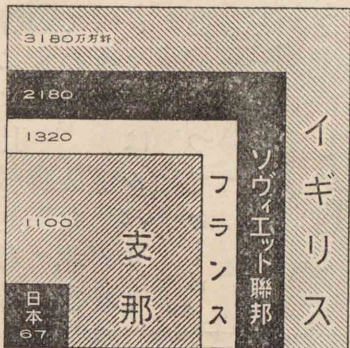
支那はアジヤ大陸の東部から中部に及び、その面積は大陸の四分の一に近く、わが國の十六倍餘にあたる。

國の東南部を支那本部と稱する。東北部には滿洲、西部には新疆省がある。北部の大部分を蒙古、西南部の高原をチベットと稱し、その間に青海がある。

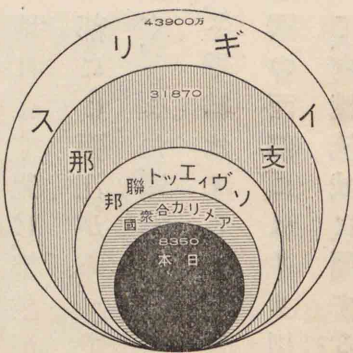
面積
約一〇〇萬方
里(七〇萬方里)

支那の國土の廣大なことはイギリス・ソヴェット聯邦・フランスに次いで世界の第四位である。

主要全國領土比較



主要全國人口比較



■ 地形

國の西半は土地が概ね高く、ヒマラヤ・崑崙アルタイ等の大山系の連る間には、高原盆地が横はつて、多くは沙漠または草地である。東部に行くに従つて、土地が次第に低く、崑崙山系は支那本部に入つて、秦嶺山脈(嶺北)となり、インドシナ山系は支

那本部の西境を南走する。別に支那本部の南部には、西南から東北に連る南嶺がある。海岸及び大河の沿岸には豊沃な平野が少くない。

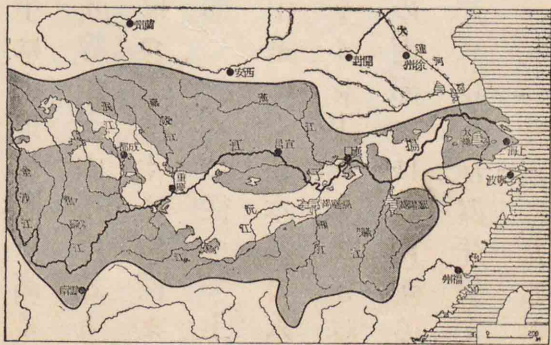
海岸線は比較的短い。北部には遼東・山東の兩半島が突き出て、黄海から渤海灣を分ける。南部の東支那海及び南支那海に面する處は、小出入が多くて良港灣に富む。

國の東部は太平洋斜面に屬する。黄河は崑崙山系から發し、秦

黄河の流域には黄土が多くて河水も黄濁を帯びてゐる。それゆゑ黄河の名が出たのである。

揚子江流域の面積は殆ど支那本部の半に等しく、本流は船舶の通ずる處が約二千七百軒に及ぶ。

嶺山脈の北に出で、廣大な平野を造り渤海灣に注ぐ。下流は屢洪水を起して、河道の變遷が甚しいので、この國第二の大河であるが、舟運の便が乏しい。揚子江も崑崙山系の中央より出で、インドシナ山系の間を流れて東に折れ、四川盆地の水を集めて峽流となり、終に平野に出て多くの支流を合し、東支那海に注いでゐる。江はアジア第一の大河で、四川盆地以下は舟運の便がある。沿岸の地はよく開け、都邑が極めて多い。支那南部には西江があつて、東流して廣東灣に注ぐ。また滿洲には遼河及び松花江があり、冬季結氷する時の外は水運の便がある。國の西部にはイリ川、タールム川等があつて、内域流域に屬する。

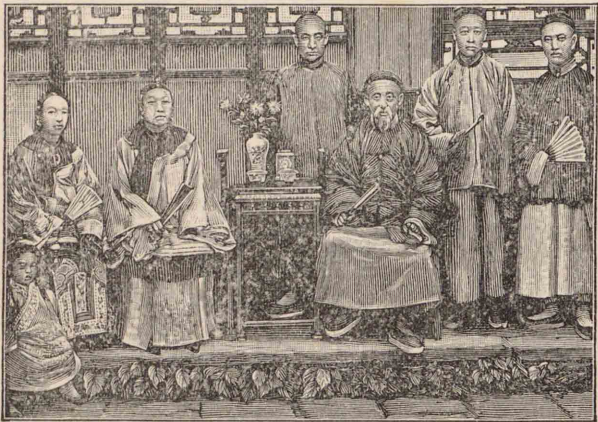


揚子江流域

密度 約二九人

外國に在留する支那人の数は約七百萬に上る。勞銀の低廉なを厭はないので、白人に忌まれ、その移住を拒まれる處がある。

漢族の家庭



三 氣候 内地は大陸性氣候で、降雨の量が極めて少い。支那南部の南部及び中部は溫暖で、夏季、季節風の吹く頃は雨量が少くない。しかし北部の冬季は、北アジア極寒の影響を受けて甚だ寒く、河水は結氷する。

四 住民 人口は約三億二千萬ある。その大部分は支那本部及び滿洲に集まつてゐる。人種はアジア人種に屬し、漢滿洲、苗、トルコ蒙古及びチベットの六種族に分かれる。漢族は支那本部に最も多く、勤勉で勞働を厭はず、殊に商利に長じてゐる。嘗てこの地方を占めてゐた苗族は、次第に漢族に逐はれて、今は僅にその西南部の地に住す

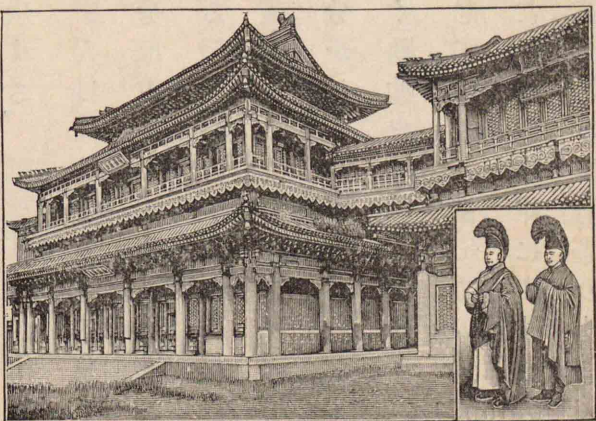
種族が多いから言語の種類も多く、また方言も少ない。普通北京官話を標準語としてゐる。

近年内亂が屢起り、國運の進歩を妨げる感がある。

る。また滿洲族は近世に至つて支那本部に侵入して、漢族と共に國民の主要なものとなつた。蒙古族・チベット族は各その地に住み、トルコ族は新疆省に多い。これらは漢滿洲の二種族に比して、開化の程度が大に劣り、多くは遊牧を業とする。

宗教は支那本部には、儒教・佛教・道教・チベット・蒙古には喇嘛教が行はれ、その他マホメット教・キリスト教を信奉するものも少くない。

五 政治 この國は共和國で大總統を元首とし、立法は民選議員より成る民國議會が行ひ、行政は國務院の下に外交・内務・財



喇嘛教の寺院と僧侶

熱河・察哈爾・綏遠・川邊が四特別區域である。

この國はわが國と共に世界の生絲主産國の一である。

省名	直隸	山東	山西	河南	陝西	甘肅	江蘇	安徽	浙江	江西	湖北
省城	天津	濟南	太原	開封	西安	蘭州	江寧	安慶	杭州	南昌	武昌
省名	湖南	四川	貴州	雲南	福建	廣東	廣西	奉天	吉林	黑龍江	新疆
省城	長沙	成都	貴陽	昆明	福州	廣州	南寧	奉天	吉林	齊齊哈爾	迪化

勢力もまた大でない。海軍も振はない。

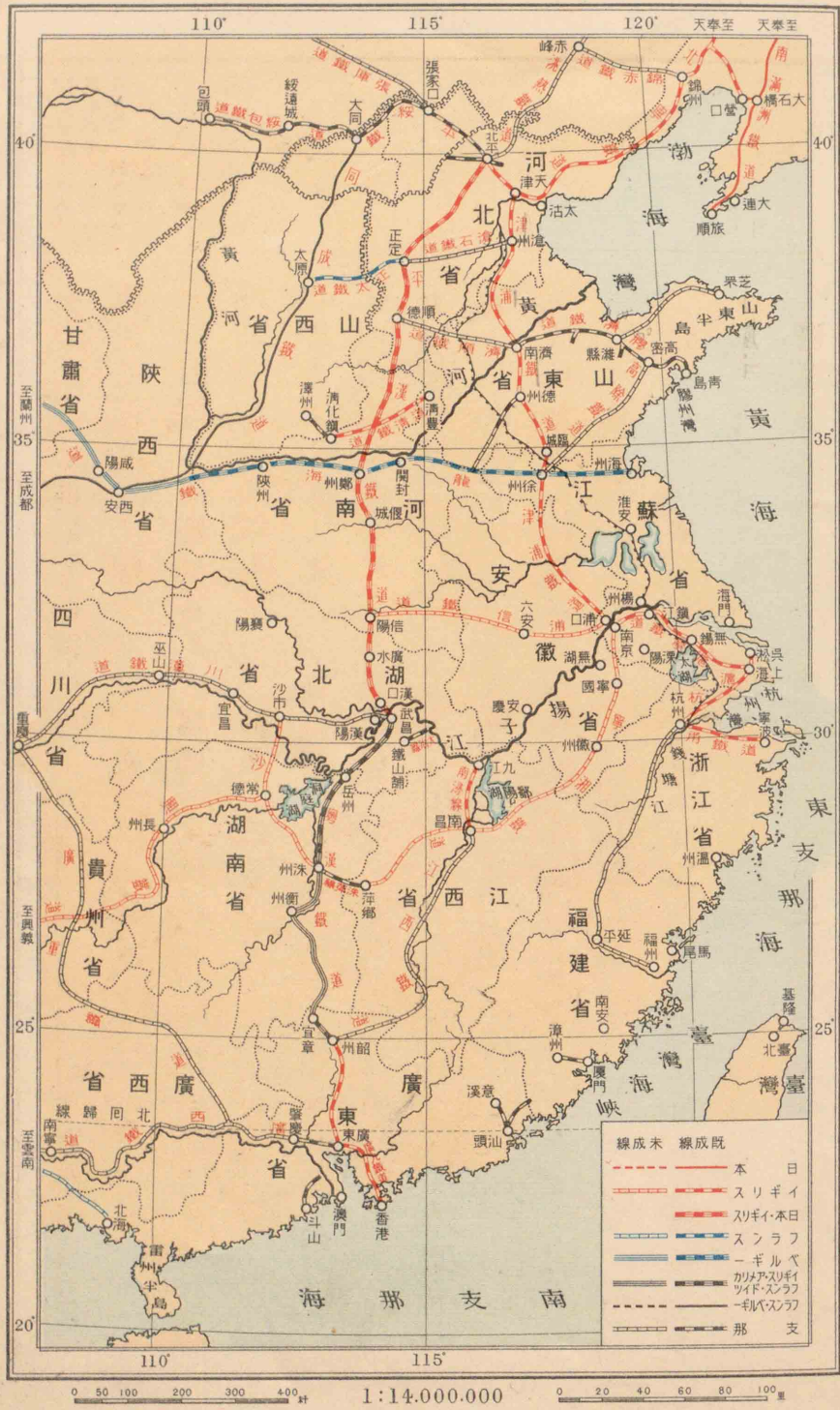
六 産業 土地が廣大で地形・風土が到る處で異つてゐるから、天産の種類も多く、國民の生業も一様でない。支那本部は農産に富み、米・茶・綿・麻・豆類・麥・高粱等を産し、蠶業もよく行はれる。牧畜は支

務・陸軍・海軍・教育・司法・農商・交通の諸部があつて、これを分掌してゐる。

地方制度は支那本部を京兆及び十八省に、滿洲を三省に分け、これに新疆省を加へて二十二省とし、外に四特別區域がある。京兆に尹、各省に督・辦・省長、特別區域に都統等を置いて治める。蒙古・青海・チベットには特殊の行政組織がある。

陸軍は軍制が未だ統一しない、従つて

支那本部鐵道圖



0 50 100 200 300 400 1:14,000,000 0 20 40 60 80 100

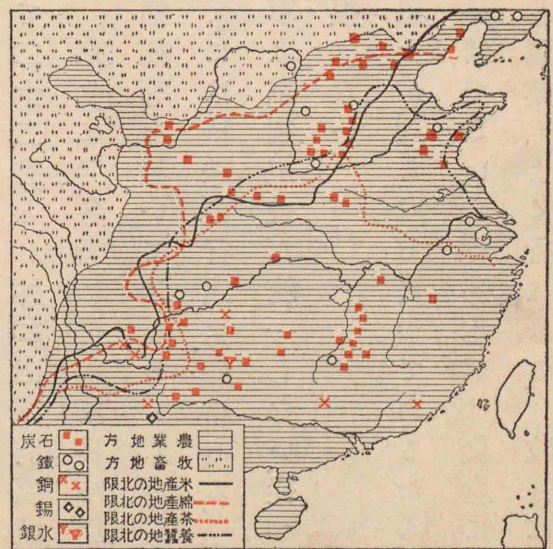
豚は支那本部及び
滿洲の最も主要な
家畜で、遊牧種族
は羊・馬・駱駝・
ヤク等を飼養す
る。

この國は米も自給
するに足らぬから
防穀令を布き、且
つ多く輸入を仰い
である。

那本部の北部、蒙古、新疆、チベット等荒漠の地方に盛である。絹布、陶器等の工藝は、古から精巧の名が高く、産額も多い。鑛産は豊富で、石炭と鐵とは殊に多量に存してゐるが、その採掘がまだ十分でない。従つて大工業はなほ盛でないが、近來揚子江流域地方には、製鐵、紡織等の事業が漸く興つて來た。

外國貿易は盛で、おもに絹製品、豆類、豆油、綿等を輸出し、綿製品、米、金屬、毛織物等を輸入する。

交通 支那本部は開國は古いが、交通の發達は十分でない。



支那本部産業分布

交通機關は昔から南船北馬と稱し、南部では船によつて河川・運河を航し、北部では馬・驢・騾等によつて陸路を往來する。

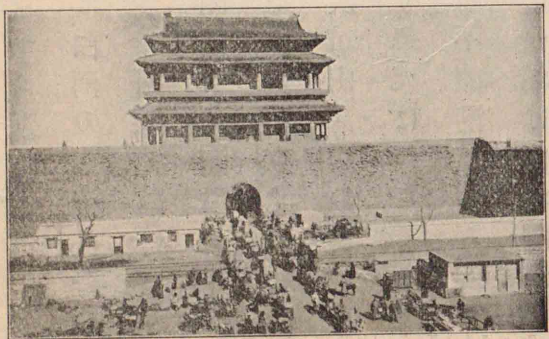
面積 約四〇〇萬方軒
 (二六萬方里)
 人口 約三〇二〇〇萬
 密度 約七六人

鐵道は國の北半に多く、且つ概ね外國人の敷設したものである。この他近年各地方に新線路の敷設企畫せられるものが少くない。沿海は汽船の航路が次第に開け、内陸でも揚子江及びその以南の地は水運の利が多く、この國の汽船を始とし、わが日本郵船會社大阪商船會社日清汽船會社その他諸外國の汽船は、これらの河海を交通してゐる。

地方誌 支那は滿洲の外、支那本部蒙古・新疆省・青海・チベットに分けられる。

一 支那本部

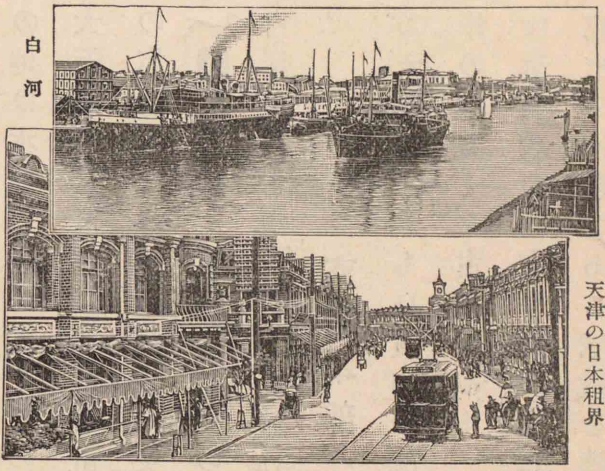
(一) 北部 おもに黄河の流域と渤海灣沿岸の地方とを占めてゐる。首府北京(二三〇)は渤海灣の西方平野の中にある。この國都市の特色である城壁を繞らし、規模が壯



北京の城壁(正面は崇文門)

北部には京兆の外直隸山東山西河南陝西甘肅の六省がある。北京にわが公使館、天津にわが總領事館がある。天津には近時紡績その他の工業が興つてゐる。

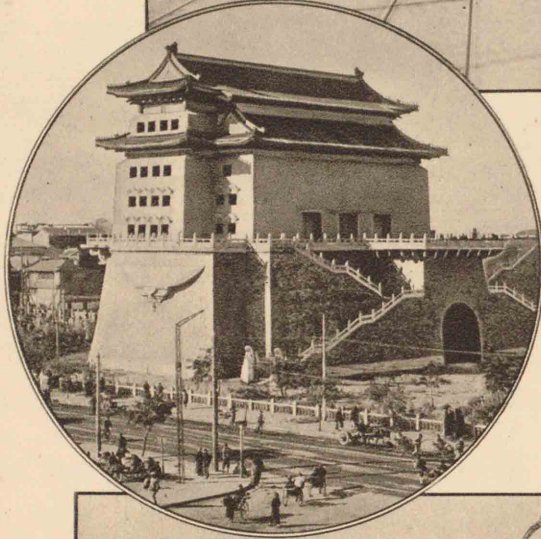
天津から南に向つて揚子江岸の浦口に至る津浦鐵道も南北交通の幹線である。



三千軒に及ぶ。また大運河は天津から起つて平野を南走し、杭州に至る。その長さは約千三百軒である。北京の西北にある張家口は蒙古に出る門戸になつてゐる。京漢鐵道は北京に起り、南走し

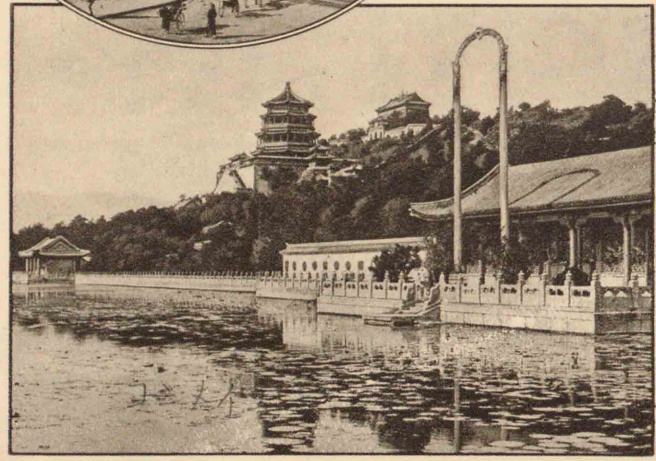
大である。北京から京奉鐵道によつて東南に向へば、白河の下流に跨つて天津(平)がある。交通の要點に當り、また北部第一の開港市で、商業が非常に盛である。鐵道は更に東北方に向つて進み、開平の炭坑、山海關の要地を過ぎて、滿洲に入り奉天に至る。山海關に近く秦皇島の不凍港がある。有名な萬里の長城は山海關から起つて西に延び、遠く嘉峪關に達し、延長

北京市街



北京正陽門の譙樓

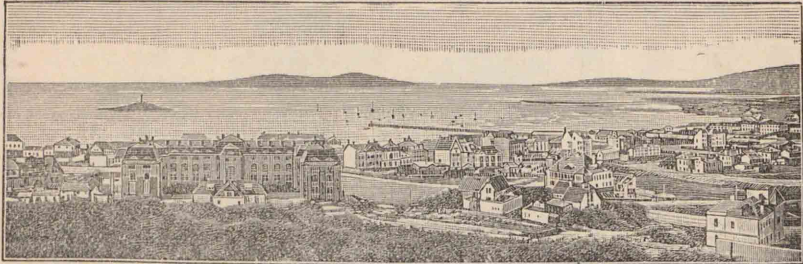
萬壽山



Handwritten notes in the bottom left corner of the page.

芝罘にわが領事館、青島・濟南にわが總領事館がある。膠濟鐵道は濟南で津浦鐵道に連つてゐる。

青島市街を隔てて膠州灣を望む

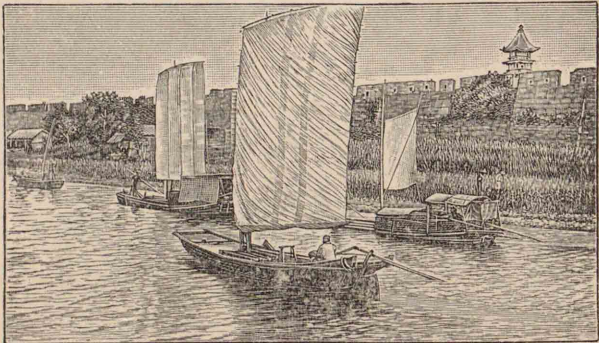


揚子江岸の漢口に至る南北交通の幹線である。

山東半島は産業が發達して、柞蠶、絲、繭、紬、落花生を産し、また石炭、鐵鑛に富み、人口が密である。

北岸の芝罘は開港市で、威海衛はイギリスの租借地である。南岸の膠州灣口には青島の港市がある。

膠濟鐵道は明ここから起つて濟南に通ずる。膠州灣は明治三十二年以來久しくドイツの租借してゐた



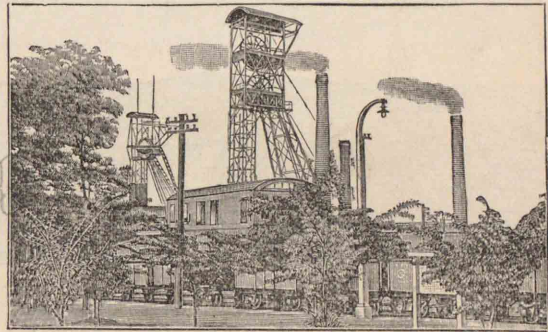
大運河(蘇州附近)

濟南の南方の曲阜には孔子の廟がある。

淄川炭坑は膠濟鐵道の沿線にある。

ドイツ人によつて開かれたもので、中央にあるのは炭坑の捲揚機。

淄川炭坑

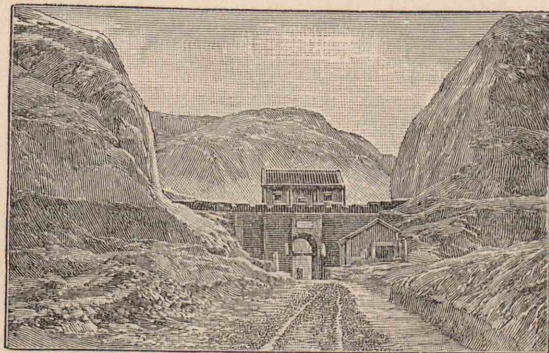


處で、ドイツは港灣・市街の施設を完全にし、膠濟鐵道を敷設し、その沿線に於ける鑛山の採掘權を收めてゐた。大正三年世界大戰に際し、わが國は軍事的にこれを占領したが同十一年支那に還附し、鐵道沿線の炭坑及び鐵山は日支合弁で經營してゐる。

山西省は直隸省の西に隣り、その南部には多量の石炭鐵を藏してゐる。

黄河の南岸には開封(五)の名邑がある。

その西方の河南は洛陽(五)ともいひ、舊都の地



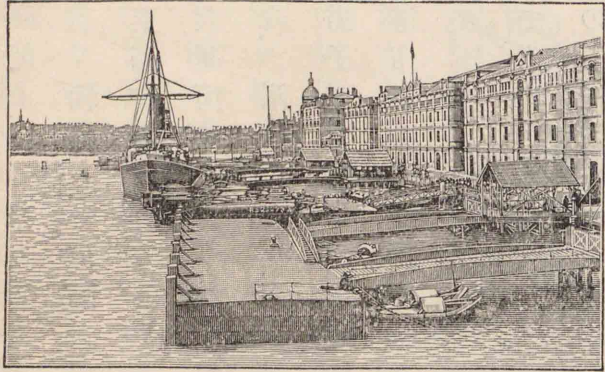
函谷關

河南と西安との間に潼關がある。その隘路に函谷關の遺址がある。

中部には江蘇・安徽・浙江・江西・湖北・湖南・四川・貴州・雲南の九省がある。

河岸の大廈は日本郵船會社支店及びその倉庫である。

上海の埠頭

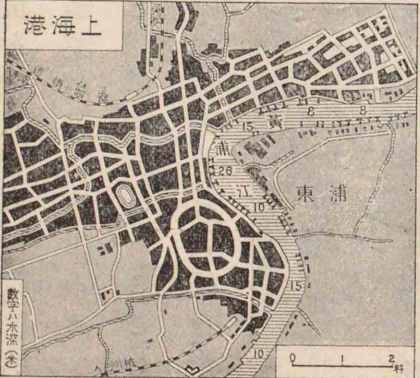


である。秦嶺山脈の北麓には、黄河の支流渭水の岸に西安(五)がある。一に長安と稱して、また有名な舊都である。西安から西に進むと、黄河の岸に蘭州があつて、新疆省に通ずる要點に位してゐる。

(二) 中部 おもに揚子江の流域である。

その下流地方は農業がよく行はれ、米産の多いこと、養蠶・機業の盛なことは、この國第一に位して、人口が密である。

上海(五)は揚子江の支流黄浦江の岸にあるこの國第一の貿易港である。わが國



上海港

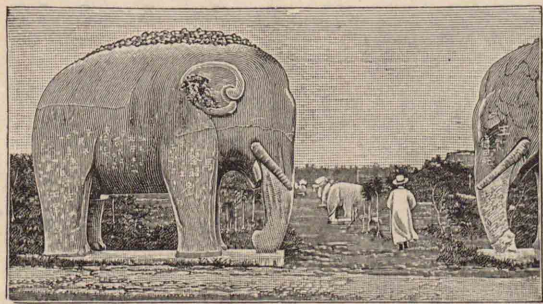
上海にわが總領事館、蘇州、杭州にわが領事館がある。

南京・九江にわが領事館がある。

の商船も多く來り集まり、わが綿絲綿布、石炭を輸入する。近來大工業も勃興し、わが國人の經營する綿絲紡績業が殊に盛である。上海の西にある蘇州(蘇)は絹織物の産地として名高い、ここから大運河を南に下れば、錢塘江に臨んで杭州(杭)があり、また絹を産する。附近に有名な西湖の勝景がある。

揚子江を溯れば、大運河との會點に鎮江の開港市があつて、農産物を集散し、また絹を産する。南京(寧)はその上流にあつて、舊都の地で附近には史蹟が多い。上海との間に鐵道の便があり、また對岸の浦口からは津浦鐵道によつて天津に通ずる。

江を溯つて安慶(皖)を経て、鄱陽湖の口に至ると、九江の開港市がある。茶の集散地で、そ



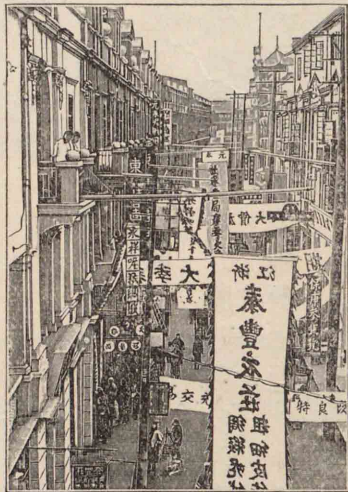
像石の前陵帝明京南

わが八幡製鐵所ではその鐵石の約五割を大冶鐵山に仰ぐ。

漢口にわが總領事館がある。漢陽に製鐵廠がある。

宜昌にわが領事館がある。

漢口



の東方の景德鎮(景)は陶器の産を以て名高い。更に江を溯れば、大冶鐵山がある。

揚子江と漢江との會點には漢口・漢陽・武昌の三市(合計)が江を隔てて相對し、この國內地の重要な

大都市になつてゐる。殊に漢口は水陸交通の要點に當り、貨物の集散が極めて盛で、茶、綿の輸出で名高い。またわが國から綿絲綿布等を輸入する。洞庭湖の口に近く、岳州の開港市がある。更に江を溯れば宜昌に至る。大型汽船航路の終點である。これより上流は有名な峽流で、古來三峽の嶮と稱せられ、航行が困難であつたが、今は小汽船が溯るやうになつた。

四川盆地には農産、鑛産が多く、また絹織物を産する。その中心

成都から東北に向ひ陝西に通ずる道は古來蜀の棧道と稱せられて有名である。

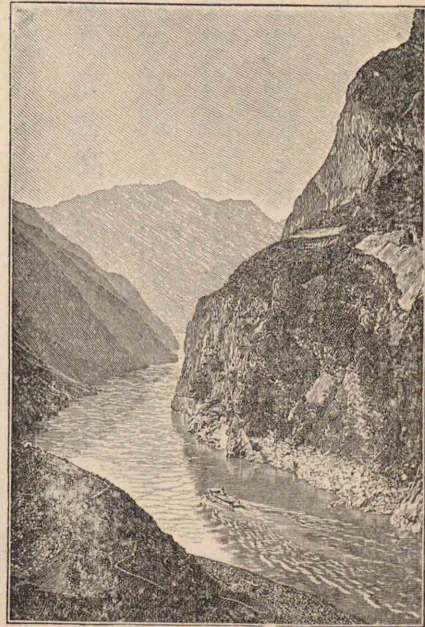
成都にわが總領事館、重慶、雲南にわが領事館がある。

南部には 福建・廣東・廣西の三省がある。

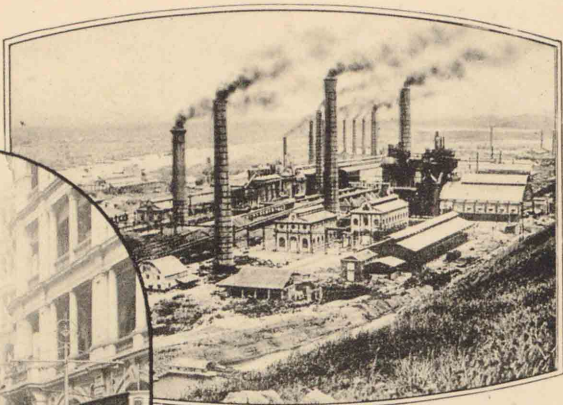
福州にわが總領事館、厦門にわが領事館がある。廣東省の沿海には汕頭その他の開港市がある。

に成都がある。揚子江に沿ふ重慶は開港市で、四川の咽喉にあたつてゐる。四川省の南の貴州、雲南二省は臺地になつてゐて、フランス領インドシナから來た鐵道は雲南に通ずる。

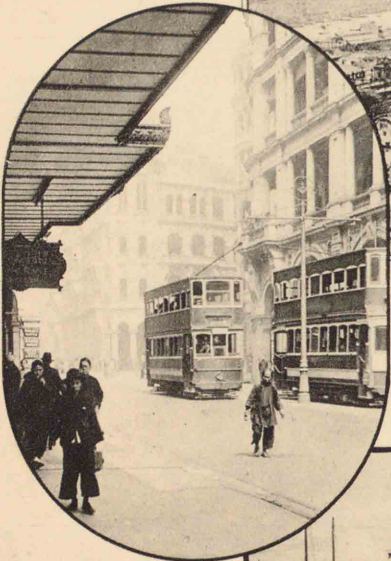
(三) 南部 臺灣海峽南支那海の沿岸地方及び西江の流域を占めてゐる。臺灣海峽に臨む福建省は港灣が多く、閩江の下流に跨つて福州がある。厦門島の西南隅にある厦門と共に開港市で、茶の輸出が多く、臺灣に近いからわが國と密接な關係がある。西江の下流に沿つた廣東は南部第一の大都市である。廣東



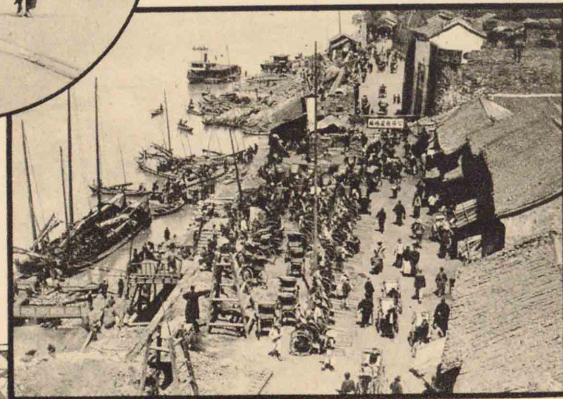
揚子江の峽流



漢陽の製鐵所



香港市街



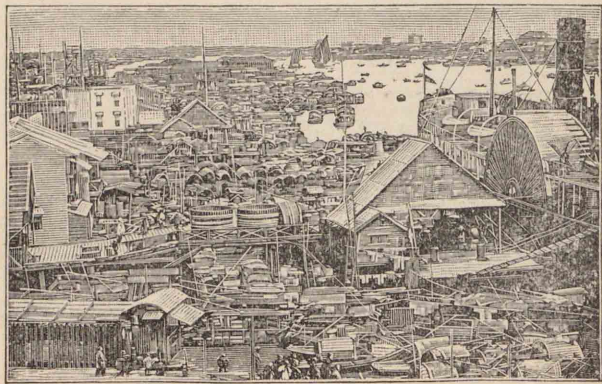
武昌の碼頭



西湖

福州・廣東等には
舟居を營むものが
多い。
廣東とホンコンと
にわが總領事館が
ある。

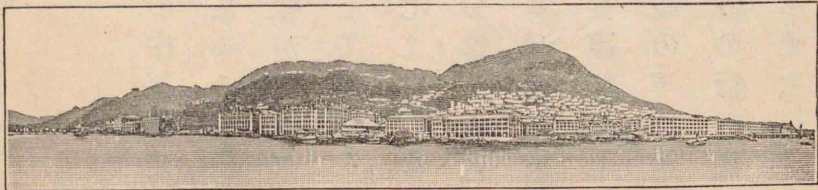
東 廣



られるものが多い。

廣東灣の西南岸にあるポルトガル領マカオ(澳門)は古くから知られた港であるが、今は商業が振はない。

灣口にはイギリス領のホン・コン(香港)島がある。對岸の九龍との間は東洋有数の良港で、太平洋航路の起點となり、またインド・南洋航路の要點にあたり、イギリスの東洋に於ける商業及び軍事の一中心である。わが國からの輸出品は一旦ここに送られ、再輸出せ



ン コ ン ホ

雷州半島東岸の廣州灣はフランスの租借地である。

二 蒙古

蒙古は支那の北部に位する高臺で、ゴビ沙漠がその中部を走つて、内蒙古と外蒙古とに分けてゐる。土地

は概ね沙漠または草地で、遊牧が行はれ、水利のある所では住民が土着して、農業を営んでゐる。人口は面積に比して甚だ少い。

(一)内蒙古 數多の部落に分れ、蒙古人の酋長である王公が治めてゐるが、南部東部へは漢人の移住して拓殖に従事するものが多くなり、今は中央政府行政の下に歸し、特別區域と稱せられ、また滿洲の行政區域中に編入せられてゐる所も少くない。

蒙古人と駝駱



面積 約三五〇萬方里
(二三萬方里)
人口 約一八〇萬
密度 約〇・五人

特別區域には熱河・察哈爾・綏遠の三區域があつて、都統を置いて治める。

赤峰にわが領事館がある。

内蒙古の西部にある西套蒙古は甘肅省の寧夏に駐在する護軍使の管轄に屬する。

近年ソヴェエト聯邦の勢力が著しく外蒙古に及んで來た。

面積 約一四〇萬方里
(九萬方里)
人口 約二〇〇萬
密度 約一人
新疆省はまだ開けないで一般に遊牧が行はれ、一部には農獵の業が行はれる。

都邑のおもなものは、北京の東北に熱河があり、西遼河上流地方には赤峰があつて、共に交通の要點である。多倫諾爾は張家口の

東北に位して、有名な喇嘛廟があり、商市も盛である。

二 外蒙古 自治を行ひ、喇嘛教主の活佛が行政軍事の權を統べ

てゐる。庫倫(カール)は政治商業及び宗教の中心で、喇嘛教の大寺が

ある。シベリヤとの境には買賣城の開市場があつて、僅に木柵を

隔ててシベリヤのキャフタに對し、茶を輸出する。

三 新疆省(伊犁)

新疆省は支那の西端にあつて、天山山系が省内を横ぎり、これを

天山南路・天山北路に分ける。天山南路には中央にタリム(塔里木)

盆地の沙漠があつて、その周囲の地だけがやや開けてゐる。天山

北路には省城迪化(烏魯木齊)がある。

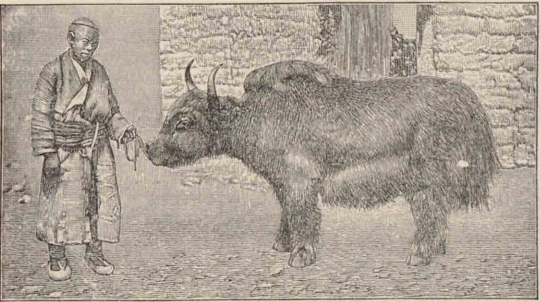
四 青海

青海はその大きさが琵琶湖の約十二倍ある。
甘肅省の西寧に鎮守使が駐在して、青海の政務を統べてゐる。

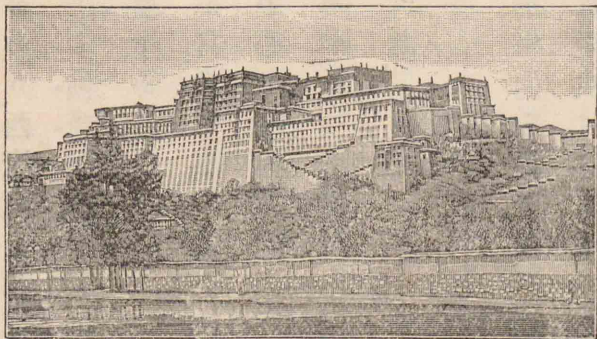
青海を含んで
面積 約一二〇萬方里
(七・八萬方里)
人口 約二〇〇萬
密度 約二人
青海及びチベットにはヤクの飼養が行はれる。

青海は支那の中央部にある。崑崙山系が域内を横断し、青海の鹹湖がその東部に横はつてゐる。土地が高く、荒漠であるから、住民が極めて少い。

五 チベット(西藏)



チベットはヒマラヤ、崑崙兩山系の間に横はる世界第一の高原であつて、沙漠、鹹湖等が多く、夙に世界の秘密國と稱せられてゐて、そのやや開けたのは、南部の一地方のみである。



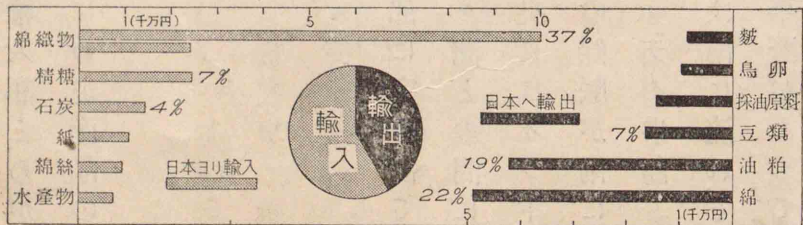
喇嘛教主の宮殿

支那政府の派遣するチベット辦事長官はラッサに駐在する。

ラッサ(薩拉)はブラマプトラ川の支流に沿ふ都市で、附近に喇嘛教主の莊嚴な宮殿がある。支那政府は官吏を派して、チベットの政治を監督する。

尤支那と日本 兩國は同文の國で、最も古くから交通して、彼我の文明は互に交換せられ、殊に近年東洋多事の日の際しては、われは福建不割讓を約せしめ、關東州を租借し、或は滿洲東部内蒙古等に於ける鐵道水運鑛山等の利權を得、或は揚子江流域地方の鑛業交通業に投資し、また近く山東省に於て、日支合辦で鑛山を經營する等、彼我の關係が愈々深くなつて來た。

兩國間の貿易は甚だ盛で、わが國は綿織物、精糖、石炭、紙、綿絲等を輸出し、綿油、粕、豆類、採油原料、鳥卵



支那・日本主要貿易品

わが國の支那に對する輸出額は、わが全輸出額の六分の一を超えてゐる。

等を輸入する。またこの國に於けるわが商品の輸入額と、わが商船の出入噸數とは遙に諸外國に優り、この國は實にわが商品の大得意先である。

夏休ナ

第三章 南部アジヤ

一 インドシナ半島

インドシナ半島及びマライ諸島を南洋とも稱する。インドシナ半島は季節風帯に位し、一年は乾季・雨季に分かれ、雨季には降雨が甚だ多い。

インドシナ半島産業分布



地文 インドシナ半島はアジヤ大陸の東南部に突き出て、南支那海とベルガル灣との間に挟まつてゐる。中央にはインドシナ山系が連り、その餘脈が南に延びて、更に細長いマライ半島となる。數條の大河は南に流れ、その沿岸には豊沃な平野があつて多

よく土地

わが國に輸入せられる外國米は概ねこの地方から出る。

面積

約七〇萬方里(四・五萬方里)

人口

約二〇〇萬人(約二九萬人)

フランス領インドシナはフランスの海外領土中重要なものである。

ハイフォンからハノイを経て支那雲南に至る鐵道がある。ハノイン・サイゴンにわが領事館がある。

く米を産する。また山間には森林が深く、有用の木材に富む。

人文 住民は半島固有の土人の外に、支那人・マライ人・ヒンヅ人等がある。半島の東部はフランス領で、西部と南部とはイギリスに屬し、シヤム王國はその間に挟まつてゐる。

(一) フランス領インドシナ

北部はソンコイ川の流域で、その下流に沿ふハノイは、フランス領インドシナ總督府の所在地である。また河口にはハイフォン港があつて、米・生絲等を輸出する。中部は概ね山地で、海岸に近くユエ(順化)の城市がある。南部はメコン川下流の灌ぐ地方で、土地が肥え、米・砂糖・綿の産が多い。サイゴンはこの地方にあつて、領内第一の商港で、わが國へ米・綿を送る。

(二) シヤム

地形産業 南はシヤム灣に臨み、西境にはインドシナ山系の一

面積 約五二萬方呎
(三・四萬方里)

マライ半島には錫を産する。

オコル
コト
ナヤ

人口 約九八〇萬
密度 約一九人

この國の佛教僧侶は一樣に黄色法衣を著ける。

部が高く連つて森林が深く、その北部から盛にチーク材を出す。中部にはメナム川が流れて、その下流の平野には米産が甚だ多く、チーク材と共に主要な輸出品である。國內には象が多くて、水牛と共に重要な家畜である。

住民政治 住民はシム人の外に支那人・マライ人等が多く、支那人は怠惰な土人に代つて農商業を營み經濟上の勢力を占めてゐる。佛教が盛に行はれて、寺院の壯麗なものがある。

この國は専制王國で、軍備は振はないが、財政は裕かである。近年頻りに先進諸國の文明を輸入して、諸制度の改善に力を盡して



群の象野たれらせ獲狩

バンコクにわが公使館及び領事館がある。
メナム川の河口にマクナム港があつて、わが汽船が寄港する。

遠景は寺院にしてシム特有の尖塔が見える。近景はメナム川に於ける國王座乗の長舟。

面積 約六〇萬方呎
(四萬方里)

ゐる。

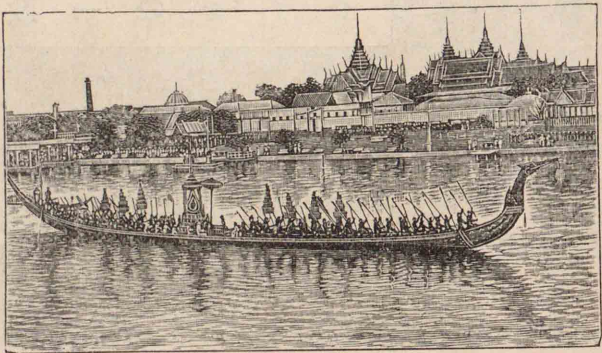
首府バンコク(暹)はメナム川の下流に臨み、政治・商業の中心である。

シムと日本 シムは徳川時代の初期に山田長政の功名を立てた處である。わが鎖國以來渡航者が殆ど絶えたが、今は條約を結んでゐる。わが國はこの國から米・チーク材を輸入し、絹織物を輸出する。

イギリス領インドシナ

民地・マライ聯邦の三部に分かれる。

バルマ バルマは半島の西部を占めてベンガル灣に沿ひ、サルウィン・イラワヂの二川が域内を貫流する。夏季に雨量の多いこ



クコンバ

人口 約一三〇〇萬
密度 約二二人
バルマでは木材の運搬に象を使役する。

ランゲンにわが領事館がある。

蘭に示すゴム樹は皆アラツル産の種を移して在來種に代へ栽培したものである。鐵道はランゲンから起つて、イラワナの川筋に沿ひ支那の境に及んでゐる。

装包の米ンゲンラ

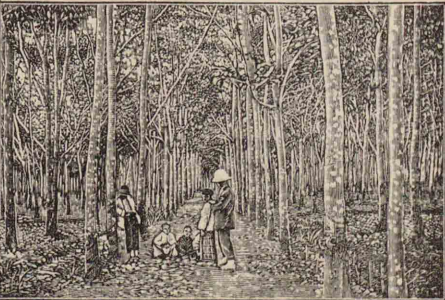


出が極めて多く、ラングン米の名が世に高い。イラワヂ川の中流に臨むマンダレの舊都は壯麗な寺院の

とはインドと共に世界第一と稱せられる。山地にはチーク材紅玉を産し、平野には米の産が多い。この地方は行政上インド帝國の一部である。政廳の所在地であるラングン^三は、イラワヂ川の三角洲にあつて、米の輸出が極めて多く、ラングン米の名が世に高い。イラワヂ川の中流に臨むマンダレの舊都は壯麗な寺院の



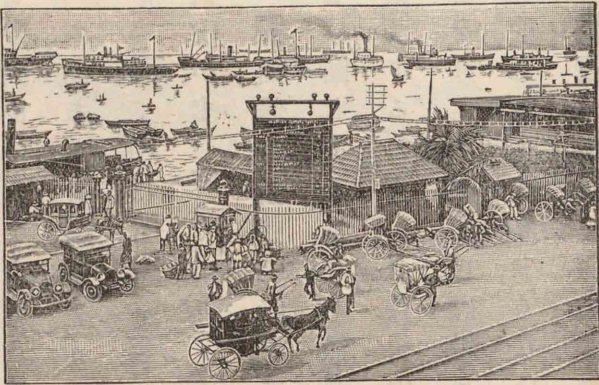
ゴムの採取



林 ゴム

わが國人のゴム栽培に従事するものも少くない。
シンガポールにわが總領事館がある。この港及びヒナンにわが汽船が寄港する。

シボガン



二 マライ諸島

位置 マライ諸島はアジア大陸の東南に散布して、オーストラリアに移る飛石のやうな形をしてゐる大小無数の島から成立

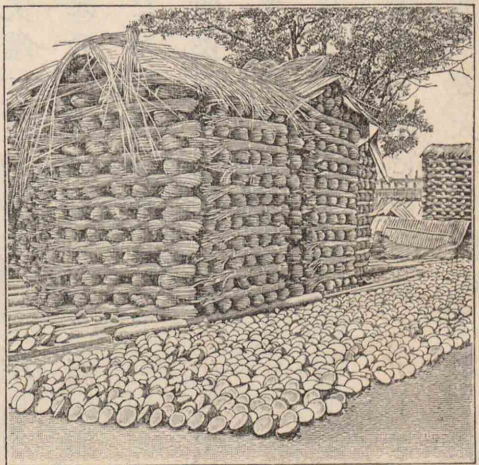
あるので名高い。
海峡植民地マライ聯邦 共にマライ半島の南部にあつて、種々の農産物及びゴム・コブラ・香料等を産し、また錫は世界産額の約三分の一を出す。
半島の尖端に近い小島の南岸にシンガポール^四の港市がある。東西交通の要點にあたり、貿易が甚だ盛である。ピナン^三は植民地の北端にある小島で、半島に面して良港ができてゐる。

つ。即ち南部にスンダ列島が弓形になつて連り、多くの火山がこれに沿うて噴出し、殊にジャヴァ島に甚しい。この列島の北にはボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島、フィリピン諸島等があつて、中にもフィリピン諸島には火山が多い。

二 氣候・生物界 赤道はこの諸島

を横断してゐるから、氣温が高く雨量が甚だ多く、熱帯植物がよく繁茂する。古から香料の産地として名高く、また、藤、米、サゴ、コブラ等を産し、近來盛に砂糖、コーヒー、煙草等を出す。風鳥(極樂鳥)、猩々等(ジャワ)の珍奇な動物も少くない。

三 住民所屬 住民はおもに海岸島嶼種族で、文明の程度が低く、



ラゴと籐

コブラはココ椰子の果實から造られる。

ジャヴァ島

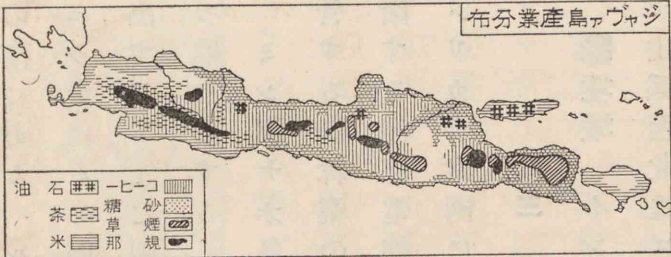
面積 約一三萬方軒 (八五〇〇方里)

人口 約三六〇〇萬 密度 約二八〇人

スマトラからわが國へ石油を輸出する。市はわが南洋郵船會社船の航路にあたる。

ボルネオ島

面積 約六二萬方軒 (四萬方里) 人口 約一九〇萬 密度 約三人



布分業産島アワジャ

には石油の産が少くない。セレベス島には海參、鼈甲等を産する。モルッカ諸島



那 規

フィリッピン諸島

面積 約二九萬方軒
(二萬方里)

人口 約一二〇〇萬

密度 約四一人

マニラにわが總領事館がある。この地はまたわが汽船の航路にあたる。

は香料の産で名高い。

フィリッピン諸島はバシ海峡を隔てて、臺灣

の南にある。ルソン島が最も大きい。マ

ニラ(三)はその西岸の良港で、砂糖煙草を輸

出する。また製綱原料として名高いマニ

ラ麻を産する。コプラも各地から出る。

ミンダナオ島のダヴァオはわが國人の經

營する農林業の中心である。太平洋を横

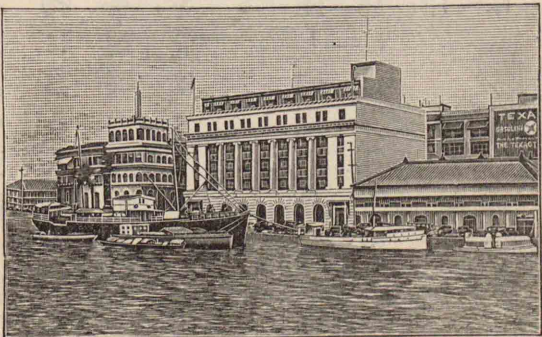
斷する海底電線はルソン島から起つて、ア

メリカ合衆國に至る。

三 インド(印度)

一 境域 インド洋中に突き出た三角形の大半島で、北はヒマラ

ヤ山系、西北はスリマン等の山脈で境せられてゐる。面積はわが



ラニマ

面積 約四七〇萬方軒
(三〇萬方里)

エヴェレスト山の高さは海拔八千八百四十米に及び、富士山の二倍に餘つてゐる。

西部には沙漠があるが、その他は極めて豊沃で古來人文發展の中心になつてゐる。

國の五倍に餘る。

二 地形 海岸は單調で、半島の尖端に近くセイロン島がある。

ヒマラヤ山系は南へ彎曲する大弓形を畫いて長く連り、甚だ高峻

で、世界第一の高峯エヴェレスト山を戴いてゐる。山系の南麓には熱

帶性の森林が深く、頂上には氷雪が常に絶えず、壯大な氷河がある。

この山系の南には豊沃なヒンドスタンの大平野がある。

インズ川とブラマプトラ川とは、共に源をヒマラヤ山系の北

側チベットに發して、反對の方向に流れ、山

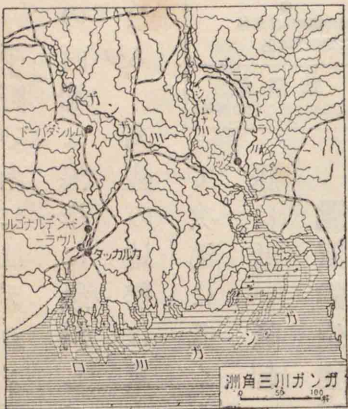
系の兩端から折れて、平野に出で、インズ

ス川はアラビヤ海に入り、ブラマプトラ

川は山系の南腹から來るガンガ川と合

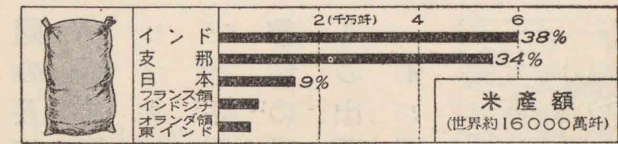
して、下流に廣大な三角洲を作り、終にベ

ンガル灣に入る。

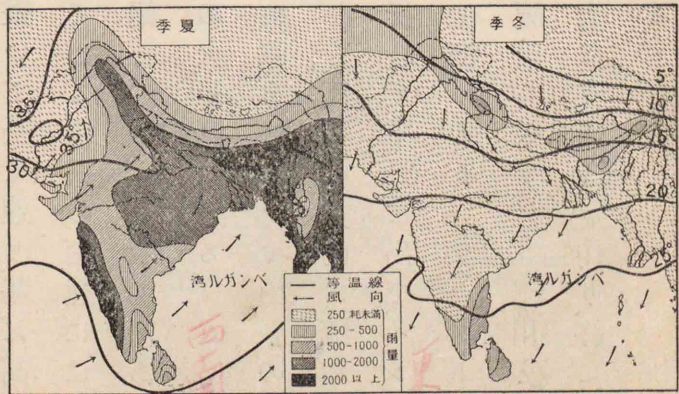


ガンガ川三角洲

平野の南には、デカン高臺がある。その西端は海岸に急斜して、西ガッツ山脈となる。高臺の地勢は東方に至るに従つて、次第に低く、東岸の東ガッツ山脈は低い隆起に過ぎない。



③ 氣候生物産業 半島の大部は熱帯にあるから、平野は暑氣が甚しい。しかし山地は溫和で避暑に適してゐる。また夏季西南季節風の吹く頃は、降雨が甚しくて、ブラマブトラ川の下流地方の雨量は世界第一である。生物は殊にガンガ川流域に熱帯の特色を現し、森林が



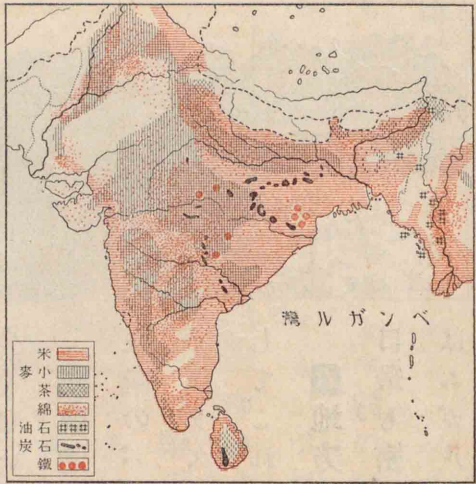
圖線温等・量雨ドシイ

インドでは猛獸・毒蛇のために人畜の傷害せられるものが毎年少くない。林産にはゴムがある。

④ 密度 約六八人

インドの婦人は一般に無教育で、社會上の地位が甚だ卑い。

布分業産ドシイ



石炭・石油・鐵・金等が著しい。

④ 住民

人口は約三億二千萬で、その大部分はヒンヅー種族で、族制の別が甚だ厳である。古來工藝に巧で、建築に長じ、また農業・商業を勉める。デカン高臺にはドラ

深く、象・犀・虎を始め、種々の猿類、美麗な鳥類、恐るべき毒蛇等が棲む。農産には米・小麦及び綿・油・種・コヒー・阿片・洋藍・ジュート・麻・茶・砂糖等があり、畜産には牛が多く、鑛産には



人ダィヴーラド



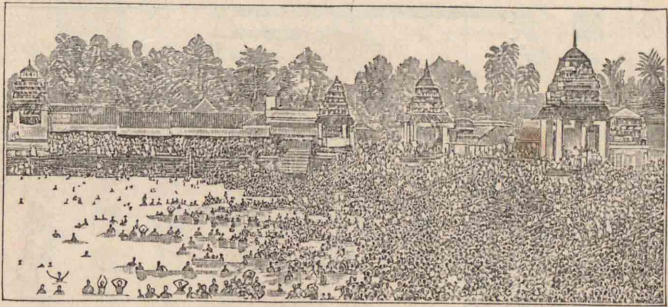
人ーヅンヒ

ヒンヅー教はまた
インド教ともい
ふ。

ヒマラヤ山中に
は西にシムラ、東
にダーシリンがあ
る。共に海拔二千
米以上の高地に位
して避暑に適し、
シムラは夏季にイ
ンド總督の駐在地
となる。

インド帝國は直轄
州と藩屬地とに分
かれる。

浴沐の徒教一ツンヒるけに川カンガ



一 ヴィダ種族が住み、文化は前者に及ばない。

半島の文明は遠く上古に發達して、文學、宗教が甚だ盛であつた。

世界の大宗教たる佛教はこの地から興つた
ものであるが今は衰へ、住民の多數はヒンヅ
ー教を奉じ、またマホメット教を信ずるものも
少くない。

〔五〕政治 イギリスはインドの大部を領し、
東隣のバルマ等を合せて、インド帝國と稱し、
イギリス王はインド皇帝を兼ね、總督を派遣
して、これを治めさせてゐる。

〔六〕地方誌 ガンガ川の流域はよく開け、人
口最も密で、都市が甚だ多い。首府德里ー
はムガル帝國の舊都で、壯麗な建築に富み、今

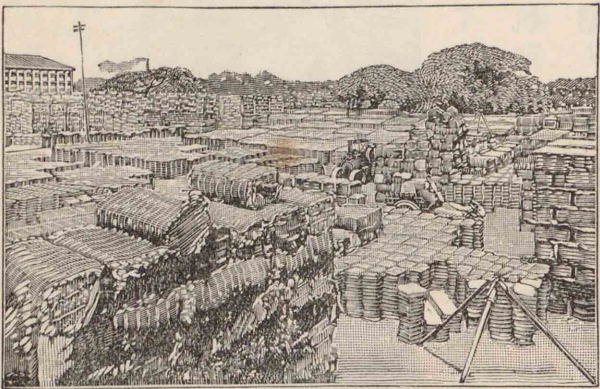
貿易の風俗

乾季にあたり野
積にした綿俵の
間を自動車で往
來する商人中に
は日本人も少く
ない。

カルカッタにわが
總領事館がある。

ボンベイにわが領
事館がある。市は
またわが汽船の定
期航路の終點であ
る。

場市綿のイベンボ

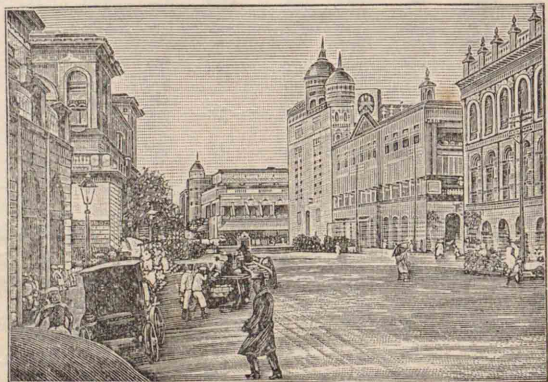


は總督府の所在地である。ペナレス(二〇)
はヒンヅー教の靈地で、多數の信者がガ
ンガ川に浴して潔齋する。ブダガヤは
(ミラキヨル)

釋迦成道の地
で、附近に遺跡
が多い。

ガンガ川の
三角洲にカル
カタ(二三)の大

都市がある。ヒンドスタン平野の咽喉
にあたり、商業が盛である。半島の西海
岸にあるボンベイ(二七)は、綿の大輸出港で、
紡績業も盛に行はれる。東岸にはマド



(街ヱイラク) 街市のタッカルカ

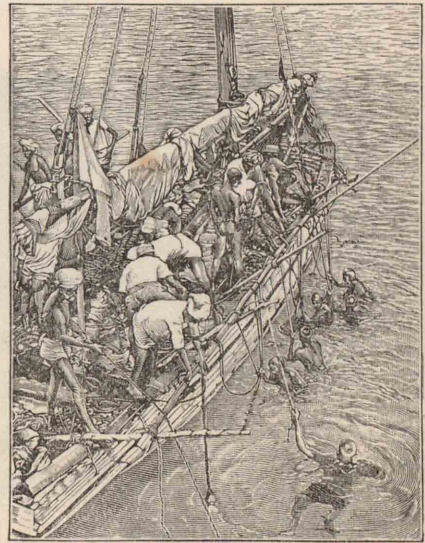
面積 約六・五萬方呎
(四〇〇〇方里)
人口 約五〇〇萬
密度 約七七八

コロンボにわが領事館がある。またこの地はわが汽船の寄港地である。

フランス領

マエ
シヤンデルナゴ
ル
ヤナオン
ボンサシエリ
カリカル

取採珠眞の灣ルーナマ



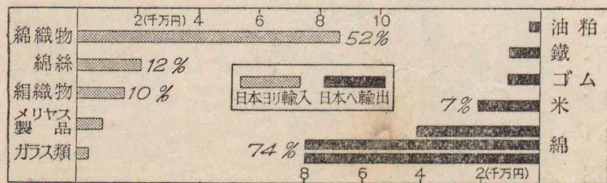
産する。コロンボは島の西岸にある港で、インド洋航路の商船は概ねここに寄港する。

イギリス領以外の地 ヒマラヤ山間にはネパール、王国多びブータン、酋長國がある。またアラビヤ海とベンガル灣との沿岸及びその附近には、フランスとポルトガルとの領地があるが、その區域はい

ラ・ス(喜)の港市がある。

セイロン島 イギリスの植民地で、ゴム、コブラ、黒鉛及び

種々の寶石を産し、また近來多く茶を出す。西北の灣には眞珠を



品易貿要主本日・ドソイ

ポルトガル領

ゴア
ダマン
ヂウ

わが國の紡績業に要する綿はその三分の一をこの國に仰ぐ。

づれも極めて小さい。

インドと日本 インドに起つた佛教は支那朝鮮を経て、わが内地に傳はり、これに伴つて古來インド文明の傳來したものが少くない。現時わが國は、この國へ特に郵船の航路を開いて、盛に綿米等を輸入し、この國へ綿織物、綿絲、絹織物等を輸出し、貿易が日に進んでゐる。

第四章 西部アジヤ

一 イラン地方

總説 イラン地方はインド半島の西に隣る高臺で、スリマン山脈はその東境にある。北にヒンヅークシエルブルズの二山脈があり、西南岸にはイラン山脈が連る。

土地は概ね荒漠であるから、遊牧が廣く行はれ、ただ高臺の邊緣

アフガニスタン

面積 約六四萬方里
(四萬方里)

人口

約二二〇〇萬

密度

約一九人

ベルシヤ

面積

約一六〇萬方里
(二〇萬方里)

人口

約一二〇〇萬

密度

約八人

圖解

この國の婦人は一般に男子に顔を見せない習はして、外出の際は薄絹で顔を被ふ。

で、やや豊沃な處のみに穀物・果實・綿等を産する。住民はおもにイラン種族で、マホメット教を奉ずる。

②アフガニスタン 高臺の東北部を占める王國である。首府カブールはインドから中央アジヤに出る交通の要路にあたる。

③ベルチスタン アフガニスタンの南に隣り、イギリスの領地と保護地とに分かれ、ケラットの酋長等が保護地を治めてゐる。

④ベルシヤ イラン地方の中部以西の大部を占める立憲王國である。國民は農業・牧畜の外に工藝を勉め、絹織物・毛氈等を産す。

國の西部には石油の埋藏が多く、近年イギリスは油井の開鑿に力め、石油の産額は非常に増加した。首府テヘラン

⑤は北方の山地にある。ベルシヤ灣岸にはブシールの港市がある。



人婦ヤシルハ

ニ トルコその他

①位置 アジヤの西端に位し、マルモラ海を隔てて、ヨーロッパに對する。

②地方誌

トルコは西北部を占めて、地形上小アジヤ及びアルメニヤに分かれる。小アジヤは高臺性の半島で、トルコ種族はここに住んで、農業・養蠶を行ふ。地中海岸にスミルナの良港があつて、乾葡萄その他の輸出が多い。内地のアンゴラはトルコ共和國の首府である。アルメニヤも高臺で、アルメニヤ人がここに住んで農・牧を營む。この高臺から南に流れるチグリス・ユーフラテス二川の流域にはメソポタミヤ平野がある。近年イギリスの保護の下に、ここにイラク王國が起つた。その首府バグダードはチグリス河岸に位して、交通・商業の中心で

人コルト



メソポタミヤには近年石油の産出が多くなつて來た。

小アジヤの南方にあるサイラス島はイギリスに屬する。

面積 約一四〇〇萬

人口 約一〇〇萬

密度 約一三〇萬方里
(八・三萬方里)

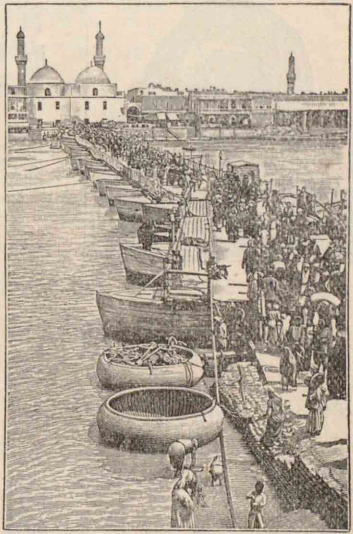
歐洲を含んで

メソポタミヤ地方の河川に浮ぶ圓舟は樹枝を編んで造り、外面にはアスファルトを塗り、權を用ゐて操縦する。

死海の水面は地中海より約四百米低くて、その水は鹽分が多くて魚類を産しない。

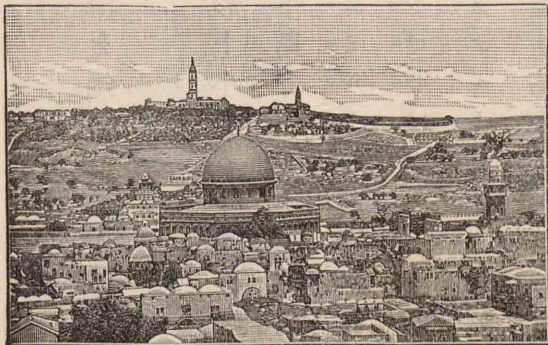
中央に見えるのはオマール寺院である。

ドーダグバ



地中海の東海岸には北にシリア、南にパレスチナがある。パレスチナにはヨルダンの低地がある。死

海がその内に横はり、地表第一の低處である。その西北方の臺地にあるイエルサレムは、キリストの墳墓のある處で、巡拜者が常に絶えない。低地の東はトランスヨルダンである。これらの地方の中、シリヤはフランスの委任統治地、その他はイギリスの委任統治地となつてゐる。



ムレサルエイ

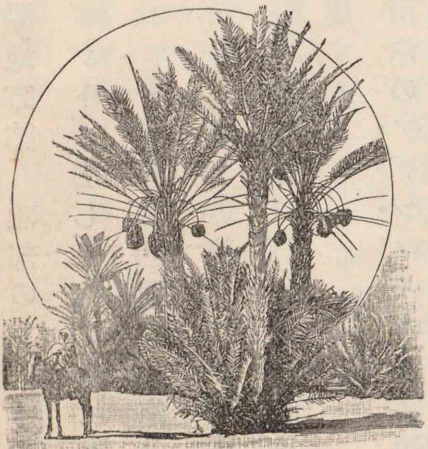
面積 約二六〇萬方軒
(二七萬方里)
人口 約七〇〇萬
密度 約三人

アラビヤ人は天幕に住し、最も馬を愛する。また駱駝に乗り、隊商を組んで貿易する。

三 アラビヤ

■總説 アジヤ大陸の西南部に位する高臺性の大半島である。内地は概ね沙漠になつてゐるが、その間に處々沃地がある。海岸地方には多少の降雨があつて、棗椰子・ゴム等を産する。殊に半島の西南部は昔から良好なコーヒーを産するので名高い。また名高いアラビヤ馬を始め、駱駝・羊等の飼養が行はれ、ペルシヤ灣には眞珠を産する。

子 椰 棗



住民のアラブ種族は、文化の程度が低く、多數の部落に分かれて統一しない。



人アラア

圖説

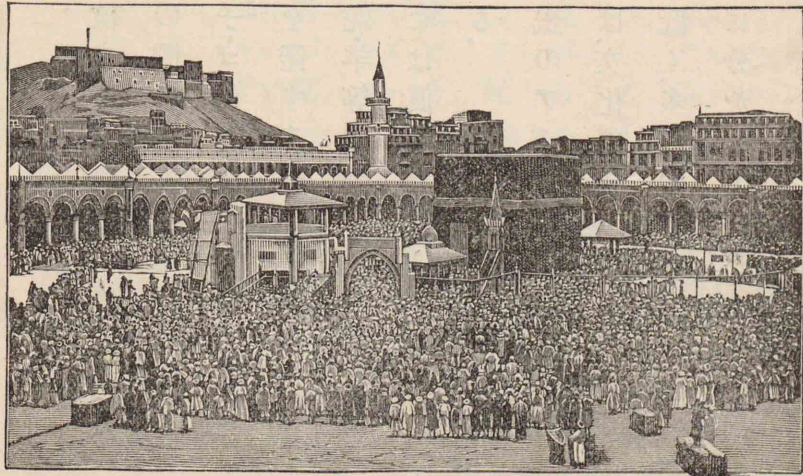
中央に黒く見える建物はカーバと稱する聖石を安置した神殿である。

地中海のペイルトから来た鐵道はメサナを経て將にメッカに達せんとしてゐる。

■地方誌 北部のシナイ半島はエジプトに屬し、東部アラビヤ海岸にはオマン酋長國、西部紅海の岸にはヘヂズ王國があつて、その他の部分と共に概ねイギリスの勢力範圍に屬する。

南岸のア・デンはイギリス領で、紅海の咽喉を扼し、東西交通の要點にあたり、商船が常に寄港する。

ヘヂズはマホメット教の起原地で、その教祖マホメットの生れたメッカ及びその墓のあるメヂナには巡拜の信徒が常に群集する。



集群の者拜參るけにカッメ

第五章 北部アジヤ並に西部アジヤの一部

アジヤロシヤ

もとのロシヤ帝國は十六世紀の中頃以後アジヤの西部から、次第に北部・中部を侵略したので、ソヴィエト聯邦は今もこの地方に廣大な領土を有し、その面積はアジヤ大陸の約四割に達してゐる。今これを分けて、シベリヤ・中央アジヤ・コーカシヤの三部とする。

一 シベリヤ

■境域 北は北極海に面し、南は黒龍江・アルタイ山系等によつて支那に境し、西はウラル山脈から、東は太平洋岸に及び、その面積はわが國の約十九倍ある。

■地形 北極海の海岸は單調であるが、東海岸は出入がやや多く、東北部にはカムチャッカ半島が突き出てゐる。海岸一帯は、冬季

面積

約一七〇〇萬方
軒 (二一〇萬方里)

人口

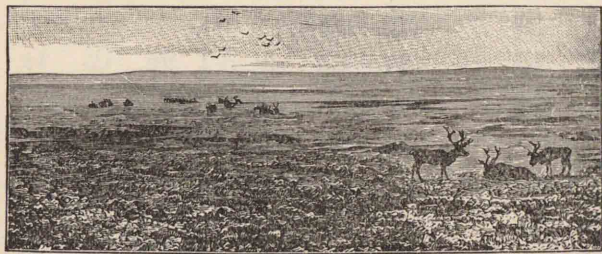
約三六〇〇萬
約二人

密度

面積

約二二〇〇萬方
軒 (八〇萬方里)

凍地帯



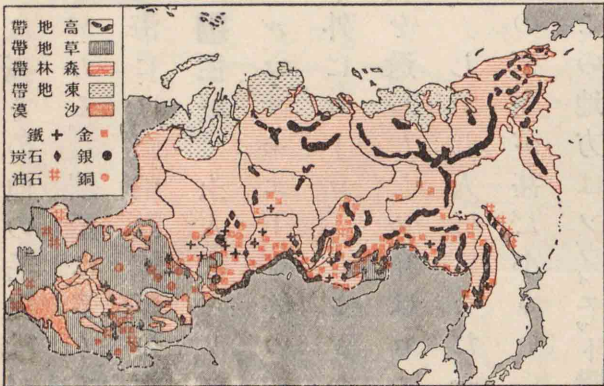
結氷して、一の不凍港を見ない。南部の地方は山岳または高臺で、支那との境にアルタイ山系、サヤン山系等がある。東部にはヤブロノイ高臺、スタノヴォイ山脈等が連り、カムチャッカ半島には火山が甚だ多く、その脈がわが千島列島に連る。西南部の地方には、ステップと稱する廣大な草地がある。草地の北には針葉樹の密生する森林帯があり、最北部は凍地で、四時概ね地中の深い處まで結氷してゐる。

太平洋斜面には黒龍江があり、北極海斜面にはレナ、イニセイ、オブの三大河がある。いづれも冬季結氷する時の外は、船で遠く上流に溯ることができ、交通の便が少くない。西部の平野

バイカル湖はまた世界最深の湖で、水深千五百米以上に及ぶ。

レナ川下流の地は一月の平温温度零下四十九度に及ぶ。

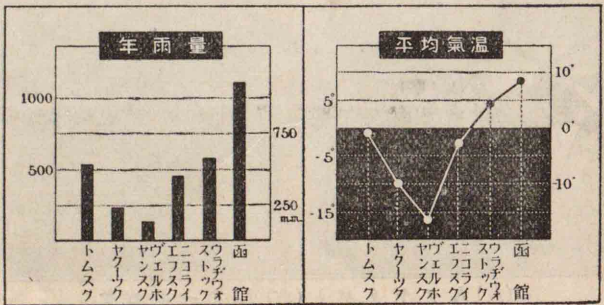
布分業産ヤシロヤシア



には小湖沼が極めて多く、東部の山間にあるバイカル湖はアジア第一の淡水湖である。

三 氣候 東南は山脈高臺が連つて、温い海風を遮り、北方は開放されて、寒風が内地に吹き入るので、温度が著しく低く、レナ川下流の地は世界の寒極と稱せられる。

四 産業 草地地方には農業に適する處がある。殊に西部は黒土と稱する豊沃な土地があつて多く麥を産し、牧畜も行はれる。森林地方



シベリヤの毛皮産
額は世界第一であ
る。

密度

約一人

には狐その他の毛皮獸が棲み、またマンモス象の牙を掘り出すこ
とがある。鑛産は多くて、金、黒鉛、石炭、石油に富んでゐる。東北の
近海には鰻、鮪、鯨等の海獸が棲み、河川には鱒、鮭等の魚類が多い。
五 住民 土人はギリヤク、ツングース、
トルコサモエード等の種族であるが、こ
の外にヨーロッパシヤから移民及び囚
徒を送つたため、今はロシア人も少くな
い。しかし人口はまだ一千一百万に過ぎず、
その密度が甚だ小さい。
この地方はソヴィエト聯邦のロシア、ソヴィエッ
ト共和國に屬し、極東地方、ヤクーツク自治共
和國、シベリヤ地方、ウラル州等に分けられる。

六 交通

シベリヤ鐵道はヨーロッパから來

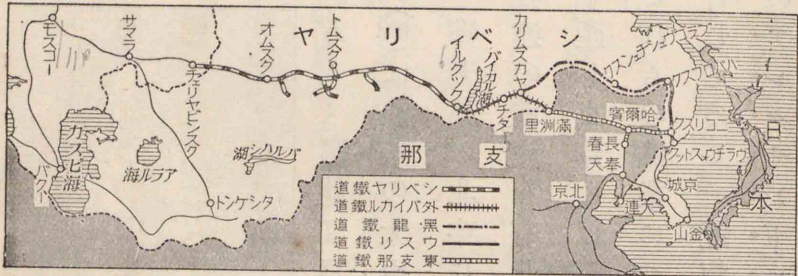


(左)人クヤリギと(右)人ドーエモサ

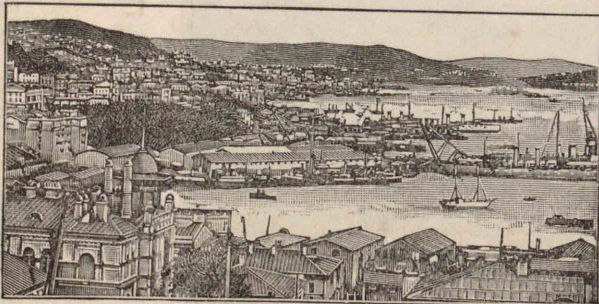
ウラザウオストツ
ク・敦賀間には大
阪商船會社船の航
路がある。その航
海時数は約四十二
時間を要する。

13668
137ドル
ハートに於ては

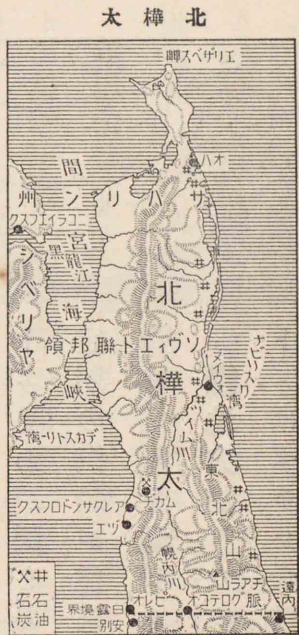
道鐵のヤリベシ



て、シベリヤの中、最も人文の開けた處を過ぎ、イ
ルクツクに至る。外バイカル鐵道はこれに連
り、バイカル湖の南を迂回して、黒龍江の流域に
出る。黒龍鐵道及びウス
リ鐵道が更にこれに連絡
して、ウラヂウオストクに通
ずる。支線はまた東支那
鐵道に連る。ウラヂウオス
トクとわが國との間には
定期の汽船が往來し、また
海底電線を通ずる。
地方誌 ウラヂウオス
トクはペテロ大帝灣内に



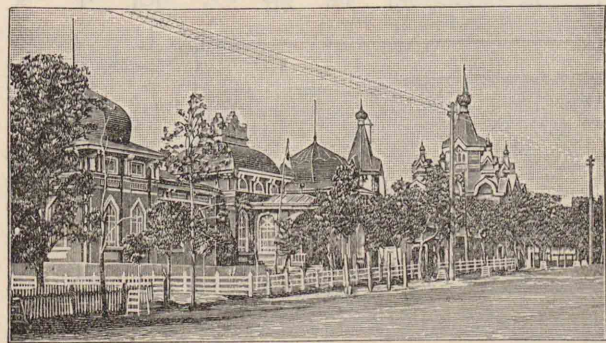
グットスオウザラウ



あるシベリヤ第一の開港場である。ここからウスリ鐵道で北に向へばハバロフスクの河港

ウラザウオストツク・ハバロフスク・アレクサンドロフスクにわが總領事館がある。

がある。黒龍江口に近いニコライエフスク(港)は漁業の大中心である。樺太島の北半には森林が密生して、森業發達の前途を有してゐる。西岸には石油を産し、東岸には石油を藏する處がある。これらの鑛業についてはわが國は特權を有してゐる。近海には水産が多い。西岸のアレクサンドロフスクは主邑で、わが國



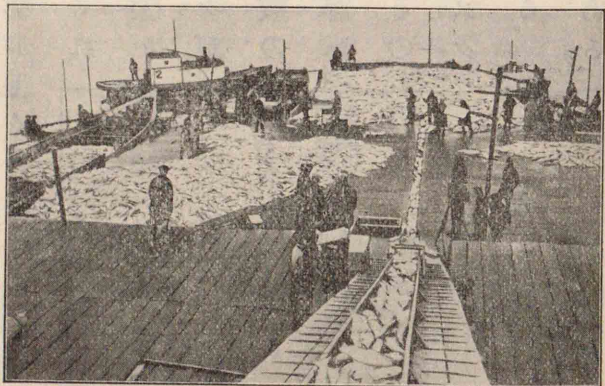
クスフロドソサクレア

オハにわが總領事分館がある。

カムチャツカ半島の近海には鱈・鯨・海豹の産が多い。

人の在留するものがある。オハは油田の一中中心である。

カムチャツカ半島は山がちで火山が多く、土地がまだ開けないが、河川には鮭鱒が多く、夏期にはわが國人の出漁するものが甚だ多い。東岸にはペトロパウロフスク港があつて、漁船が來泊する。半島の東方海中にあるコマンドル諸島は膾炙の棲息地である。



業漁の人邦るけ於にカッチムカ

ペトロパウロフスク・アラゴヴェシチェンスクにわが領事館がある。

がある。附近に金の産地が多い。キヤフタは蒙古の買賣城に近く、國境貿易が行はれてゐる。バイカル湖から流れるアンガラ川に沿ふ、イルクツクは商業の

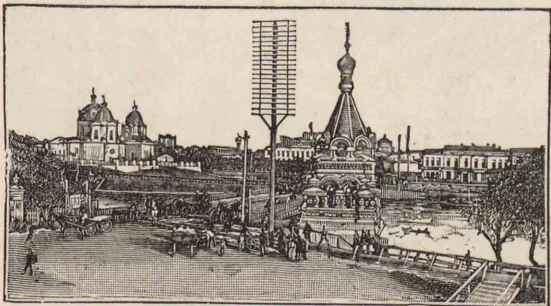
ノヴォシビリスク
にわが領事館があ
る。

クツクルイ



更には西方には農牧業の中心オムスクがある。

中心である。ヤクトクは同名の自治共和国の首府で、レナ川に臨み毛皮象牙を集散する。鐵道に沿うて西に進めば、土地が次第に開けて都邑が多く、農業がよく行はれて、シベリヤの穀物倉と稱せられる地方がある。幹線からやや北にトムスクがある。シベリヤ有数の都市で、大學、博物館等がよく備つてゐる。その西南のノヴォシビリスクは鐵道交通の要點に位し、商業が行はれる。



クスムオ

ハシベリヤと日本 シベリヤはわが國と境を接し、また外バイカル鐵道とウスリ鐵道とは東支那鐵道を経て、わが南滿洲鐵道に連り、彼我の勢力圏は、到る處に接觸するから、外交交通通商等の關係が深い。

世界大戦中シベリヤの形勢が一部不穩を來したので、わが軍はここに出動し、大正九年ニコライエフスクに於けるわが國人が悉く殺害せられてから、わが國はその極東の要地を軍事的に占領してゐたが、同十四年に至り國交が舊に復して、わが軍は撤退した。

二 中央アシヤ

一 地文 中央アシヤはイラン高臺の北に隣り、中央にツラン低地があつて、その大部分は沙漠である。中部にアラル海があつて、アムシルの二川を容れる。その北にはキルギス草地があり、東南部にはパミール高地がある。西には世界第一の大湖カスピ海が

面積

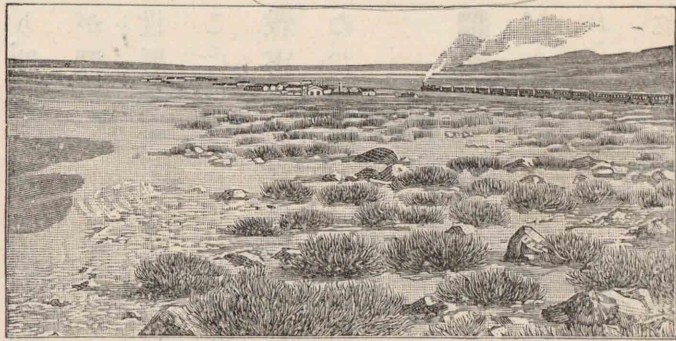
約三五〇萬方呎
(二三萬方里)

カスピ海の水面は
地中海の水準以下
二十六米に及ぶ。

人口 約一〇〇萬
密度 約三人

サマルカンドはチムール帝の都した處で今なほその廟墓を存してゐる。

道鐵ヒスカ外と方地地草



横はる。

■人文 河流の沿岸のみは土地が豊沃で、穀物・果實・綿等を産する。この地方にはウズベク種族が土著して、農蠶の業を営んでゐる。沙漠にはトルコマン種族が出沒し、草地にはキルギス人が遊牧を業として、駱駝・馬・羊等を飼養する。この地方はウズベク・トルコマンの二共和國及びカイザク(ギス)自治共和國等に分かれ、前の二國はソヴィエツト聯邦の構成部分であるが、後者はロシヤソヴィエツト共和國に屬する。

■地方誌 東部にあるタシケント(三)はウズベクの中心都市で、その西南のサマルカンドと共に、隊商の集る處で、商業が盛である。

面積 約四四萬方軒
(三萬方里)
人口 約一三〇〇萬
密度 約三人

コーカシヤの婦人は音楽を嗜むことが甚しい。また山間の土民は不屈の精神に富んでゐる。

外カスピ鐵道はカスピ海岸から起り、トルコマン共和國の中心都市メルフを過ぎ、サマルカンドを経て、支那の西境に近づいてゐる。また一線はタシケントを経てシル川の谷に沿ひ、キルギス草地を横ぎつてオレンブルグに至る。いづれも通商上重要な交通線である。

三 コーカシヤ

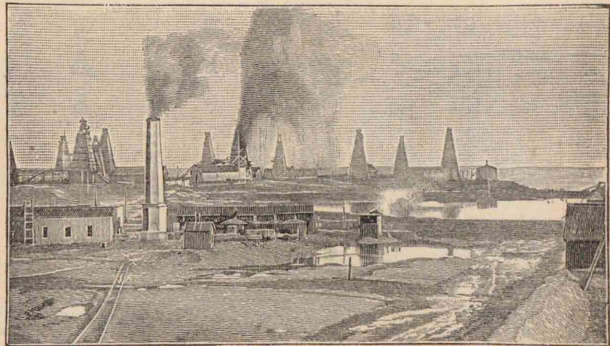
コーカシヤは黒海とカスピ海との間に挟まれ、コーカサス山脈がその中を走つて、山勢が急峻である。南部は温暖で土地が肥え、葡萄酒等の農産の外に石油を産する。

住民はおもにコーカサス種族で、容貌の美しいものが多い。この地方は



人婦のヤシカーコ

井油石のークバ



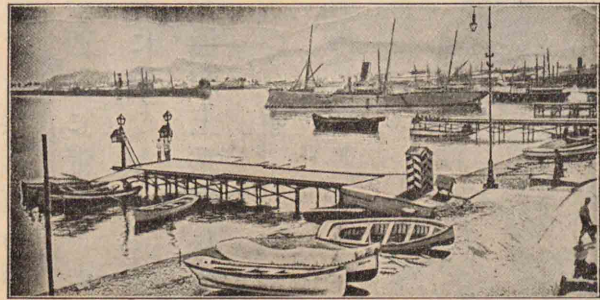
附近は石油の産で名高い。コーカシヤ聯邦の首府で、黒海岸のバツム港は盛に石油を輸出する。

數多の共和國に分れ、中にもジョルジヤ、アゼルバイジャン、アルメニヤの三共和國は合同して外コーカシヤ聯邦を組織し、ソヴィエト聯邦の一となつてゐる。その他はソヴィエト聯邦中のロシヤ、ソヴィエト共和國に屬する。

バク、イランはカスピ海の岸にあつて、その

チフリ、ス（ズ）は外

バツム



港 ム ー ツ バ

峯高のスプルア
(ウラフゲンユ)



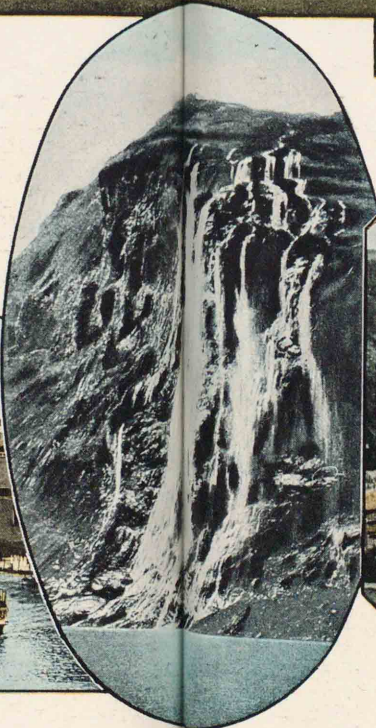
門旋凱のーリバ



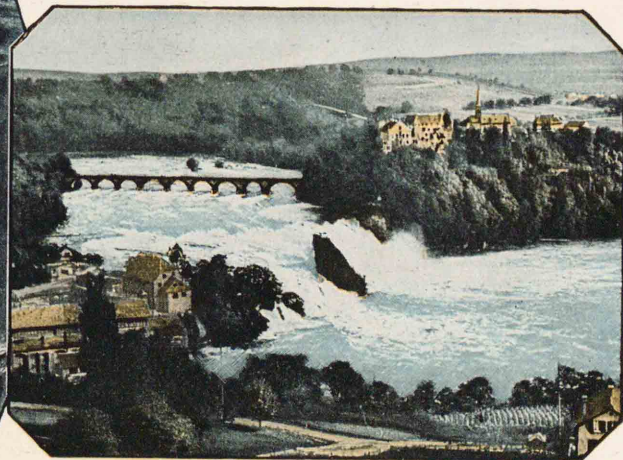
辻ルガルフラトのンドンロ



河運大のスニヱヅ



(ーエウレ)映ルゲンライイガ



布瀑のシイラ

テ
新
妹
の
瀧

第二編 ヨーロッパ

第一章 總論

一 地文

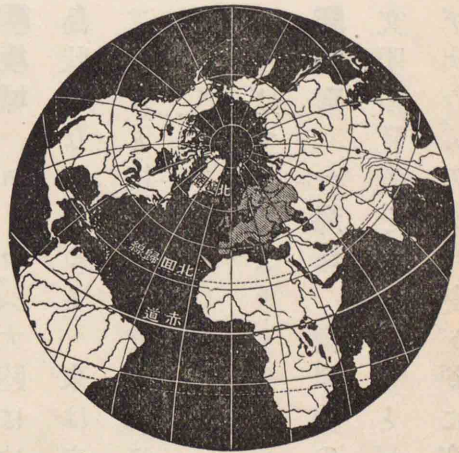
■**境域** ヨーロッパ大陸はいはゆるユーラシヤ大陸の西北部で、半島状をなしてゐる。東はウラル山脈、ウラル川、カスピ海、黒海等でアジアと境し、北は北極海に面し、西は大西洋に臨み、南は地中海を隔ててアフリカに對する。面積は小さくて、アジアの四分の一にも及ばず、支那よりもやや小さい。

■**地形** (一) **海岸** 海岸線の出入は甚だ著しく、これがためにその文明の發達を促したことが極めて多い。大陸の北部にはスカンデナヴィヤの大半島が斜に突き出て、ユトランドの小半島と相對

面積
約九九〇萬方
里
(六四萬方里)

ヨロッパが陸半球の中央に位置してゐることは、圖に示す通りである。

マッローヨと球半陸



し、東にバルト海を抱いてゐる。ユトランド半島とイギリス諸島との間には北海があつて、イギリス海峡に連る。

大陸の西南端にはイベリヤ半島が突き出て、その南端はアフリカの西北端と相迫り、ジブラルタル海峡を挟んで、地中海の咽喉になつてゐる。地中海は大きな内海で、その中央に長靴状のイタリヤ半島が突き出て、アドリヤ海がその東北に彎入する。

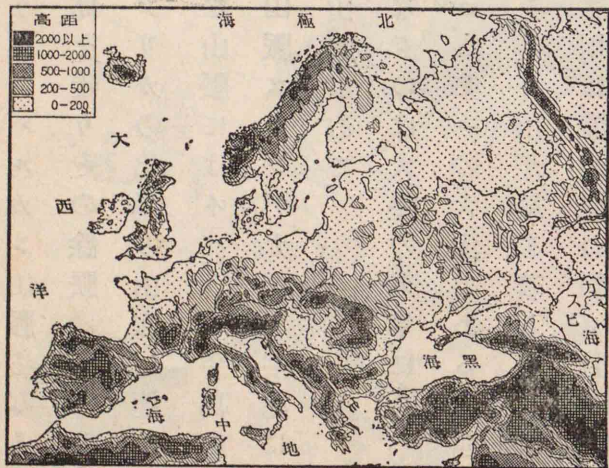
大陸の南には、バルカン半島が突き出て、その南のエーゲ海には、大小無数の島がある。半島の東南端はマルモラの小内海を隔て、小アジアに對する。マルモラ海は兩端の狭い海峡によつて、エ

ヨーロッパの平均高距は三百米で、アジアに比すれば三分の一にも足らない。

ーゲ海と黒海とに連る。カスピ海はヨーロッパの東南と、アジアとの境になつてゐる。

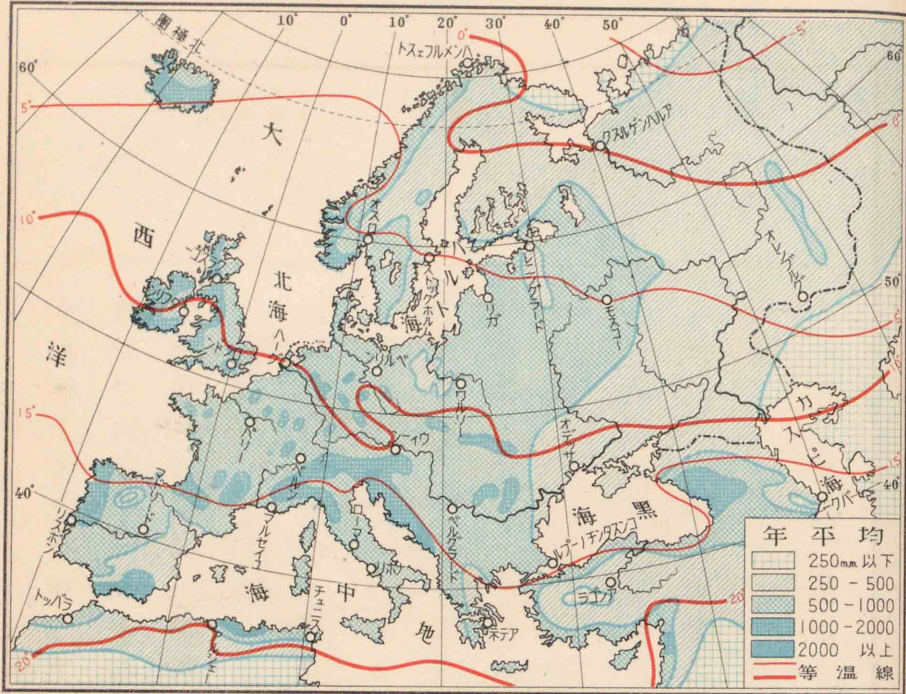
(二) 山系 大陸の西半は山脈が多いが、東半は廣大なヨーロッパシヤの平野で、その東境にあるウラル山脈も高峻でない。この平野はなほ西に延びて、中央ヨーロッパの北海海岸地方に及んでゐる。

山脈のおもなものはアルプス山系で、イタリヤ半島の西北境を廻つて東に走り、二派に分かれ、その一派は東南に折れて、チナルアルプス山脈となり、アドリヤ海の東岸を走り、他の一派は東北から東南に轉じ、一

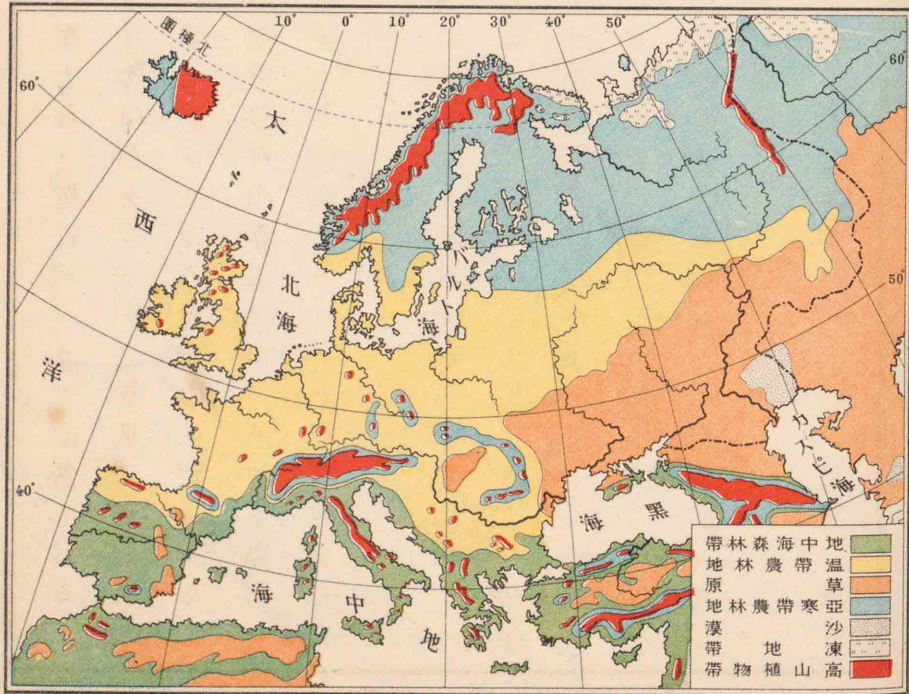


ヨーロッパ地形圖

布分量雨及線温等パツローヨ



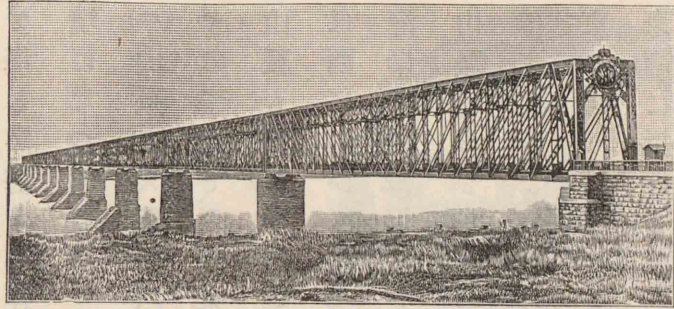
布分物植パツローヨ



火山はイタリヤ半島附近及びイスラントにある。

サマラの西方にあつてアレクサンドル橋と稱し、延長千四百米、汽車の通過に六分を要する。

橋鐵大の川ガルヴォ



大弓形を畫くカルパチヤ山脈となり、更にバルカン山脈となる。またアペニン山脈はイタリヤ半島を走り、その餘脈はシシリ島を過ぎて、アフリカの北岸の山脈に連る。この他重要な山脈には、イベリヤ半島の北境にピレネー山脈、スカンデナヴィヤ半島にスカンデナヴィヤ山脈がある。河流の長大なものは大陸の東半に多く、ヴォルガ川はヨーロッパ第一の大河である。西半にはドナウ川、ライン川が最も著しい。この大陸の諸川は、流が概ね緩く、且つ分水界が低いから、容易に運河で相結ばれ、舟運の便が甚だ多い。

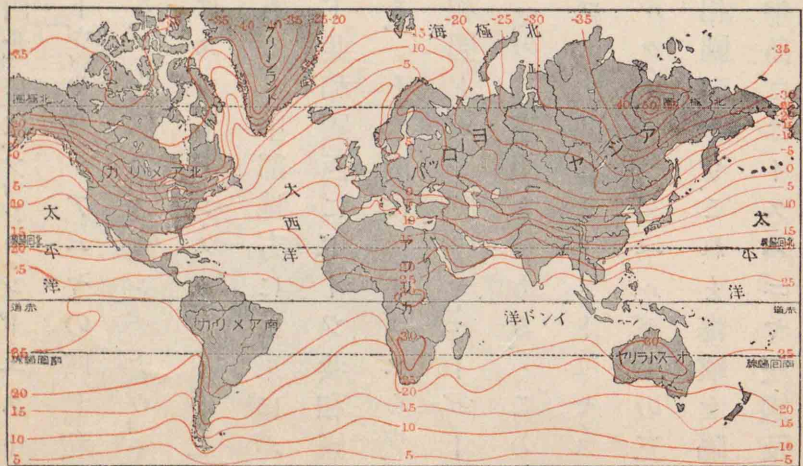
☑ 氣候 温度は緯度の割合には遙に高く、

ヨロッパでは、一月の等温線は緯線と平行せず、却つてほぼ経線と平行する奇観を呈してゐる。

氣候が概ね温暖である。殊に西部海岸地方はメキシコ灣流の影響によつて最も温く、スカンデナヴィヤ半島の北端でも、一年中海水の結氷する時がない。また雨量もこの西海岸に最も多い。これは大西洋から吹き來る西風が、濕氣に富んでゐるからである。

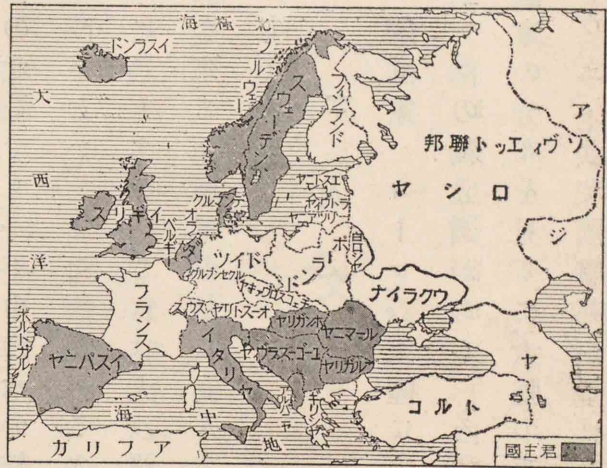
二 人文

一 國家 ヨロッパ大陸には大小三十餘の獨立國がある。その主要國家の分布を見るに、大陸の東半はソヴィエト共和國聯邦がこれを占め、



一月の等温線世界

ヨーロッパ國家分佈



その西北には、フィンランド・エストニア・ラトヴィヤ・リツアニアの四共和國がある。北部のスカンデナヴィヤ半島にはスウェーデン・ノルウェーの二王國がある。中部地方には東にポーランド共和國、西にドイツ共和國が横はる。その南にはチェコスロヴァキヤ共和國と、ホンガリヤ・ユーゴスラヴィヤの二王國とがある。この他アルプス山間にオーストリア・スウェーデンの二共和國、北部の海岸にデンマーク・オランダ・ベルギーの三王國等がある。西部にはフランス共和國があり、これと海峽を隔てて、イギリス王國がある。イベリヤ半島にはイスパニヤ王國及び

ポルトガル共和國、イタリア半島には、イタリア王國がある。バルカン半島には、トルコ・ギリシヤの二共和國及びブルガリヤ・ルーマニア・アルバニアの三王國がある。

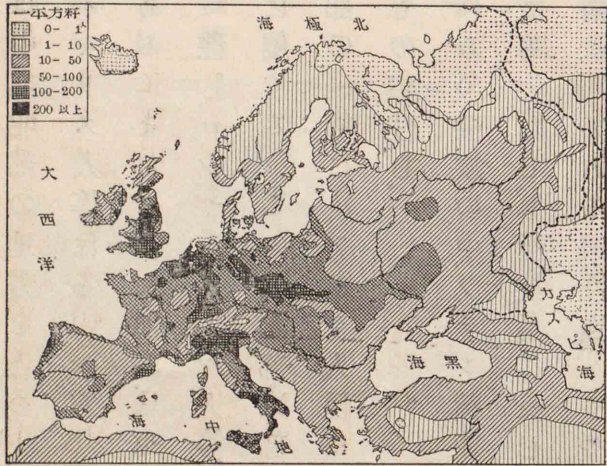
■住民 人口は約四億六千萬で、その密度は諸大陸中第一に位し、殊に商工業の盛な西部・中部の地方に最も大である。

住民の大部はユーラフリカ人種(白人)に屬し、そのおもなものはラテン・ゲルマン・スラヴの三種族である。ラテン種族は大陸の南部・西部に多く、フランス人・イタリア人・イスパニヤ人等がこれに屬する。ゲルマン

人口の密度はアッパの二倍以上に及ぶ。

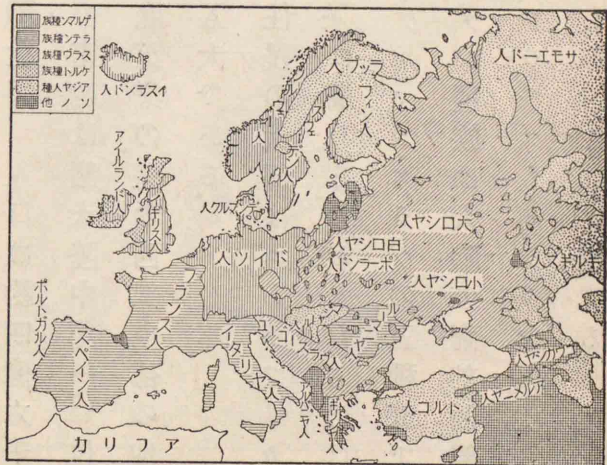
ユーラフリカ人種はヨーロッパ人種ともいふ。

ラテン種族は、ローマ種族、ゲルマン種族は、チュートン種族と稱せられる。



ヨーロッパ人口密度

ヨーロッパ人種分布



種族は中部・北部の地方を占め、ドイツ人・イギリス人等はそのおもなものである。またスラヴ種族は東部に南部に住し、ロシア人・ポーランド人等はこれに属する。その他、北部東部及び南部の一部にはアジア人種に属するものが住む。

これらの中、ラテン種族は最初に開化して、學術・技藝に長じ、殊に美術に巧みであるが、性質がやや軽躁である。ゲルマン種族は著實で、勤勉な美質を有し、學藝の進歩が著しく、また商工業の實權を占めてゐる。スラヴ種族の多數は質朴な農民で、文明の程度がなほ前二者に及ばない。これらの三

ヨーロッパ人のこの大陸以外に住するもの数は一億以上に及ぶ。

ユダヤ教徒は到る處に散在してゐる。

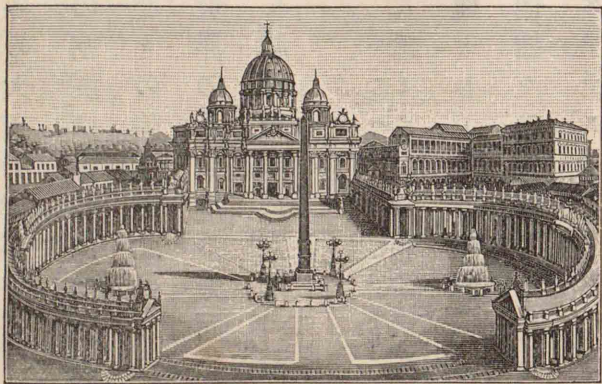
聖彼得ロ

セントペテロはキリスト教の大本山である。十五世紀の中頃に起工し、約百五十年を経て竣工したもので、法皇の居るヴァチカン宮殿と共に復興式建築の模範である。

大種族はその文明の程度が、他の人種に優れて、今日の世界に雄視し、その植民し、または移住してゐる處が全世界に亙つてゐる。

三 宗教 キリスト教が最も盛で、ラテン種族はおもにその舊教を信じ、ゲルマン種族は多くその新教を奉ずる。そしてそのギリシヤ教はおもにスラヴ種族の間に行はれる。この他にトルコ及びソヴィエト聯邦の一部には、マホメット教徒が少くない。

四 産業 東部の平野は農業が盛で、多く小麥を産し、南部は葡萄、オリヴ、蜜柑の果園に富み、養蠶も行はれる。北部は林産が多く、西北の海洋は水産で名高い。そして中部・西部は鐵、石炭等の鑛産に



セントペテロの聖堂

鐵道の延長は世界全鐵道の三分の一に達し、地球周囲の八倍に餘つてゐる。

ヨーロッパの汽船の總噸數は世界全體の三分の二に近い。

富んで、工業が大に興り、商業も繁榮し、世界の大市場になつてゐる。
交通 交通系統はよく備はり、鐵道の密度は遙に他の大陸に優り、特にシベリヤ鐵道ができてから、東亞との陸上交通は大に便利になつた。航海業も甚だ盛で、航路を世界のあらゆる方面に通じてゐる。航空業も最近著しく發達して、諸都市間に定期の飛行が行はれてゐる。

六 ヨーロッパと日本 彼我の關係は甚だ深く、わが日新の文明は多くかれから傳はつた。相互の貿易も盛で、わが生絲・絹織物等にかれに與へ、かれの鐵類・機械・毛織物その他種々の工藝品等をわれに取る。また世界大戰に際して、イギリス・フランス・イタリヤはわれとアメリカ合衆國と共に、五大強國として講和の衝にあたり、また國際聯盟を唱へて、世界の平和を圖り、國際關係が一層親密を加へてゐる。

線通交パッローヨ



鐵道の延長は世界全鐵道の三分の一に達し、地球周囲の八倍に餘つてゐる。

ヨーロッパの汽船の總噸数は世界全體の三分の二に近い。

五 交通 交通系統はよく備はり、鐵道の密度は遙に他の大陸に優り、特にシベリヤ鐵道ができてから、東亞との陸上交通は大に便利になつた。航海業も甚だ盛で、航路を世界のあらゆる方面に通じてゐる。航空業も最近著しく發達して、諸都市間に定期の飛行が行はれてゐる。

六 ヨロッパと日本 彼我の關係は甚だ深く、わが日新の文明は多くかれから傳はつた。相互の貿易も盛で、わが生絲・絹織物等をかれに與へ、かれの鐵類機械・毛織物その他種々の工藝品等をわれに取る。また世界大戰に際して、イギリス・フランス・イタリアはわれとアメリカ合衆國と共に、五大強國として講和の衝にあたり、また國際聯盟を唱へて、世界の平和を圖り、國際關係が一層親密を加へてゐる。

第二章 東部ヨーロッパ

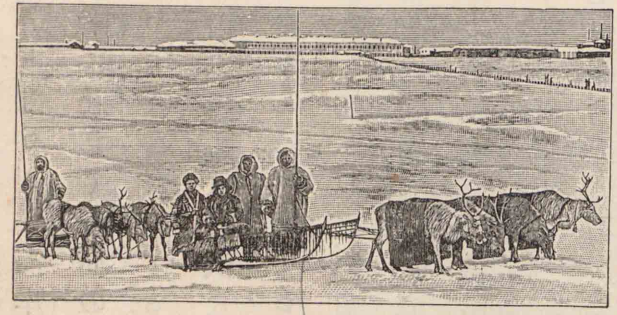
一 ソヴィエト聯邦 (ヨーロッパ)

面積

約四四〇萬方
里 (二九萬方里)

西北部には湖水が
甚だ多く、ラドガ
湖とオネガ湖とが
特に大きい。

シロヤ北部の冬景色



■ 境域地形

ヨーロッパ大陸の東半を占め地形は單調で、東境にあるウラル山脈の外に著しい山がなく、内地は一面に平坦で、ただ小丘陵が極めて緩く起伏するのみである。河川は多く國の中央丘陵から發する。その東南に向ふものには、ヨーロッパ第一の長流ヴォルガ川がある。この他ドン川、ドニエプル川は南流して黒海に入る。

■ 氣候産業

氣候は寒暑共に烈しくて、北極海及びバルト海の沿岸は、冬季概ね結氷す

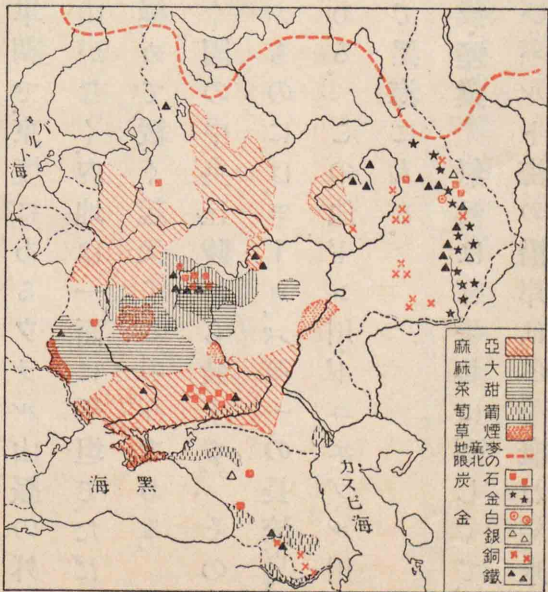
この國の油田は世界大戦と革命のために一時荒廢に歸したが、戦後復舊に意を注いだため堅實な發達を見た。

る。東南カスピ海岸の地方は雨に乏しく、一面の草地となつて、牧畜に適する。ヴォルガ川以西には豊沃な黒土の平野があつて、ヨーロッパの穀物倉と稱へられ、麥類の産が夥しい。國內また麻、甜菜、煙草の産が多い。鑛産にはウラル山中に金、白金、鐵及び寶玉、中部南部に石炭、岩鹽等がある。また近年石油の産額が非常に増加した。大工業は他國に及ばないが、家内工業は普及してゐる。また商業は盛で、麥類、麻等を輸出し、綿機械、茶等を輸入する。

③ 住民 住民の大部分は、スラヴ種族に屬し、大ロシア人、小ロシア人、白ロシア人の別がある。東部北部にはアジヤ人種が雜居する。人口は約一億あるが、國土が廣いから、密度はわが内地の七分の一に過ぎない。

④ 政治 この國はもとロシア帝國と稱し、西はバルト海に及び、東は大にアジヤを蠶食し、イギリスに次いで廣大な領土を有してゐた。然るに世界大戦中に革命が起つて、皇帝は廢せられ、またフィンランド、ポーランド等は獨立した。

今の國家はソ、ヴェ、エ、ト、社、會、主、義、共、和、國、聯、邦、と稱し、ヨーロッパ、ロシア、ウ、ク、ラ、イ、ナ、白、ロ、シ、ヤ、及、び、ア、ジ、ヤ、ロ、シ、ヤ、の、トルコ、ウ、ズ、ベ、ク、外、コ、ト、カ、シ、ヤ、聯、邦、の、六、ソ、ヴェ、エ、ト、共、和、國、と屬領とから成立つてゐる。

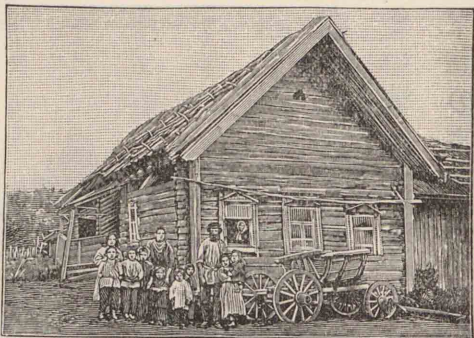


ユダヤ人は諸方に散在して殊に西部に多い。

密度 約二三人

農家は丸太を組んで造つたものが多い。

家のそと人ヤシロ

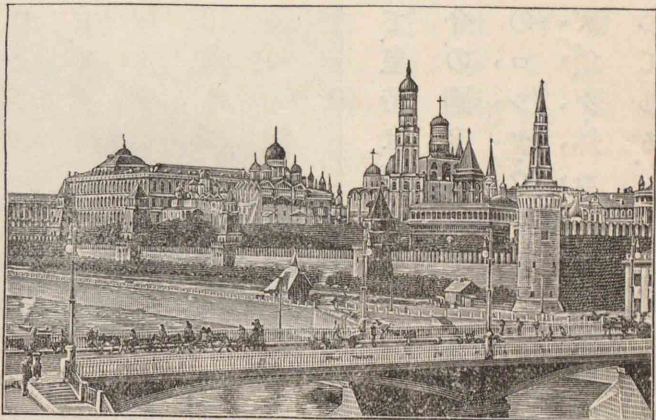


つて、皇帝は廢せられ、またフィンランド、ポーランド等は獨立した。

今の國家はソ、ヴェ、エ、ト、社、會、主、義、共、和、國、聯、邦、と稱し、ヨーロッパ、ロシア、ウ、ク、ラ、イ、ナ、白、ロ、シ、ヤ、及、び、ア、ジ、ヤ、ロ、シ、ヤ、の、トルコ、ウ、ズ、ベ、ク、外、コ、ト、カ、シ、ヤ、聯、邦、の、六、ソ、ヴェ、エ、ト、共、和、國、と屬領とから成立つてゐる。

モスコイは大ロシア人發展の中心である。ここにわが大使館がある。

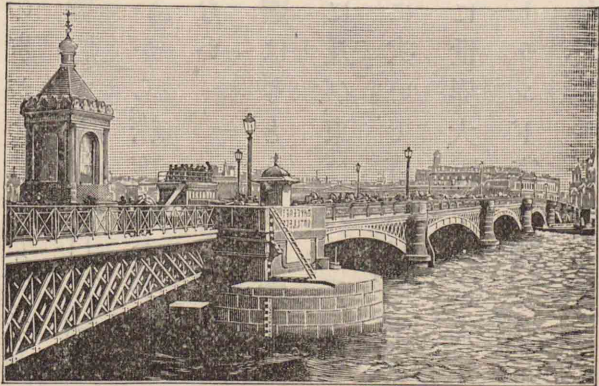
モスコイ川を隔ててクレムリン寺院及び宮殿を望む。



モスコイ

その繁華は全國第一である。フィンランド灣の東隅にあるレニングラードは

五地方誌 國の中央に首府モスコイ(モスクワ)がある。人口は約二百萬に及び、全國商工業の大中心となり、建築風俗がこの國の特色を備へてゐる。その東方にあるニジニノヴゴロドでは毎年夏季に市を開



ニジニノヴゴロド

レニングラードでは晝夜の差が甚しく、夏季は晝間十時間、夜間五時間に及ぶことがある。冬季はこれに反する。

オデッサにわが領事館がある。

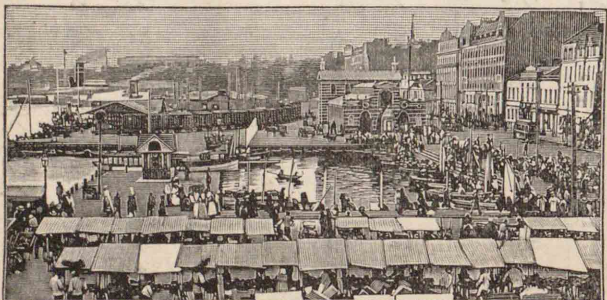
面積 約三四萬方軒
人口 約三五〇萬人
密度 約一〇人

約三四萬方軒
(二二萬方里)
約三五〇萬人
約一〇人

久しく帝都であつた處で、人口は約百六十萬、壯麗な宮殿がある。また繁華な商港である。黒海岸のオデッサ(四)は麥類を輸出する。
ソヴェエト聯邦と日本 兩國はその領土が相接近して、ロシア帝國時代には互に利害關係を異にし、明治三十七年には兵火を交へ、われはかれが侵略の企圖を挫いた。近年ニコライエフスクに於けるわが國人の悉く殺害せられてから、わが國は久しくその極東の要地を軍事的に占領してゐたが、後國交が舊に復して大正十四年に至り撤兵した。

ニ フィンランド

フィンランドはソヴェエト聯邦の西北に連り、土地が低平で湖沼が多く、林業が極めて盛で



ヘルシンキ

ある。住民はアジア人種に属するフィン種族がその大部分を占めてゐる。この國は近年もとのロシア帝國から獨立して共和國となつた。首府ヘルシンキ(ヘルシンゲ)はフィンランド灣に面する麗しい都である。

三 バルト海沿岸諸國

バルト海の東岸には種々の民族が居住して、もとロシア帝國に屬してゐた。世界大戰以來獨立を企て、フィンランドの對岸にはエストニア共和國が先づ興り、その南にはラトヴィヤ、リツアニアの二共和國がまた興つた。レヴァル(タリ)リガ、コヴノ(ナス)は各その國の首府で、中にもリガは麥類、亞麻等の輸出で名高い。

第三章 北部ヨーロッパ

一 スウェーデン ノルウェー

エストニア
面積 約四・八萬方軒
(三〇〇〇方里)
人口 約一一〇萬
密度 約二三人

ラトヴィヤ
面積 約六・三萬方軒
(四〇〇〇方里)
人口 約一八〇萬
密度 約二九人

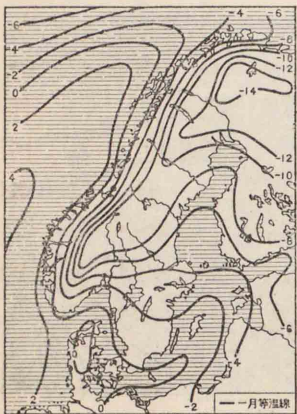
リツアニア
面積 約五・三萬方軒
(三四〇〇方里)
人口 約二二〇萬
密度 約四二人

面積
スウェーデン
約四五萬方軒
(二・九萬方里)

ノルウェー
約三二萬方軒
(二・二萬方里)

ノルウェーの北端は北緯七十度を超え、わが北海道の北端は北緯四十五度に達しない。

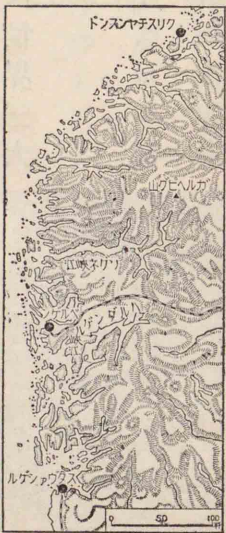
氣象圖



■ 境域 スカンデナヴィヤ半島は、フィンランドの北端から西南に延び、バルト海と大西洋との間に横はり、東部のスウェーデンと西部のノルウェーとの二國に分れる

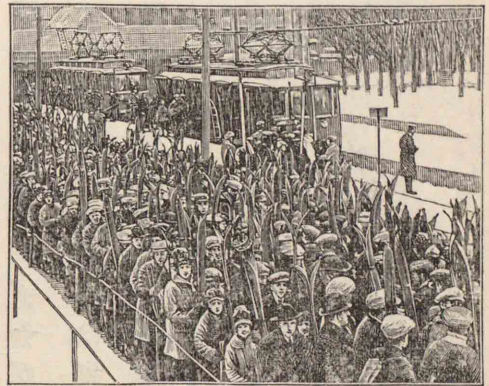
■ 地形 スカンデナヴィヤ山脈が半島を縦貫し、西半は高峻で、大西洋岸に急斜し、海岸は到る處深く刻まれて峽江を造り、また大小無数の島が散在してゐる。東半は低原になつてゐて、南部には大きな湖水がある。

■ 氣候 西部は暖いメキシコ灣流の影響をうけて氣候が溫和で、最北の地でも、その氣温がわが北海道と大差がない。これに反して、東部は冬季に



部一の江峽

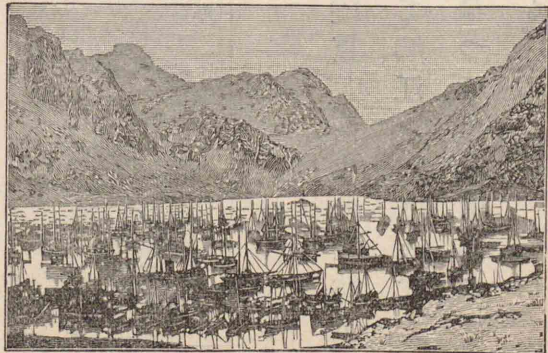
ノルウェーに於てスキー場に向ふため停車場に集つた男女の群。



スキ

造等が盛で、木材紙・マッチは重要な輸出品になつてゐる。ノルウェーの沿海は世界三大漁場の一で、鱈・鯡の産が夥しい。

五 住民政治 人口は少く、住民はおもにゲルマン種族に屬し、温良の風がある。海



合集船漁の島ンテオフロ

は気温が甚しく降つて、海水も結氷するに至る。

四 産業 農業の開けてゐるのは、ただスウェーデンの南部のみであるが、林業は

到る處によく發達し、また水力の利用が夙に開け、製材・製紙・マッチ製

スウェーデン 人口 約六〇〇萬
密度 約一四人
ノルウェー 人口 約二六〇萬
密度 約八人

正面は王宮、遠く聳えてゐるのはニコラス寺院の塔、左端は埠頭。
ストックホルムにわが公使館及び領事館がある。

事に堪能で、ノルウェーの有する商船の數は甚だ多い。また國の北部には、アジア人種に屬するラップ人が住み、遊牧を行つてゐる。兩國共に立憲王國である。

六 地方誌 スウェーデンの首府ストックホルムは、バルト海に面する小灣のほとりにあつて、數個の島上に跨り、清麗なことは、大陸中稀に見る所である。

ノルウェーの首府オスロは國の南部、クリスチヤニヤ灣頭に位する。ベルゲンは西岸にあつて、盛に水産物を集散する。ノルウェーの北部にあるハンメルフェストはヨーロッパ最北の都邑で、五月半から七月末まで太陽が没せず、十一月半から一月末までは、冬の長夜となつて屢極光を見ることがある。



ムルホグットス

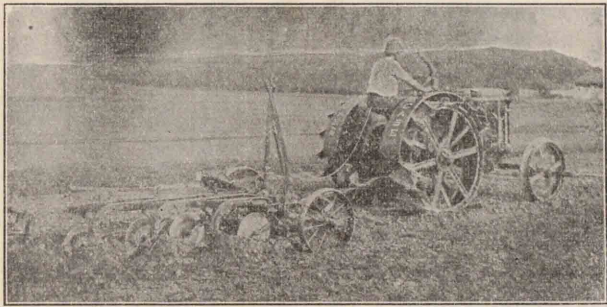
地球の兩極附近で、空気が清く、美しい景色を放つてゐる。自然現象。

面積 約四・三萬方軒
二八〇〇方里

半島の頸部にあたる北シレスウィヒはもとドイツの一部であつたが世界大戦の結果、住民投票によつてこの國に屬することになった。

人口 約三四〇萬
密度 約七九人

業農のグルマンデ



二 デンマルク

■地文 バルト海と北海との間に突き出たユトランド半島と、その附近の島とから成立つてゐる。土地が低平で、スカンデナヴィヤ半島との間の海峡はバルト海の門戸にあつたつて、船舶が盛に往來する。氣候は溫和である。

■人文 農牧の業が行はれ、バターバターの産出が最も多く、その輸出額は總輸出額の過半を占めてゐる。住民はゲルマン種族で、その言語・風習等はスカンデナヴィヤ半島の住民に近く、勤儉の美風がある。政體は立憲王政である。首府コペンハーゲンコペンハーゲンはバルト海の咽喉を扼し、盛な商港である。

島にはヘクラ山の外火山が多く、また名高い間歇温泉がある。

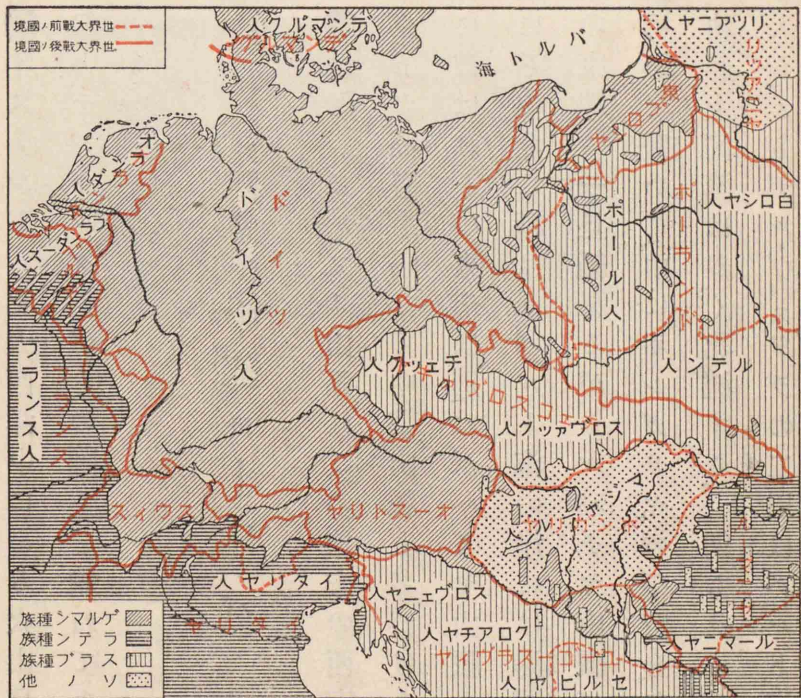
■イスラント 北大西洋中にある火山島で、近年獨立の君主國となり、デンマルク王がその國王を兼ねてゐる。その首府をライキヤヴィックライキヤヴィックといふ。

第四章 中部ヨーロッパ

■地文 アルプス山系はこの地方の西南部に連り、その北麓のバヴァリヤ高臺を隔てて、中帶山脈と名づける低い山脈があつて、森林に被はれ、その東部は別にボヘミヤ山脈となつてゐる。平野は更にその北に横はり、バルト海の岸には潟湖が多い。アルプス山系の東端は一旦絶えるが、カルパチヤ山脈カルパチヤ山脈がその東北から起り、一大弓形を畫いて、中にホンガリヤの平野を包む。

地形上、河流は多く北流する。即ちライン・エルベの二川は北海に入り、オーデル・ヴィスツラの二川はバルト海に注ぐ。獨りドナウ

境國と布分種人のパローヨ部中



川はバヴァリア高臺から東に流れ、多くの支流を合して終に黒海に入る。これらの河川はいづれも流が緩か、水量が多く、また互に運河で連絡せられ、交通の便が少くない。また河に沿うて良港が多い。

■**國家** この地方の西北部にはオランダ・ベルギーの二王國

及びルクセンブルグ大公國がある。東北部にはポーランド共和國が興り、またバルト海岸にはダンチヒ自由市が新に獨立した。北部の平野地方から南方アルプス山系に至る間は、ドイツ共和國が占めてゐる。アルプス山系中には西部にスイス共和國、東部にはオーストリア共和國がある。ホンガリヤ王國はホンガリヤ平原を占め、ボヘミヤ山地からカルパチヤ山脈内側の地に據つて、チエコスロヴァキヤ共和國が興り、南端の地方はユーゴースラヴィヤ王國に屬する。

一 **ドイツ**

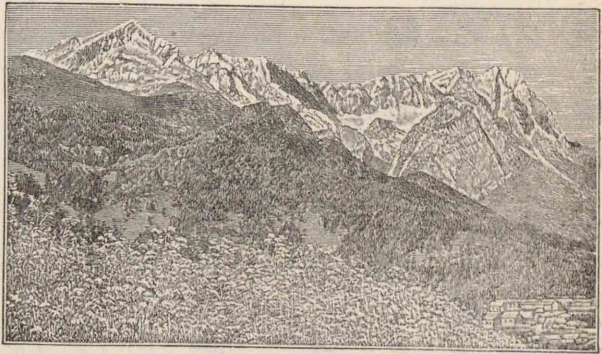
■**地形** 南に高く、北に低く、北部は北ドイツ平野となり、河川は概ね西北にこれを貫流してゐる。河川の中でライン川は源をアルプス山系の中央に發し、この國の西南境を流れ、中帶山脈の間に入つて峽流をなし、風景の美を以て著れてゐる。下流は平野を流

面積
約四七萬方軒
(三萬方里)

ユトランド半島の南部にはキール運河があつて、バルト海と北海とを連絡してゐる。

國の南端アルプス山脈中にあつて、海拔二千九百六十三米、頂上に高山氣象臺がある。

山 ヲツピスグーツ



れ、オランダに入り、北海に注ぐ。流域が廣く、水運の利が大で、古來重要な交通路になつてゐる。

■ 氣候 南部は

土地が高く、北部は低くて且つ海に面してゐるから、南北兩地方の寒暖の差は甚しくない。ただ冬季は西部から、

東部に進むに従つて、氣温が次第に降る。

■ 産業

ドイツはもと農業國であつたが、その後工業が盛に起り、これに伴つて商



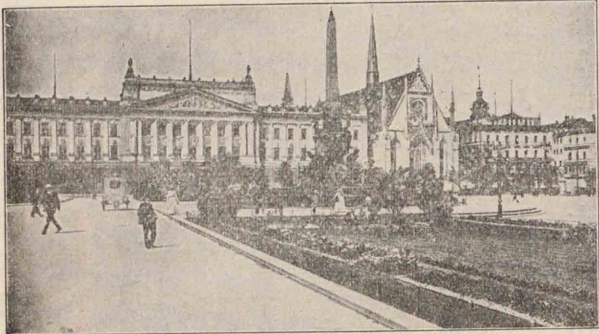
獲收の菜甜

甜菜糖産額

世界 約八四〇萬噸
ドイツ 約一六〇萬噸

外國貿易は今日に於ても主として、原料品・半製品・食料品を輸入し、全製品を輸出してゐる。

學大ヒチブイワ



業も榮え、今は世界主要商工國の一である。農産には麥類、甜菜、馬鈴薯、ホップ等がある。そして甜菜糖の産額は世界第一である。國

の西部には盛に葡萄酒を産する。中部以南には美しい森林があつて、林業の發達してゐることは他にその比を見ない。また麥酒の産が多い。

ライン地方の大炭田を始とし、國內處々に豊富な炭田がある。製鐵業は近年大に進歩し、紡績、染織、機械製造、化學工業、出版業等も大に勃興し、商業も盛大で外國貿易の進歩が著しい。商工業の發展は都市の發達を促し、總人口の約六割は都市の住民である。

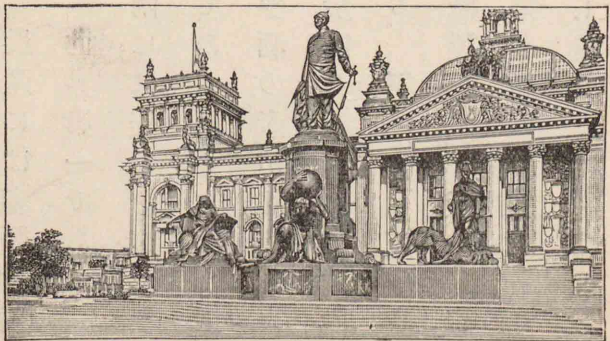
■ 住民 住民の大部分はゲルマン種族

【密度】 約一三四人
この國人のアメリカに移住してゐるものが少くない。

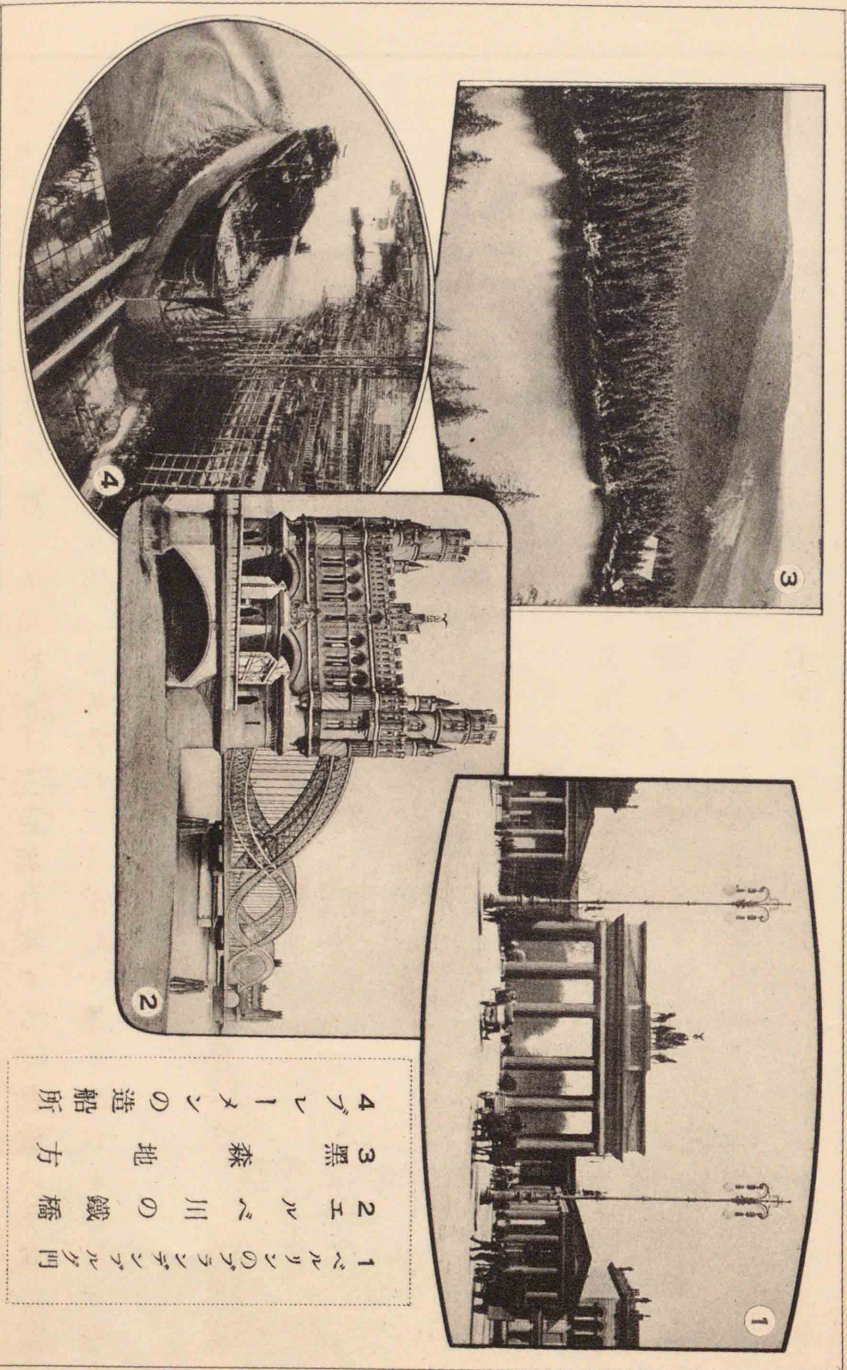
のドイツ民族で、人口約六千三百萬に達する。勤儉の美風に富み、また大に學術を重んじ、國內に二十餘の大學が設けられ、世界學術の中心になつてゐる。

【五】政治 この國はもと大小數多の邦國に分れてゐたが、五十餘年前に聯合して、ドイツ帝國を建て、教育・産業を奨勵し、貿易・移民につとめ、アフリカ・南洋に廣い領土を拓き、また支那では膠州灣を租借し國勢が甚だ盛であつた。

然るに世界大戰を起してから國運は次第に傾き、遂に帝政を廢して、共和政治を行ひ、講和條約によつて、その國境地方に於て少からぬ地域を他國に割讓し、また悉く海



像念記グルマスビと堂事議のンリルマ



1 ベルリンのブランデンブルグ門
2 エルベ川の鐵橋
3 黒森地方
4 プレシメンの造船所

ベルリンにわが大
使館がある。

ベルリン大學はナ
ポレオン戦争後國
家興隆の基に學術
の進歩にあると悟
つて建てたもので
約八千の學生を有
する。

市業工と田炭の方地ルール

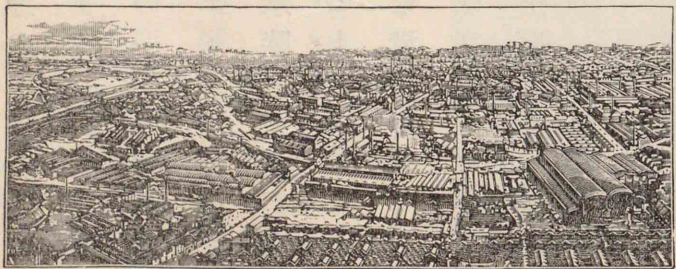


外の領土を失つた。かくて今は十五共和國と
三自由市とから成立つ聯邦共和國となつた。

地方誌 北ドイツ平野

の大部分と、ライン川流域の
一部とはプロシヤ共和國で
ある。ドイツ聯邦の首府ベ
ルリンは平原の中央に位し、
人口約四百萬に達し、市街が

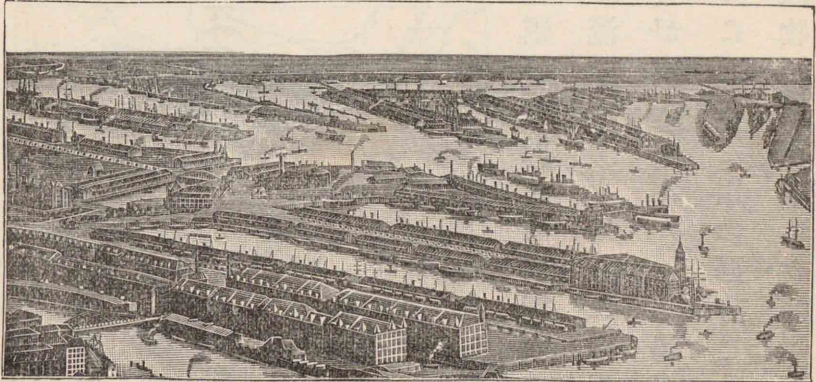
壯麗で、交通、商業、學術の中心である。ライン川
下流のルール地方には炭田が長く連り、製造工
業が盛大で、クルップ工場で名高いエッセンもこ
こにある。川の西方にあるクレーフエルドは絹
織物の産が多く、ケルンギは繁盛な河港で、鐵道



場工鐵ブッルグ

ハンブルグにわが
總領事館がある。
この港はわが汽船
の航路にあたる。

敵島の港グレンハ



が四方から集まり、交通の一中心である。フランクフルト(聖)はライン川の支流マイン川に沿うて、金融の一中心である。ハンブルグ(二)はエルベ川の下流に位する盛大な港市で、水陸の交通が繁く、貿易が盛である。ブレームン(三)はその西にあつて、また繁盛な港市である。サクソニヤ共和国はプロシヤの南に位し、鑛産が多く、工業が盛である。その中心都市のドレスデン(三)はエルベ川に跨つて美術工藝で知られてゐる。その西北のライプチヒ(三)は學術工業の都市で、出版業の盛なことは世界第一である。

イタリヤの畫家
ラファエル筆の
マドンナ。

國の南部にあるミュンヘン(三)は、バヴァリア共和国の中心都市で、麥酒の産地として聞えてゐる。

ドイツと日本 わが國近時の文

武の制度は概ねこの國に倣ひ、學者の遊學するものが多く、學術・技藝の進歩

もこの國に負ふ所が多い。かれは支那との貿易に力め、わが商業の競争者であつた。然るに世界大戰が起ると、われは先づ山東省からかれの勢力を驅逐し、尋いで太平洋上赤道以北にあるかれの領土の南洋諸島を軍事的に占領し、講和の後、南洋諸島はわが國が委任統治を行ふこととなつた。わが國はこの國から鐵類・化學製品・機械・毛絲・染料等を需要する。



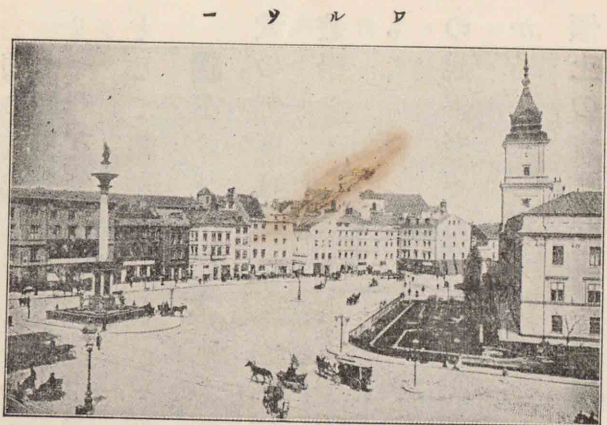
畫名の館畫繪シテスレド

ニ ポーランド

面積 約三九萬方軒
 (二・五萬方里)
 人口 約二九〇〇萬
 密度 約七四人

圖説
 ザムコフスキー
 小公園を示す。
 シギスムンド
 三世の記念碑と
 舊王宮とが見え
 る。

世界大戦後ドイツ
 と争になつてゐた
 上シレンヤ東部工
 業地帯の一部は、
 人民投票の結果こ
 の國に併合され
 た。



■**境域地形** ドイツの東に隣り、カルパチヤ山脈が南境に連つて、チエコスロヴァキヤに接する。北ドイツ平野は延びてこの國に及び、更に東方ヨーロッパロシアの大平野に連る。ヴィスツラ川は國內を貫流して、後バルト海に入る。

■**人文** この地方はスラヴ種族に屬するポーランド民族の住する處で、中古ポーランド王國を建て、後ロシア・ドイツ・オーストリアの三國に分割せられたが、世界大戦の結果、その民族居住の故地に據つて再び國を興し、獨立して共和政治を行つてゐる。

土地はよく開け戸口が密で、多くは農業を營み、麥類の産が多く、また西南部に

ワルソーにわが公使館がある。

面積 約二〇〇〇方軒
 (二・三〇方里)
 人口 約三八萬
 密度 約一九〇人

面積 約三・四萬方軒
 (二・二〇〇方里)

地
 図

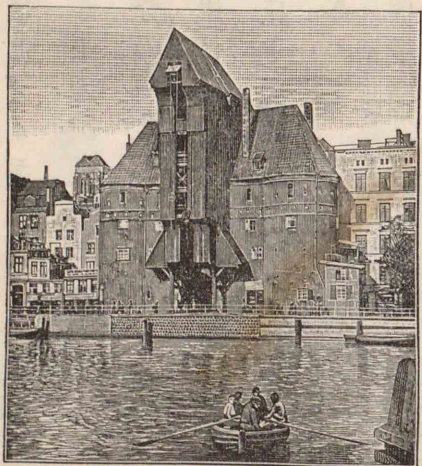
は豊富な炭田があり、カルパチヤ山脈には石油岩鹽を産する。首府ワルソー(ワルシャ)はヴィスツラ川に跨つて、交通・商業の中心である。ロヅンはその西南にあつて、機業が甚だ盛である。

三 **ダンチヒ**

ダンチヒはヴィスツラ河口に近い港市である。この市はその附近の地と共に世界大戦の結果、ドイツから割かれて、獨立の自由市となり、ポーランドのためにはその海口になつてゐる。

四 **オランダ**

■**境域地形** オランダはドイツの西に隣り、北海に臨む小國で、その面積は殆ど臺灣に等しい。南部は、ライン・マース二川の三角洲から成



ヒチンダ

治水工事の發達してゐることは實に世界第一である。

牧場・溝渠・風車等は、この國風景の特色である。

黄水仙を栽培した畑。

北海には鮮の漁利が大である。



り、北部にはゾイデルゼーの淺海が彎入する。土地が極めて低平で、全面積の約四分の一は水面よりも低い。しかし海岸には高い砂丘と堤防とがあつて、海水の侵入を防ぎ、また卑濕の地には縦横に無数の溝渠を穿つて排水に力めて農園を開き、また交通を助けてゐる。

氣候は溫和で農牧が發達し、バター・チーズの産出が極めて多く、園藝の業も盛に行はれてゐる。

政治住民 政體は立憲君主政體で、今



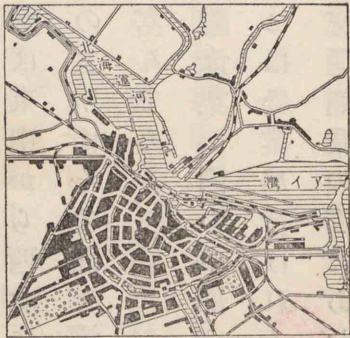
畑花のダシラオ

Nederland
ベルギー
オランダ

人口 約七四〇萬
面積 約二一八人

阿姆斯特ダムはバター及びチーズの大市場である。ハーグにわが公使館がある。

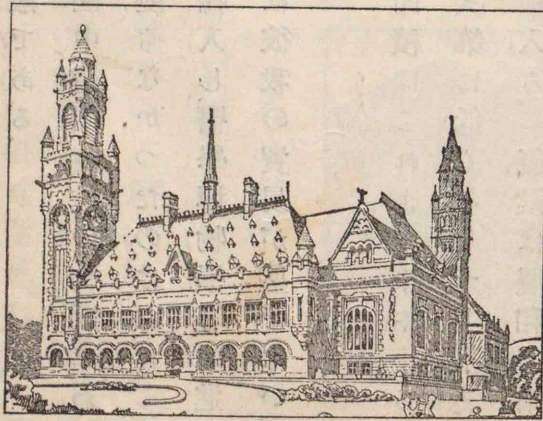
ムダシラオ



に六十倍する領地を有してゐる。

地方誌 ゾイデルゼーの岸にある阿姆斯特ダム(昔から有名な商港で、ダイヤモンドの琢磨で聞えてゐる。その西南の首府ハーグには萬國仲裁裁判の開かれる平和殿がある。ロッテルダムはライン川の下流

は女王を戴いてゐる。住民の密度は、わが國より遙に大である。國民は航海・通商の術に長じ、嘗て世界海上の覇權を握つたが、今は國運が昔日のやうでないが、なほオランダ領東インド諸島等本國



殿和平

裁判所

にあつて、交通の要點に位し、商業が活潑である。

四 オランダと日本 ヨーロッパの諸國中、徳川時代の初期にわが國と通商を始めてから鎖國時代にも變らなかつたのはただこの國だけで、ヨーロッパの文明をわが國に輸入し、醫學、博物學等の進歩を促したことが少くない。しかし今は彼我の貿易が盛でない。

五 ベルギー

地四 68頁

面積 約三萬方呎
(二九〇〇方里)
オランダに似て河
流・運河が極めて
多く、舟運の便が
甚だ大である。

境域地形 オランダの南に位し、面積はこれよりやや小さい。地形は東南から西北に行くに従つて、次第に低くなり、マース・シエルトの二川はその間を流れて、オランダに入る。氣候は溫和で、雨量に富んでゐる。

産業 國の中部は石炭及び鐵に富み、工業が最も盛で、平野地方には農業が行はれる。この國は文明列強の間に位して、中古以來交通・商業の衝にあたつてゐるから、外國貿易は極めて盛で、交通

一三〇五年
考
考
考

四 約七八〇萬人口密度は約二百六十人で、わが國最大の密度を有する關東平野と匹敵してゐる。

コンゴの面積は本國の八十倍に及ぶ。

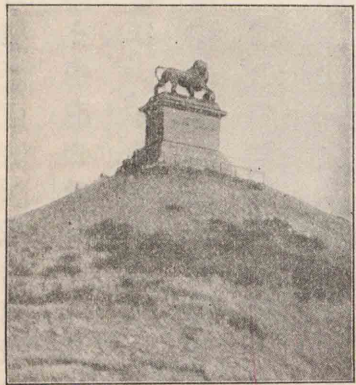
ブリュッセルにわが大使館がある。

ブリュッセルの南方にあつて、イギリス・プロシヤの聯合軍がナポレオン一世を破つた處で、小丘の上に獅子像を安置して記念としてゐる。

事業も著しく發達して、鐵道網の密度は世界第一である。

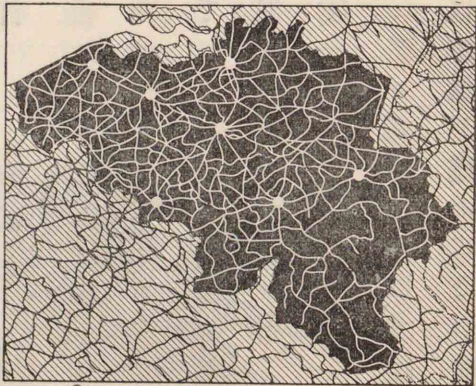
三 住民政治 南部にはラテン種族、北部にはゲルマン種族が住み、人口の密度は世界第一に位してゐる。政體は立憲王政で、その領土にはアフリカの中部に廣大なコンゴがある。

碑念記のーロルテア



四 地方誌

首府・ブルッセル(六)は國の中央に位する清麗な都市で、工藝の産に富み、殊にレースの技は世界第一と稱せられる。國の中部には工業市が相連つて、製鐵業が行はれ、また板ガラスの特産がある。平



網道鐵のーギルベ

アントワープにわが領事館がある。

シエルト川に沿つた繫船岸壁を示す。

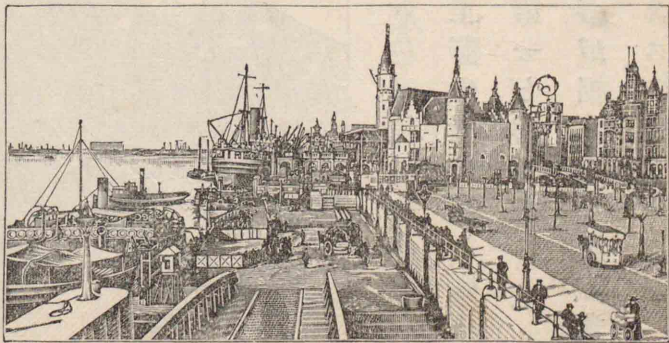
面積 約二六〇〇方軒
(二七〇方里)
人口 約二六萬
密度 約一〇〇人

面積 約四・一萬方軒
(二七〇〇方里)

野地方には麻織物綿織物の産が多く、ガンはその中心である。アントワープ(アンヴェ)はシエルト川の下流に臨む港市で、貿易が盛に行はれ、わが郵船の寄港地である。
五 ルクセンブルグ ベルギーの東南に隣る小さい大公國で、多く鐵を産する。首府をルクセンブルグといふ。

六 スウイス

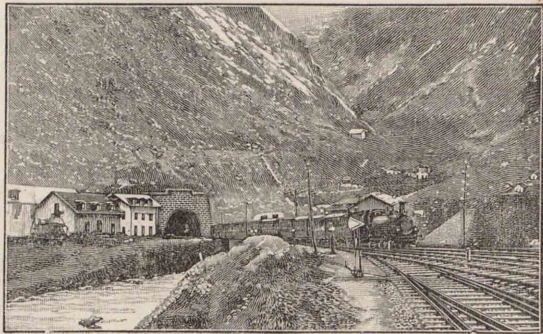
一 境域地形 ドイツの南にある小國で、面積はわが九州と大差がない。國の南半にはアルプス山系が東西に横はり、西北境のジュラ山脈との間に臺地を挟んでゐる。アルプス山系は、大陸南北の交通を妨げる一大障壁であるが、今は鐵道が處々にこれを横



頭埠のブーワトシブ

サンゴタルドのトンネルは長さ約十五軒で、これを通過するには最急行列車でも十六分を要する。
シンプロントンネルの長さは約二十軒で世界最長のものである。

口入の越ドレタゴンサ



ぎつてゐる。殊にイタリヤに通ずるサンゴタルド越、シンプロン越等はその重要なものである。
サンゴタルド越の附近はおもな分水界になり、ローヌ川は西に流れてレマン湖に注ぎ、後フランスに出て、ライン川は東北に流れてポーデン湖に入り、後ドイツに出る。國內到る處に湖水があつて、山高く水清く、夙に世界の公園と稱せられてゐる。

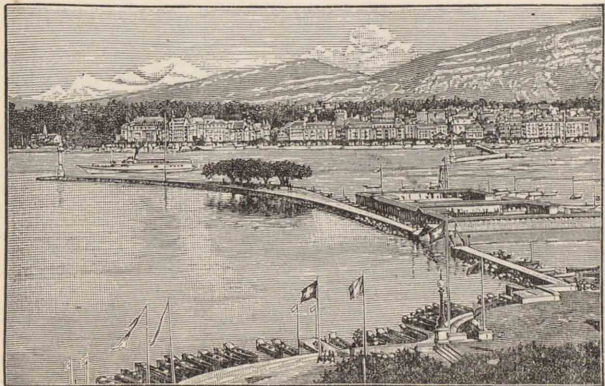
この國の女子は手藝に長じ、刺繡リボン等は世界に比類稀なものを産する。

二 産業 牧畜は盛に行はれ、アルプス山間には多く牛を飼つてゐる。また水力は巧に利用せられて、工業がおもな産業となり、絹綿麻各種の織物及び時計の産が甚だ多い。
三 住民政治 住民の種族が多く、言語も各地方で異つてゐる。

人口 約三九〇萬
密度 約九五人

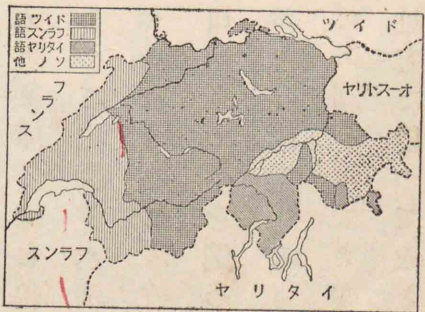
ドイツ民族が最多數を占めて中部以東に住み、フランス民族は西部に居り、その他はイタリア民族等で南部に住する。共和政治を行ひ、中立國になつてある。

グーネウジ



この國の國際的地位は列國共同事業の中心地であるに適してゐて、屢これに利用せられる。

四 地方誌 首府ベルンは國の中部にある。東北部のチューリヒは製織化學工業で聞え、この國第一の都市である。西南部レマン湖岸のジュネーヴには、萬國



布分語言のスイス

左に白く見えるのはアルプスの最高峰モンブランである。ベルンにわが公使館がある。

ジュネーヴにわが國際聯盟事務局がある。

観光客の費す金額はこの國富源の主要なものになつてゐる。

面積 約八・四萬方軒
(五四〇〇方里)

人口 約六五〇萬
密度 約七七人

赤十字中央社が置かれ、また近年國際聯盟の本部を置かれてゐる。市は夙に時計製造で名高い。國內到る處風光が秀絶なので、世界各國から來り遊ぶものが極めて多い。レマン湖畔及びビルツェルン附近は特に観光客の來集する處である。

七 オーストリア

境域地形 スイスの東に隣り、アルプス山系東部の地を占めてゐる。數條の連嶺が高く聳えて東西に走り、その北麓ドナウ川沿岸の地と、山間の溪谷とに多少の平野を有する。山地には牧牛が行はれ、また鐵を産する。山麓の地には麥類、葡萄を産し、工業も行はれる。

住民政治都市 住民はドイツ民族で、嘗て帝國を建てて、廣大な領土を有してゐたが、世界大戰のため、國運が大に衰へ、帝政を廢

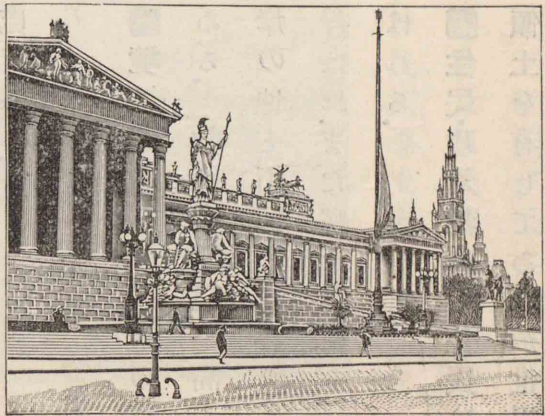
スイス 東
ホニガリヤ 西
イタリヤ 北
ユーゴスラヴィヤ 南
チエッコスロバキヤ 南
ドイツ

ウィーンにわが公使館がある。

リンガ街の一部で、近景は國會議事堂、前庭にミネルヴァ女神の噴水がある。遠方の高塔は市廳のそれである。

國の西境にリヒテンスタインの公國がある。

ウィーン國會議事堂



して共和政を行ひ領土は分裂して今は僅にこの小地域に限られることになつた。

首府ウィーンはドナウ川に沿ひ、人口約百九十萬ある。もと宮殿の壯麗市街の美はフランスのパリーに次ぐと稱せられてゐたが、舊皇室が倒れてからは舊態を維持することができず、大に寂れて來た。

ハチェコスロヴァキヤ

一 境域地形 一 オーストリアの東北に隣り、ボヘミヤ山地から東方カルパチヤ山脈内側の地に及ぶ。ボヘミヤ山地の中央には盆地があつて、エルベ川が山地の水を集めてここに會し、北境の山脈

面積 約一四萬方里 (九〇〇〇方里)

人口

約一四〇〇萬

密度

約一〇〇人

を破つてドイツに流れ出る。

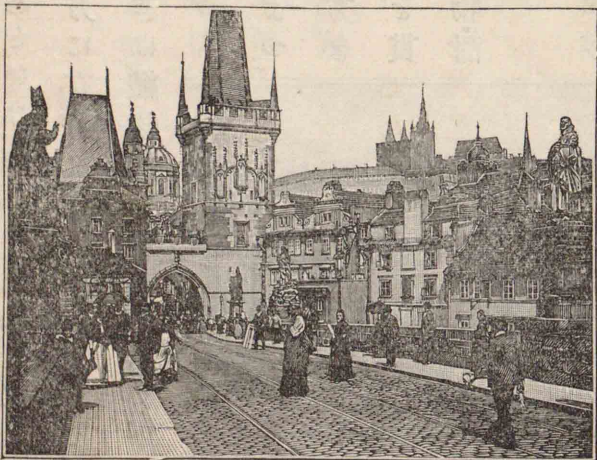
二 住民政治 住民はおもにスラヴ種族に屬するチエック民族とスロヴァク民族とから成立つてゐる。これらの民族は久しくオーストリアの治下にあつて、民族的發展を試みることはできなかつたが、世界大戰に際し、先づ獨立を唱へ、講和の結果今日の國土を占めて共和政治を行ふこととなつた。

三 産業

ボヘミヤ中央の盆地及び東部の平野は麥類の産に富み、また處々に石炭を出す。盆地の中には織物業が盛大を極め、西部の山間にはガラス器の特産がある。

圖説

モルダウ川の橋上から市街を望んだもので、橋頭に舊態を存する樓門がある。高く聳ゆるは寺院でその右に舊王城がある。



プラハ

プラーグにわが公使館がある。

面積 約九・三萬方呎
(五九〇〇方里)

地勢
産物
都府

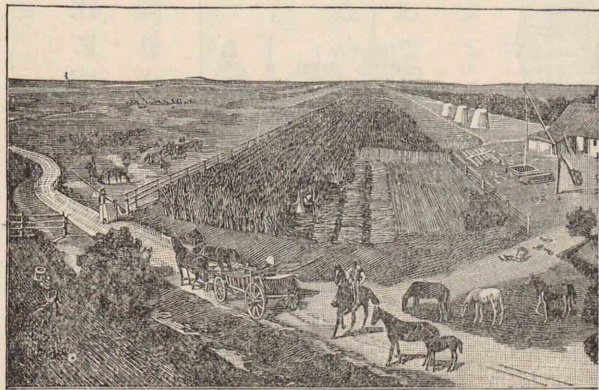
人口 約八四〇萬
密度 約九〇人

四 地方誌 首府をプラーグ(ハラ)と云ふといひ、盆地の中央に位し、壯麗な宮殿及び寺院がある。その西方に有名なカールスバードの温泉がある。東南部のブリュン(アル)ニは織物業で著れてゐる。

九 ホンガリヤ

地形産業 カルパチヤ山脈によつて包まれた大盆地の中央平野の地方を占め、ドナウ川とその支流とがこれを貫流する。農牧の業がよく行はれ、穀物・甜菜・牛・馬・羊等を産する。

住民政治都市 住民はおもにアジア人種に屬するマジール民族で、夙にヨーロッパの文明を吸収してよく開け、オーストリアと共に強大な帝國を作つてゐる。



原平のヤリガンホ

図説
ブダ市からドナウ川を隔ててペスト市を望んだもの。遙に見えるのはステファン寺院、川の對岸左方にあるのは學士院。

面積 約二四萬方呎
(二・六萬方里)

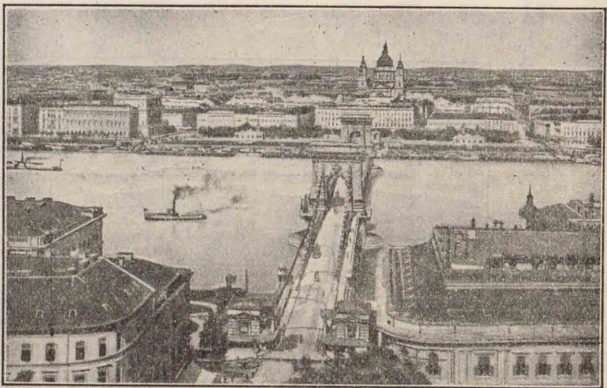
たが、世界大戰の結果分裂して僅に今日の地域を保ち、立憲王政を行ふに至つた。首府ブダペスト(ヒ)はドナウ川に跨る清麗な都市で、政治商業の中心である。

第五章 西部ヨーロッパ

一 イギリス

二 境域 イギリス諸島は大陸の西方に位し、大ブリテン及びアイルランドの二大島と多くの小島とから成り、東南は狭いイギリス海峡を隔てて、フランスに對する。その面積はわが國の二分の一よりも小さい。

三 地形 大ブリテン島南部の大部分をイングランドといひ、東

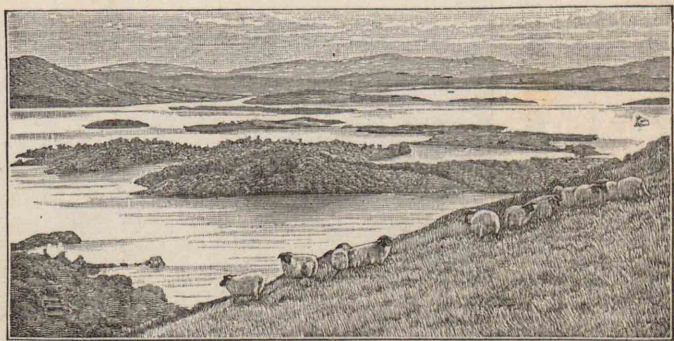


トスヘダブ

この國第一の高峰
ベンネヴィスは高
さ僅に千三百餘米
に過ぎない。

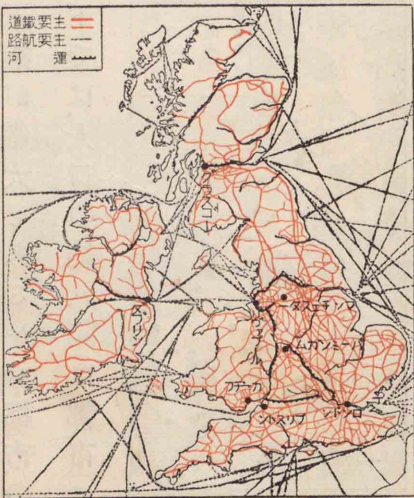
スコットランド
の太湖で、風景
の美しいので名
高い。

半は平野に富み、西半は山がちである。ウェ
ールズの半島はその西に連つて山が多い。
島の北部スコットランドは山岳が大部分を
占めて、その間に僅に带状の平地を剩し、ま
た湖沼の風景を添へるものが少くない。
アイルランドはその中央部が平坦で、周
圍に低い山岳を繞らし、東方大ブリテン島
との間にアイルランド海を挟んでゐる。
海岸線の出入の多いことはこの國の特
相で、殊に西岸に著しく、多くの海灣や良港
を形成してゐる。河流は長大ではないが、
多くは流が緩かで且つ水量が多く、船舶は遠く上流の地に至るこ
とができる。運河も多くて交通の便が甚だ多い。



湖ドンモロのドンラトッコス

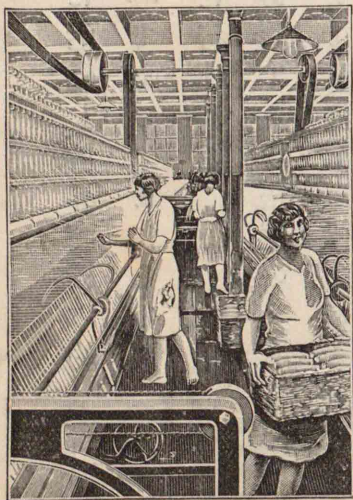
線通交スリギイ



三 氣候 ○島國である上に、メキ
シコ灣流の影響をうけ、氣候溫和
で濕氣が甚だ多い。殊に西海岸
は東海岸よりも降雨が多く、また
首府ロンドン附近は霧の深いの
で名高く、快晴の日は極めて稀で
ある。

四 産業

この國は鐵と石炭と
に富み、工業が甚だ盛に行はれ紡
績・製鐵・製鐵・機械製作・造船等が最
も著れてゐる。農牧の産も漁業
の利も少くないが、人口が多いか
ら食料の供給を南北アメリカそ



業績紡のスリギイ

工業ノ原動力
石炭
鐵

八幡製鐵所

約一八三人

人口五萬以上の都市の数が九十八ある。

イギリス人の家庭の清く美しいことは世界の模範とする所である。また一般に勤儉の美風があつて、女學生等もその服装が甚だ質素である。

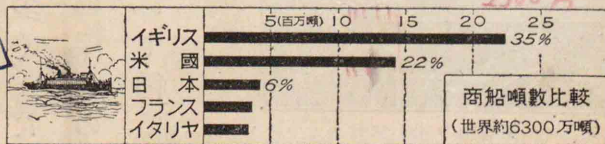
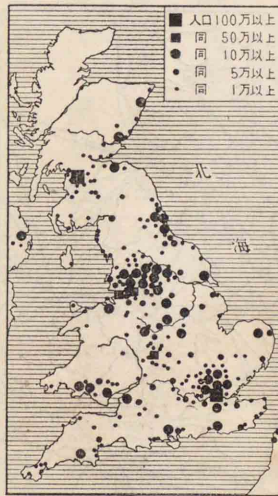
の他に仰ぐことが少くない。

國民は海事に堪能で、夙に海上に活動し、世界商船の約三割を有して世界交通商業の中心である。またその國語は商用語として世界の到る處に行はれる。

五 住民 人口は約四千^カ百萬あつて、その密度の大きなことはベルギー・オランダに次いで世界第三位にある。商工業が盛大であるから都市の数は甚だ多く、イングランドでは、人口の約八割は都市に住んでゐる。また海外に移住するものも甚だ多い。

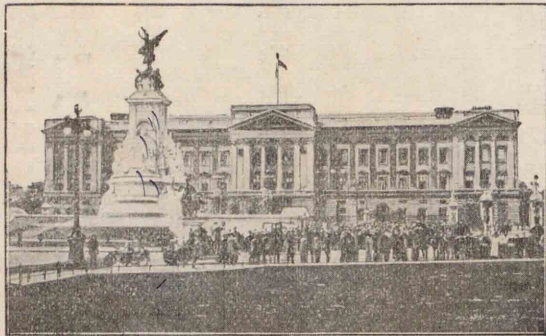
住民はおもに^着ゲルマン^{種族}で、勤勉^實實で信義を重んじ秩序を守り、不屈の精神に富んでゐる。

イギリス都市分布

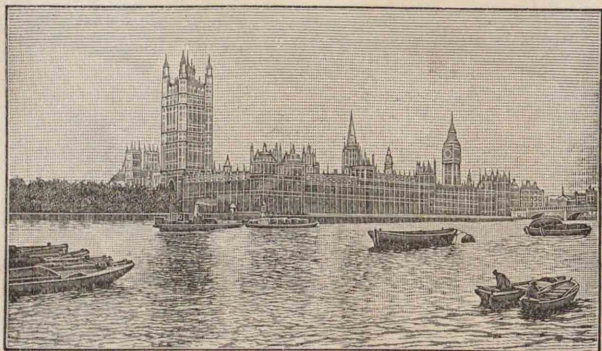


國王の常の御殿である。前に見えるのはヴィクトリア女王の記念碑で上に勝利の神像が立つ。

殿宮ムガンキッパ



六 政治 世界最古の立憲君主國で、その立憲政治がよく行はれ、この種の政體の模範國と稱せられる。本國は大ブリテン島北部アイルランド及び附近の小島から成立ち、その世界各處に散在する領土を併せて、普通これを大英帝國といふ。國王はまたインド皇帝を兼ねてゐる。軍備はよく整ひ、その海軍の精銳^強強大なことは、アメリカ合衆國と共に世界に冠絶してゐる。



堂事議會國の畔河スムア

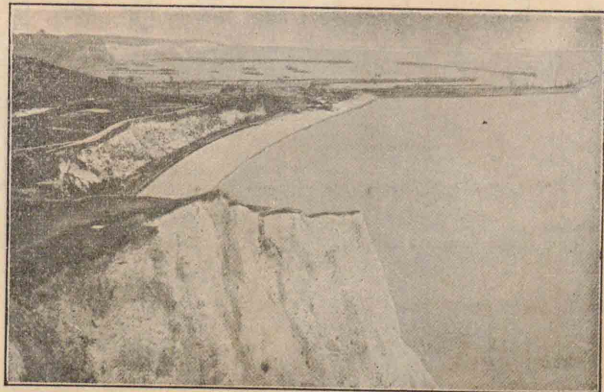
ロンドンにわが大
使館と總領事館と
がある。

ロンドン港はわが
汽船の寄港地で、
横濱から海路約二
萬軒を隔ててゐ
る。

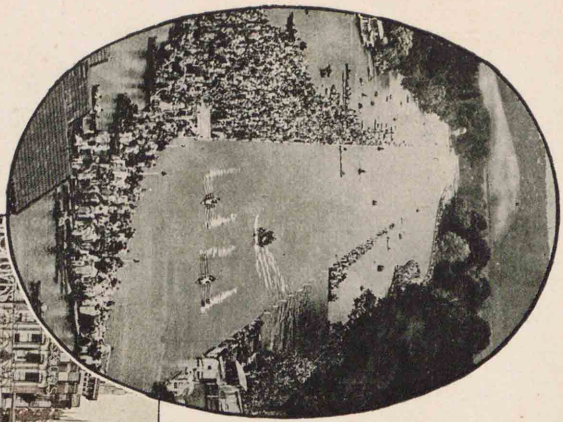
ロンドンの北方に
はケンブリッヂ、西
方にはオクスフォ
ードがある。共に
有名な大學の所在
地である。

大防波堤で圍ま
れた安全な港
である。近景は
シエクスピア崖
と稱し白堊の斷
崖百米の高さに
壁立する。

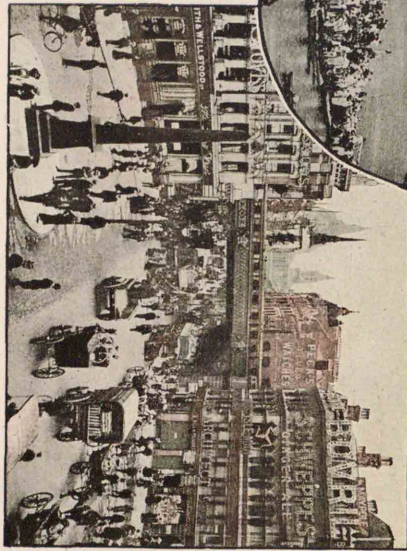
地方誌 イングランドの東南部を灌ぐテムス川に跨つて
首府ロンドンがある。人口は約四百六十萬、接續市を合せて七百
八十萬に達し、世界第一の大都市で、世界の貿易交通の要點を占め
てゐる。市街は壯麗な建築に富み、博物
館、動物園、植物園の宏大で整頓してゐる
ことは他にその比を見ない。市の東方
グリーニチには有名な天文臺があつて、
本初子午線の通過する處である。
南海岸の地方にはイギリス海峽の最
も狭い處に沿うて、ドーヴァーの港市があ
る。大陸に渡るのに最も便利な處で、軍
港を兼ねてゐる。これから西方に進め
ば、海岸に保養地が多く、またこの國第一



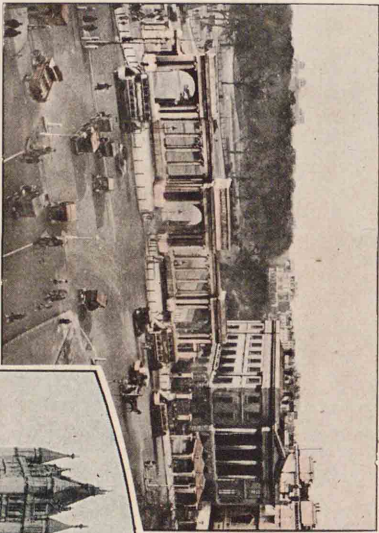
ーヴー



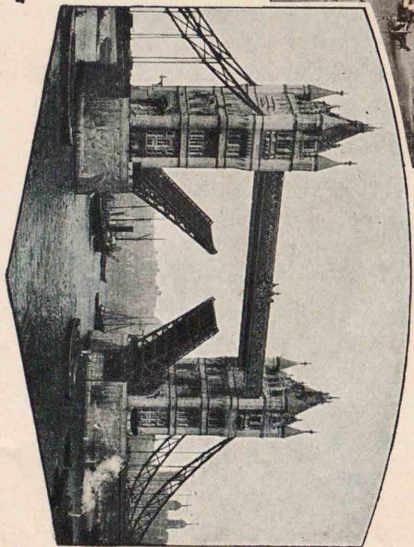
テムズ川の
セントパウル大
學



ロンドン市街



セントパウル大
學



タワー橋とテムズ川

ランカシャイヤ地方の人絹工業は近年急速に發展した。

リヴァプールはわが汽船の寄港地である。またわが領事館がある。

の軍港ポーツマス(三)がある。

イングランド西北部のランカシャイヤ地方は工業の最も盛な處で、都市が相連つてゐる。マンチェスター(五)はその中心で、綿絲紡績綿布製織

の盛なことが世界第一である。この市

と運河で連絡してゐる西海岸のリヴァプ

ール(六)は、ロンドンと共にこの國の大商

港で、アメリカとの交通が特に頻繁を極

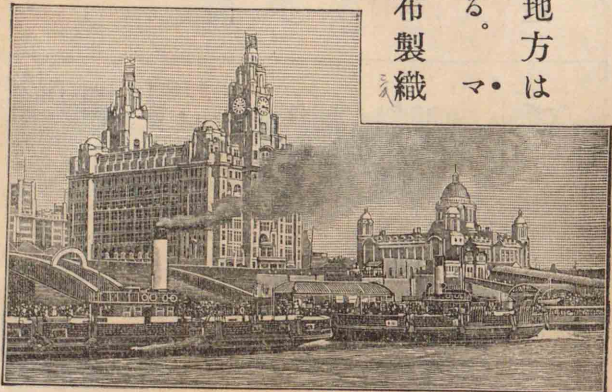
め、輸出貿易が盛である。

イングランドの東北海岸にはタイン

河畔に、ニューカッスル(七)の港市があつて、盛に石炭を輸出する。この

附近には造船業が盛である。その南方のハル(八)は北ヨーロッパ諸

國との交通が盛で、その附近には水産業を営むものが甚だ多い。



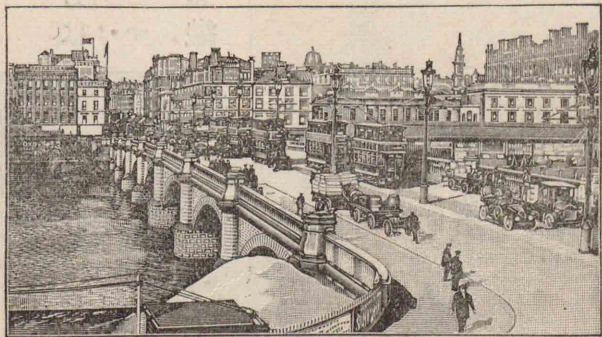
頭埠のルーファグリ

①
イギリスの地
わが國で用ゐるメ
ンには、バミ
ガムの銘のある
ものがある。

イングランドの内陸は採炭製鐵の業が大に發達し、バミンガムは其の中心になつてゐて、その造るところ、大は汽鐘、自動車から小はペン、ピン等に及ぶ。この地方にはまた毛織物、刃物等の製造が盛である。

ウェールズの南部にあるカーデフ(三)港は無煙炭の輸出が全國第一である。

スコットランドは山がちであるが、その間の低地はよく開け、炭田に富んで、都市が少くない。その都のエジンバラ(四)は風景の美しいのと、學術の盛なものとによつて知られてゐる。その西にあるグラスゴウは人口百餘萬に及び、イギリス第二の都市で、造船業及び製鐵業が盛大である。



ゴスラグ

②
イギリスの地
わが國で用ゐるメ
ンには、バミ
ガムの銘のある
ものがある。

③
イギリスの地
わが國で用ゐるメ
ンには、バミ
ガムの銘のある
ものがある。

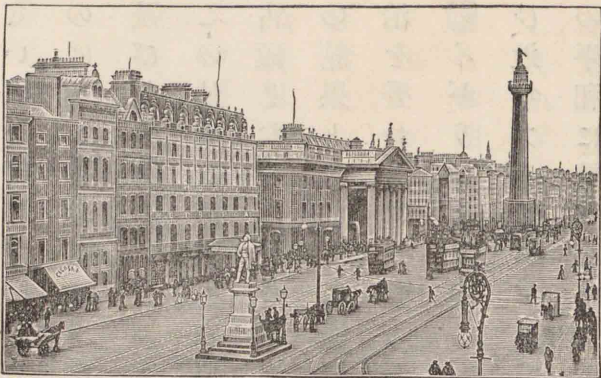
④
イギリスの地
わが國で用ゐるメ
ンには、バミ
ガムの銘のある
ものがある。

アイランド自由

約七萬方
約四五〇〇方
約三二〇萬
約四六人

アイランド人
はアメリカ合衆
國へ移住する
ものが多い。

ダブリン

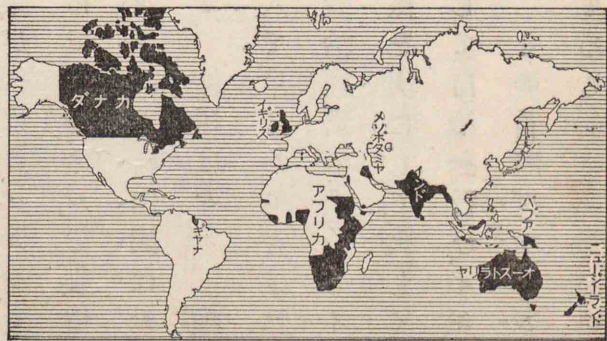


アイランドは政治上、北部アイラ
ンドとアイランド自由國とに分かれ
てゐる。北部アイランドはイギリス
本國の一部で、工業が行はれ、ベルファスト
(五)がその中心都市で、リンネルの製造が
盛である。アイランド自由國はおも
に農牧が行はれる。住民はケルト種族
のアイランド人で、早くからキリスト
舊教を信じ、信仰、政治、經濟の上からイギ
リス人と利害關係を異にして、久しく紛
争してゐたが、今は政府を組織し、議會を有して自治を行ひ、イギリ
ス王の任命する總督がこれを統べてゐる。その首府ダブリン(六)
はアイランド海に臨み、釀造業が行はれてゐる。

六 領地 イギリスは世界の到る處に植民地を開いて、その領地がヨーロッパ大陸の約三倍に上り、領地内に太陽の没することがないといはれてゐる。その最も重要なものはインド・オーストラリア・南部アフリカ及び北アメリカのカナダ等である。

この他或は通商上の要地、或は要害の地を占領したものが少くない。また世界大戦の結果として、この國及びその植民地に統治を委ねられた處もある。

七 イギリスと日本 兩國の關係は甚だ深く、曩に兩國は同盟を誓ひ、近年フランス・アメリカ合衆國を加へて四國條約を結んで、世界の平和に貢獻し、また近くは彼我皇太子の訪問によつて、その國



地領な要主のシリギイ

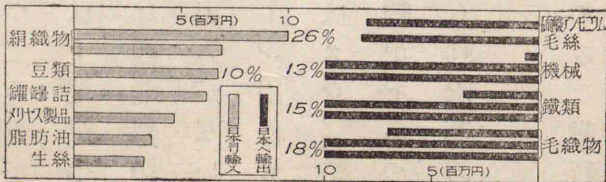
交が愈、親密の度を加へた。殊にわが海軍・航海業・機械工業その他學藝の發達は、この國に負ふ所が甚だ多く、その國語は諸種の外國語中最もよくわが國に行はれてゐる。

經濟上の關係も深く、わが國は毛織物・鐵類・機械・藥品・毛絲等をこの國から輸入し、絹織物・豆類・罐詰等をこの國へ輸出する。ヨーロッパ諸國の中で、わが國との間に取引の最も多いのはこの國である。

ニ フランス

一 境域 大陸の西部、イギリス海峡と地中海との間に位してゐる。また地中海のコルシカ島はこの國に屬する。面積はわが國の約八割である。

二 地形 アルプス山系の一部は國の東南部を走つて、最高峯モ

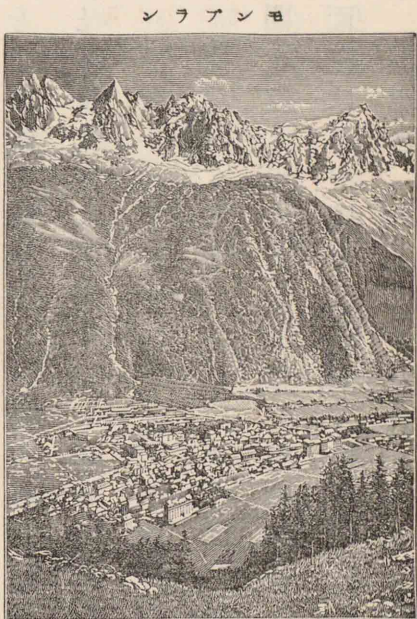


品易貿要主本日・シリギイ

約五五萬方籽
(三・五萬方里)
コルシカ島はナポリオン一世出生の地として名高い。

モントペランはヨーロッパ第一の高峯で、海拔四千八百米に及ぶ。山麓の小村はシャモニーと稱するもので登山者のために賑ふ。

ローヌ川は、その支流を溯れば運河によつてライン川と連り、北海、地中海間の連絡を作つてゐる。



モンブランが聳えてゐる。南方イスペインヤとの境にはピレネー山脈が連る。國の中央は高臺になつてゐるが、その他の大部分は土地が平坦である。海岸は西北部の二半島の外に大出入がない。

河川はおもに中央高臺から發し、ガロンヌ川・ロアル川は大西に注ぎ、セイヌ川はイギリス海峡に入り、ローヌ川はスويسから來て、地中海に入る。これらの諸川はいづれも流が緩かであつて、且つその分水界が低いから、運河によつて相連絡せられ、水運の便が多く、沿岸には有名な港市がある。

氣候産業 一般に溫暖で雨量に富み、農業に適する。葡萄の

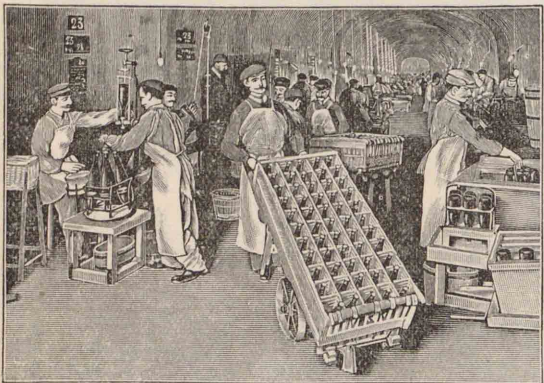
葡萄酒は消費量が多いので輸出よりも輸入額が多い。

鐵礦の埋藏量の多いことはヨーロッパ第一である。

約七四人

人口五萬以上の都市が四十八ある。

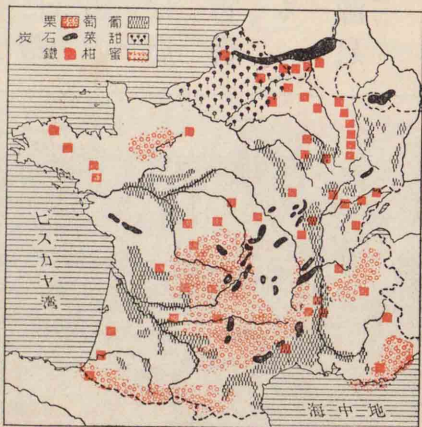
葡萄酒の醸造



栽培が盛で、葡萄酒の産額は世界第一位を占めてゐる。西北の近海には鱈の漁獲が多い。ローヌ川流域地方には養蠶が行はれて、絹織物を産する。

國內處々に鐵石炭の産出が多く、工業が盛である。また美術工藝は古から殊に名高い。

四 住民 人口は約四千一百万ある。その密度はわが國よりも小で、且つその増加の割合が極めて小い。國民は學術に秀で、殊に美術に長じ、都市には浮華の



フランス産業分布

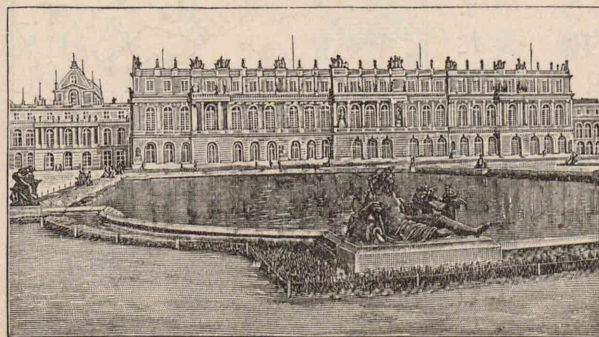
パリにわが大使館がある。

ルイ十四世が十五萬人を役して建造したもので、その規模宏大・華麗世界に比類がない。建築物には凱旋門・ルーヴル宮の博物館・劇場等観るべきものが多い。

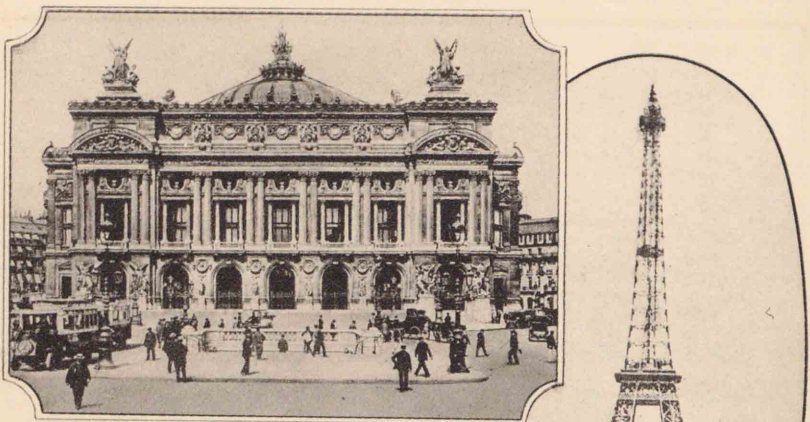
風があるけれども、一般國民は勤儉で、貯蓄心に富んでゐる。住民の大部分はキリスト舊教を奉じ、到る處に壯麗な寺院が見られる。フランス語は典雅であつて、列國外交上の用語に用ゐられる。

五 政治 この國の政體は古來屢變じて、今は共和政體となつてゐる。軍備は海陸ともに強大で、空軍は頗る優勢である。

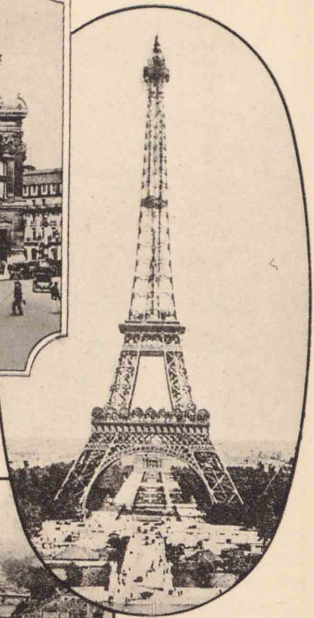
六 地方誌 首府パリはセイス川に跨る大都市で、人口は約二百九十萬、この國の政治・商工業交通の大中心である。市は周圍に城壁を繞らし、壯麗な建築が多く、市街の美しいことは世界第一と稱せられる。美術工藝品は市の特産で、世界流行の源泉は多くここにある。



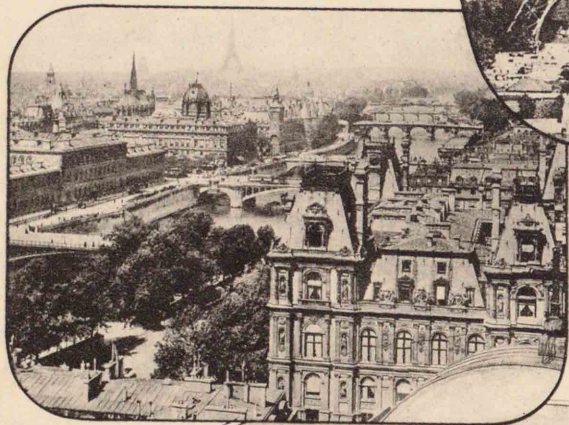
殿宮ユイサルエヴ



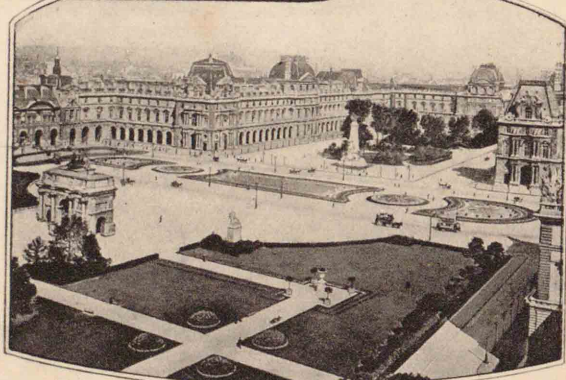
ラペオドンラグ



塔ルエフツエ



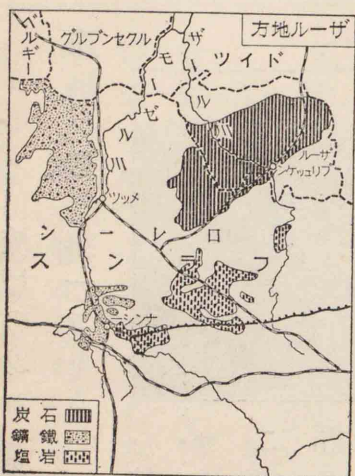
パリーの鳥瞰



ルーヴル美術館

パリを中心として航空路が発達し、ロンドンとの間は二時間半足らずで達し、鐵道による時間の約四分の一である。

ザール川流域地方の所屬は千九百十九年(大正八年)から十五年の後、人民投票によつて決せられる筈である。



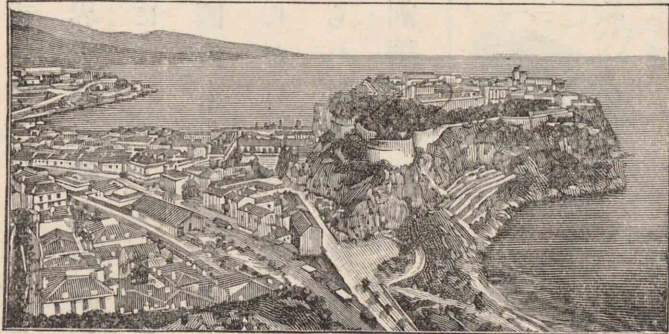
市の西南にあるヴェルサイユは宮殿・林泉の美しいので聞え、また世界大戦の後、對獨講和條約の調印せられた處である。セイヌ河口にはル・アーヴルの港市がある。大西洋航路のおもな起點である。國の東北部には炭田があつて、工業市が多い。この地方から東部にかけては世界大戦に際し、兵亂の巷となり、都市の建築の破壊せられ、耕地の荒廢に歸したものが少くない。東部にはドイツから割讓せられたアルサス・ローレインの地方があつて、穀物・鐵鑛の産が多い。またローレインの北に接するザール川流域の炭田は大戦の結果この國に割讓せられた。西部のガロンヌ川下流の地は葡萄酒の産地として名高く、ポルドー(その中心に)位する。

ローヌ川流域のリヨン(毛)は絹織物の産出が世界第一である。

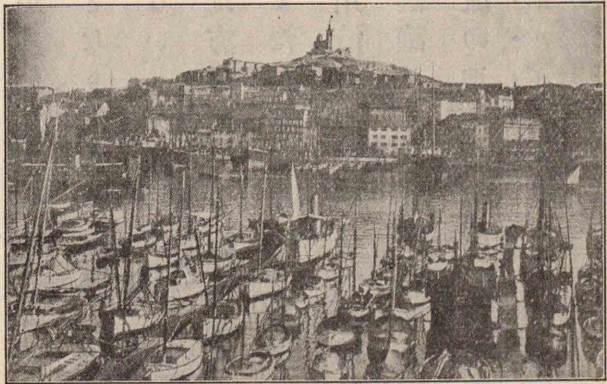
リヨン・マルセイユにわが領事館がある。

半島の上には中央にモナコ公の宮殿がある。その右方に塔の見えるのは海洋博物館である。

モナコ
面積 約二〇方軒
(一方里強)
人口 約二・二萬



地中海に臨むマルセイユ(釜)はこの國第一の港市で、わが汽船の寄港地である。その以東の海岸の地は、氣候の溫和なのと、風景の美しいのとで、ヨーロッパの避寒地として知られてゐる。モナコはこの間に介在する世界最小の獨立公國である。首府モナコ。



頭埠のユイセルマ

山形 地
脈 図

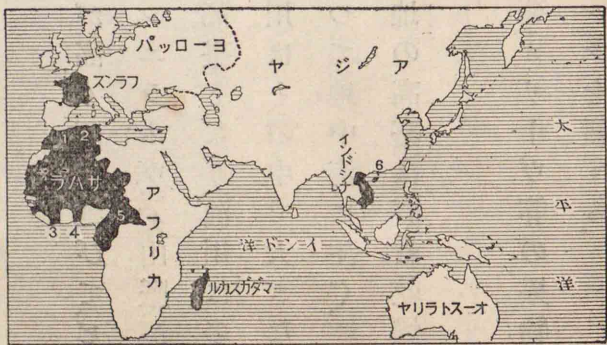
下圖の地方名は左の通りである。
1 アルジェリヤ
2 チュニス
3 象牙海岸
4 タホメ
5 赤道アフリカ
6 廣州灣

世界大戰の結果アフリカのトーゴ及びカメルンの大部はこの國の委任統治地となつた。

に有名な海洋博物館がある。

七 領地 フランスはその本國の二十三倍に餘る領地を有し、その大部分はアフリカにある。アジアではインドシナ半島の東部に大きな領地がある。この他アメリカオセアニアにも處々に領地を有して、全領域の廣さはイギリス・ソヴィエト聯邦に次ぎ、世界の第三位を占めてゐる。

八 フランスと日本 わが國は明治維新の後、軍事・法律・學藝等につき範をこの國に求めたが、今はおもにその美術工藝等を學んでゐる。われとかれとは世界大戰に際し、互に協力して國交が愈親密である。わが國はこの國へ生絲・絹織物等を輸出し、毛絲・機械等を購入する。



地領な要主のヌラフ

三 イスパニヤ ポルトガル

■ 境域 ポルトガルはイベリヤ半島の西部、大西洋に面する地方にあつて、半島面積の約六分の一を占め、イスパニヤはその餘の大部分を占めてゐる。

■ 地形 半島の北境にはピレネー山脈が高く西に延びて、ビスカヤ灣の南に連り、また南方地中海岸にはシエラネヴァダ山脈が横はつてゐる。この南北兩山脈の間は、概ね高臺となり、河川は多くその間を西に流れて大西洋に注ぐ。タホ川はその中で大きなものである。この他東北にはエブロ川があつて、地中海に注ぐ。

■ 氣候・産業 沿海の地は雨が多いが、内地の高臺は概ね乾燥して、比較的大陸性の氣候を呈してゐる。

河岸の低地には農業がよく發達して、葡萄・オリヴ等の果物も多く出で、殊に處々に櫛の森林があつて、コルクを産する。

面積
イスパニヤ
約五〇萬方呎
(三・二萬方里)
ポルトガル
約九・二萬方呎
(五九〇〇方里)

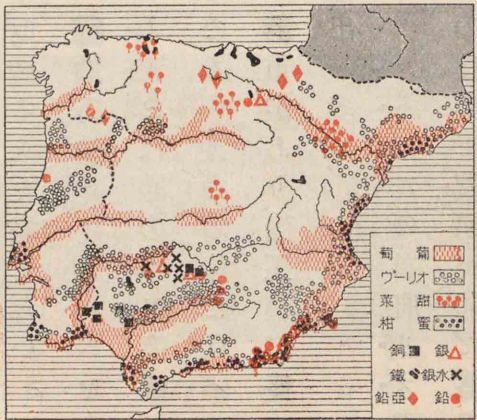
半島内は鐵道が少く、河流も航行の便に乏しく、一般に交通が不便である。

山地下
平野は少く、
河の流域は
少く、
氣候は
乾燥し、
海沿地方
の氣候は
温和である。

鐵道は多くはそのままでイギリス、ドイツ等に送られる。

イスパニヤ
人口
約二二〇〇萬
密度
約四四人
ポルトガル
人口
約六〇〇萬
密度
約六五人

布分業産島中ヤリペイ



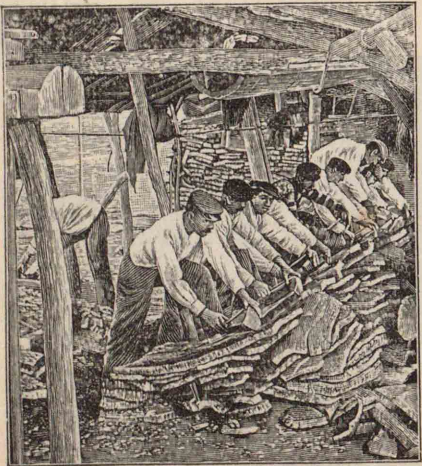
この半島の住民は嘗てアメリカ大陸を發見して、廣大な植民地を開き、またアフリカを回航して、東洋に至る航路を創めたが、その後領地の

人口の密度は大でない。

イスパニヤの南部には銅を産し、北部には鐵が多いが、鑛業は外國人の投資によるものが少くない。ポルトガルにはダングステン産が多い。

■ 住民・政治 住民の大部分は種々の種族の混血種から成り、ラテン系統の言語が行は

が行は



リ造荷のクルコ

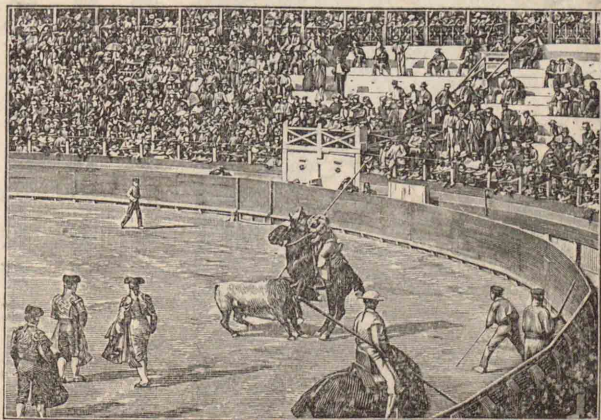
兩國到る處の都市に闘牛場の設があり、牛と人とを闘はせて見物する。

マドリッドにわが公使館がある。

オポルト港から輸出される葡萄酒はポルトワインの名がある。

川山歌
三層物厨余

大部分を失ひ、今は國運が振はず、僅にアフリカの一部と、その他各地に散在する小地域とを有するに過ぎない。
イスパニヤは立憲王國で、ポルトガルは共和國である。共に軍備は振はず、財政もまた裕でない。
五 地方誌 イスパニヤの首府マドリッド(○)は、國の中央高臺の上に位してゐる。地中海岸にはバルセロナ(△)の港市があり、商工業が盛で、コルクの輸出が多い。
ポルトガルの首府リスボン(△)は、タホ河口の小灣に臨み、半島第一の良港で、貿易が甚だ盛である。その北方のオポルト(○)港は葡



場牛闘

わが國で今も用ゐるカステラ・煙草・メリヤス・金巾・羅紗・合羽等の語はこの兩國語から來たものである。

中央は王宮である。

ジブラルタル
面積 約五方軒
(○三万里)
人口 約二萬

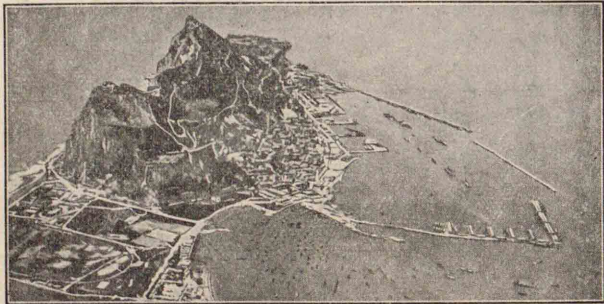
マドリッド



葡萄酒の輸出で名高い。

六 イスパニヤ・ポルトガルと日本 ヨーロッパ人中最初にわが國に來て、銃器を傳へたのはポルトガル人であり、また始めてキリスト教を傳へたのはイスパニヤ人である。わが鎖國以前既に兩國の商船によつて、西洋文物の傳へられたものも少くないが、今は貿易が振はない。

七 ジブラルタル・アンドラ イベリヤ半島の南端にあるジブラルタルは、斷崖の屹立す



ルタルラアツた見りよ空上

アンドラ
 面積 約四九〇方里
 (三二方里)
 人口 約五〇〇〇
 密度 約一〇人

るイギリス領の小半島で、良好な築港を有してゐる。この地は地中海の咽喉にあたるので、要塞の備が嚴である。半島の北部、ピレネー山中には、アンドラの小獨立共和國がある。その面積はわが淡路島よりも小さい。

第六章 南部ヨーロッパ

一 イタリア

面積
 約三一萬方里
 (二萬方里)

■ 境域 地中海に突き出た長靴形の半島國で、アドリヤ海とチルレニ海との間に挟まつてゐる。半島の外シシリヤサルヂニヤの二大島及び數個の小島もこれに屬する。面積はわが國の約四割にあたる。

■ 地形 北境にはアルプス山系が大弓形を畫いて高く横はり、半島のほぼ中央をアペニン山脈が縦走し、轉じてシシリヤ島に

日本
 三二〇万方里

國內には地震が多い。
 アルプス山麓には狭長な湖水が多く、湖畔の風景が甚だよい。

■ 火山
 エトナ火山は高さ三千二百七十四米に達し、ヨーロッパ最高の火山である。

エトナ火山



連る。火山にはナポリ灣頭のヴェスヴィオ及びシシリヤ島のエトナ等の活火山がある。アルプス山系とアペニン山脈との間には、この國最大のロンバルヂヤ平野があり、ポ一川がこれを貫流して、アドリヤ海に入る。

■ 氣候・産業 氣候は一般に溫暖で、ポ一川の平野には穀物の産が多く、また養蠶が甚だ盛で、生絲の産額はわが國及び支那に次ぐ。この國はまたオリヰヴ葡萄酒の果實に富み、オリヰヴ葡萄酒の産が夥しい。



布分業産ヤリタイ

葡萄酒の産はフランスに次いで世界第二位にある。

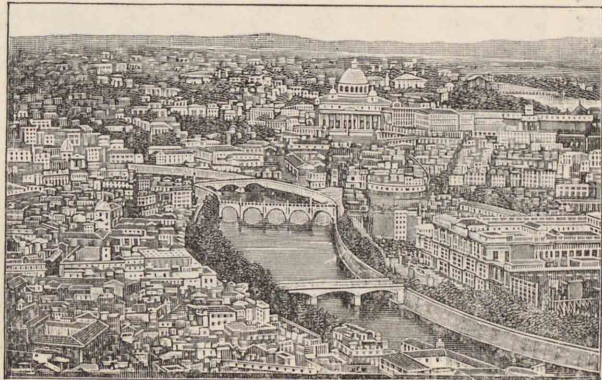
美麗な大理石を産する。この國に於ける彫刻の發達に便宜を與へたことが多い。

密度 約一三二人

中央を流れてゐるのはチベル川、遠景の圓塔はセントペテロ寺、その右に連つて、ジャチカン宮殿がある。

イタリヤ人には南アメリカに移住するものが多い。

マーロた見らか空上



石炭・鐵には乏しいけれども、水力電氣の利用によつて、大工業が漸く盛になつた。鑛物には美麗な大理石があり、また多量の硫黄を産する。

四 住民政治

住民はおもにラテン種族で、人口が約四千一百万ある。その密度はほぼわが内地と等しい。この國民はその昔強大なローマ帝國を建て、ヨーロッパ文明の中心をなしたことがあつたが、その後幾多の變遷を経て、今の立憲王國の興つたのは僅に六十年前のこと、その國力はまだ他の列強に及ばない。國民の資性はフランス人に似て、殊に美術に秀で、繪畫・彫刻・建築等に關しては

建築物の名あるものには、ローマ法皇の宮殿たるジャチカン及び舊教大本山セントペテロ寺等がある。

ローマにわが大使館がある。

ヴェスヴィオ火山の麓には、嘗てその噴出物のために埋まつた古代のポンペイ市の遺跡がある。

ミラノにわが領事館がある。

古來萬世の師表たるものが少くない。また音樂に巧なので知られてゐる。

地方誌

首府ローマは半島中部のチベル川の下流に沿ひ、

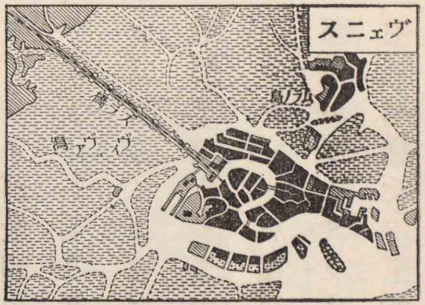
古のローマ帝國の都であつた處で、當時の遺跡が少くない。特に建築の著名なものが極めて多い。ローマ法皇はここにおゐて、キリスト舊教國の教界に君臨する。ナポリはローマの東南海岸にある繁華な港市で、東方には有名なヴェスヴィオ火山の山容、噴煙を望み、風景の美しいので名高い。

ロンバルディア平野は、人口が最も稠密で、都市が多く、ミラノはその中心に位して、生絲絹織物の工業が盛で、また壯麗な寺院



山火オイヴスエグとリボナ

ミラノの大寺院は全部白大理石で造られ、建築美を以て名高い。
ヴェニスに純然たる水の都で百五十條の運河によつて百二十島に割せられ三百八十の橋梁を架す。往來は主としてゴンドラと稱する小舟による。



がある。アドリヤ海の北岸にあるヴェニス(ヴェネチヤ)は多くの島の上に立つ港市で、中古には地中海方面最盛の港であつたが、今は港が浅くて大船の出入に適しないから全く衰微してゐる。

西北部の海岸にあ

るジェノア(ジエノ)は、海陸交通の要點にあたり、貿易が極めて盛である。

サンマリノは半島の中部にある小獨立共和国である。

マルタはシシリー島の南にある小島で、イギリスに屬する。ヴァレッタはその地

サンマリノ
面積 約九八方軒
(六方里)
人口 一萬餘



アノエジ

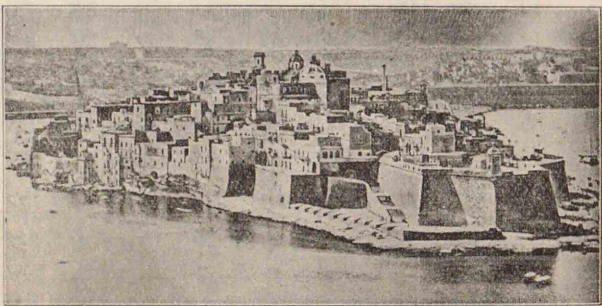
中海艦隊の根據地である。

六 領地 イタリアはアフリカの東岸と北岸とにその領地を有する。また世界大戦の後オーストリアからアドリヤ海岸及びアルプス山系南部の地を得た。

七 イタリアと日本 イタリアは火山地震の多いこと、生絲・硫黄の産出の多いこと、國民の美術に長じてゐること等、わが國に似た所が多い。わが國は屑絲及び眞綿・絹織物・製帽・眞田等を供給し、自動車・毛絲等を需する。

ニ バルカン半島

一 位置 ヨーロッパの正南部に位し、東南端は狭い海峡を隔てて、直に小アジアに對する。



タッレ アゴ

三百餘年前わが諸侯中、ローマ法皇に使節を送つたものがある。

地形 半島の東北部は海岸の出入が少いけれども、西南部には更にギリシヤ半島が突き出て、その沿岸は屈曲に富み、島が極めて多い。西部はデナルアルプス山脈が連り、南に延びてピンドス山脈となる。北部にはトランシルヴァニアアルプス山脈、東部にはバルカン山脈がある。ドナウ川はホンガリヤから来て、この二山脈の間の平野を流れて黒海に注ぎ、水運の便が少くない。

ドナウ川の支流モラヴァ川と、バルカン山脈の南を流れるマリツァ川との川筋は良い交通路である。

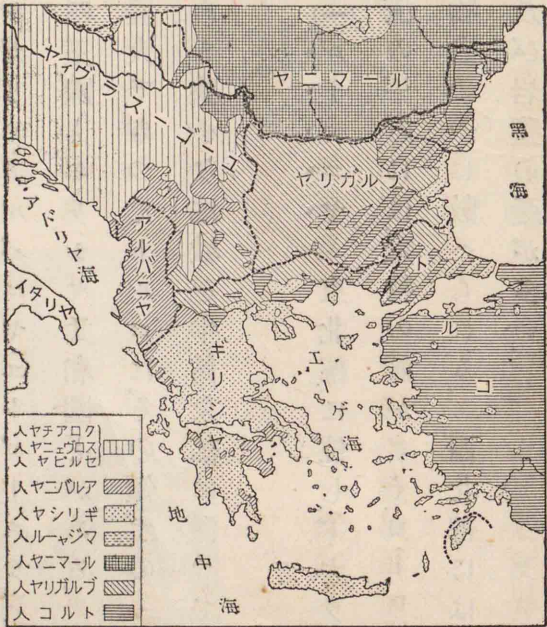
(左)人ヤピルセと(右)人ヤリガルブ



気候産業 海岸地方は暖かで、オリヴ、無花果、葡萄等がよく生育する。東部の平野には、穀物、煙草等の産が多く、牧畜も處々に行はれる。

四住民 古から西部アジア、中部ヨ

ヨーロッパの間の通路にあたり、種々の種族が入り込んで来て、多くの國家がこの半島内に興廢した。半島の西北部から中部にかけては南斯拉ヴ種族が住み、セルビヤ人、ブルガリヤ人等はこれに屬する。東北部にはラテン種族のルーマニヤ人が住し、アドリヤ海岸にはアルパニヤ種族、南部及び附近の島々にはギリシヤ種族がある。中古の末から半島に勢力を占めてゐたトルコ種族は、今は各地に散在し、その數も次第に減少する傾がある。

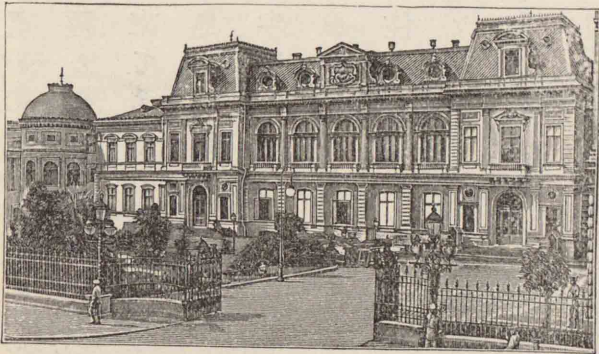


布分種人島半ンカルバ

この半島はヨーロッパ大陸中文化の最も後れた處で、また久しく列国外交問題の中心となり、紛擾が絶えず、境域の變化も頻繁で、世界大戦もその端をここに發したのである。

面積 約三一萬方
人口 約一七〇〇萬
密度 約五六人

(トスレカア)宮王のヤニマール



五 國家 今日この半島には、ルーマニヤ、ブルガリヤ、アルバニヤ、ユーゴスラヴィヤの四王國と、ギリシヤ共和國とがある。嘗て盛大であつたトルコは、その領土の一部である狭小な地域を半島東部に保つてゐる。
(一) ルーマニヤ 東北部に位し、ドナウ川下流の平野には、穀物の産が多く、ヨーロッパ穀物倉の一に數へられる。西北部には石油及び岩鹽の産が多い。

ブカレストにわが公使館がある。

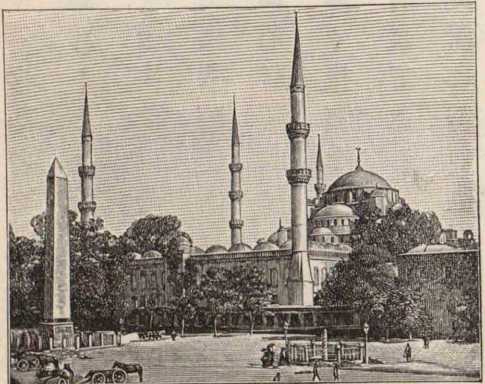
面積 約一〇萬方
人口 約五五〇萬
密度 約五五人

面積 約二・七萬方
人口 約一九〇萬
密度 約七〇人

コンスタンチノールにわが大使館がある。

首府をブカレストといふ。この國は世界大戦の結果東方及び西方等に領域を擴めた。
(ニ) ブルガリヤ ルーマニヤの南に隣り、バルカン山脈が中央を東西に走る。國內には小麥、香油を産する。首府ソフィヤ(三)は交通の要點にあたる。

(三) ヨーロッパ、トルコ共和国のヨーロッパにある部分で、マルモラ海からマリツア川に至る地域を占めてゐる。その舊都コンスタンチノール(二)はボスフォラス海峡の南口に臨む良港で、海陸交通の衝にあたり風景も麗はしく、南ヨーロッパ第一の大都市である。その建築風俗等は西部アジアに似た處が多い。



院寺ヤソトソセ

面積 約一三萬方軒
(八〇〇〇方里)
人口 約五八〇萬
密度 約四五人
世界大戦の結果この國の領域は東北方に延びた。

圖説
アテネのアクロポリス丘上にあつて、大理石で造られたギリシヤ古代建築の代表と稱せられるもの。
アテネにわが公使館がある。

址廢のミノタルバ



(四)ギリシヤ 半島の南部に位し海岸は出入が甚しく、また沿海には島が極めて多い。ヨーロッパ最古の文明國で、上古中古には學藝美術の中心であつたが、今は國勢が振はない。

國內には多く果實を産し、乾葡萄、無花果が特に有名である。首府をアテネといひ、近傍に昔の盛時を偲ばせる遺蹟が多い。

アルバニヤ
面積 約四・五萬方軒
(二九〇〇方里)
人口 約八三萬
密度 約一八人

(五)アルバニヤ、ギリシヤの西北に隣る小王國である。國內は山がちで、産業がまだ興らない。首府をチラナといふ。

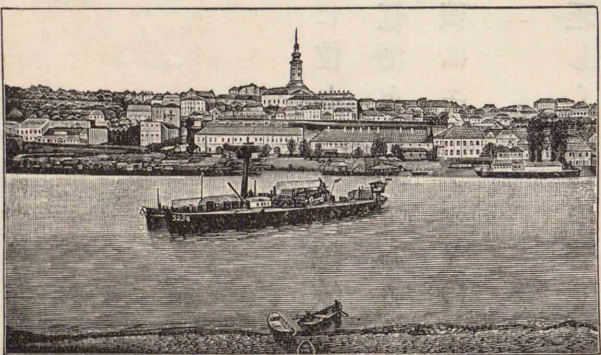
(六)エトプスラヴィヤ、半島の西北部に位し、北部のドナウ川及びその支流の沿岸には多少の平野があり、玉蜀黍、葡萄、麥、煙草等を

ユーゴースラヴィヤ
面積 約二五萬方軒
(一・六萬方里)
人口 約一・二〇〇萬
密度 約四八人

ユーゴースラヴィヤは、またセルビア、クロアチア、スロヴェニアともいふ。

産するが、その他は一般に山がちである。この國の東南部にはもとセルビヤ、モンテネグロの二王國があり、その餘の地はオーストリア、ハンガリアの領地であつたが、住民は皆南スラヴ種族であるから世界大戦後に合同して、ユーゴースラヴィヤ王國を建てた。ただアドリヤ海の北岸はイタリアの領地となり、嘗てハンガリアの海口であつた、フィウメも近年イタリア領となつた。

首府ベルグラードはドナウ川の南岸に位し、ハンガリア盆地からバルカン山地に移る極めて形勝の地を占めてゐる。サラエヴォはデナルアルプス山脈中の小盆地に位する小邑である。



ドナウ川

世界大戦は實にサラエヴォに於けるオーストリア皇太子の暗殺に端を發したのである。

第三編 アフリカ

第一章 總論

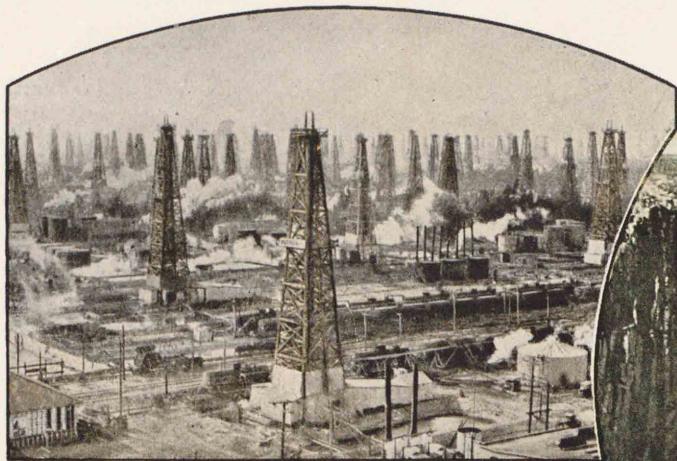
一 地文

面積
約三〇〇萬方
里
(二九〇萬方里)

■**境域** アフリカはユーラシヤの西南に位し、スエズ地峽によつて僅にこれと連り、その間に地中海及び紅海を挟んでゐる。東はインド洋に面し、西は大西洋に臨む。面積はユーラシヤの二分の一よりやや大きい。

■**地形** (一)**海岸** 海岸は極めて出入に乏しく、海灣の著しいものは西岸にギニー灣、北方にガベス・シドラの二灣があるに過ぎない。半島や島では東方のソマリランド半島と、東南のマダガスカル島との外には著しいものがない。

布瀑 ヤリトクイヴ
(カリフ)



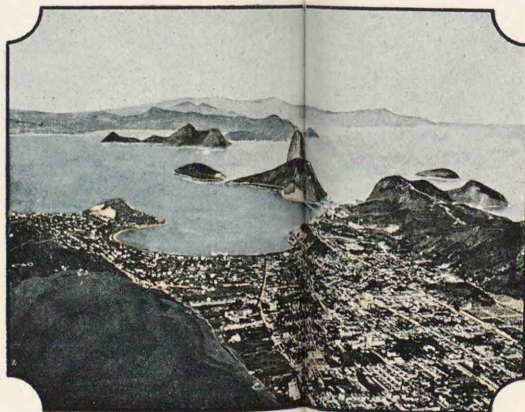
田油の州ヤニルォフリカ



瞰鳥のクーヨーユニ



ウールウォースビルディング(ニューヨーク)



瞰鳥のロイネッデオリ



谷峽大のドラロコ

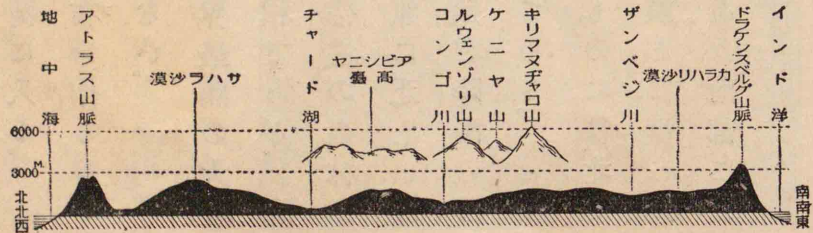
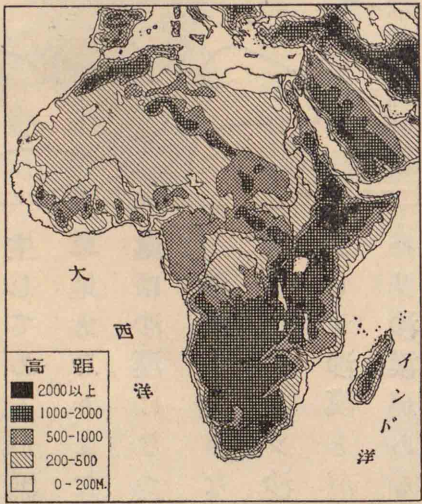
キリマヌチャロ山
はその高さ約六千
米に及ぶ。

(二) 山系 大陸は

概ね高臺性で、その
邊緣は急斜してゐ
るから、海岸の平地
からこれを望むと
山脈のやうに見え
る。山脈の著しい
ものは、北部のアト
ラス山脈だけであ
る。その他
の高峯は大抵孤立
する火山で、キリ
マヌチャロ山は
その最高峯である。

(三) 水系 おもな河流は源を大陸の中央に發す

る。ナイル川(ル川)は北流して地中海に入り、ザン
ベジ川はインド洋に、コンゴ川は大西洋に注ぐ。



(下) 圖面 斷同 (上) 圖形地カリファ

高山には赤道直下にあつてもなほ白雪を戴き、氷河を流すものがある。

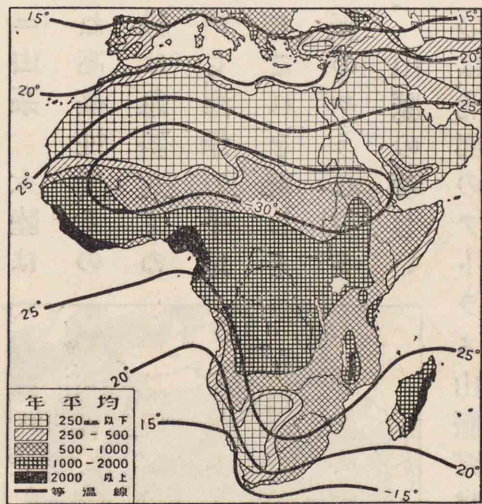
沙漠の中に、處々に泉水が湧き、植物の生育する處をオアシスといひ、沙漠の船と呼ばれる駱駝を驅つて旅行する隊商にとつては、大洋中に孤島を見ざるものである。

別にニジェール川は大陸西北部の水を集めてギニー灣に入る。これらの河流は臺地を離れて平地に出るとき、急流瀑布を作るものが多く、これがために交通の妨げられることが少くない。

③氣候 この大陸は大部分が熱帯に入つて、世界最熱の大陸である。ただ臺地中の高い處のみは氣候がやや溫和である。降雨の多い處には熱帯性の森林が密生してゐるが、濕氣に乏しい處は草地となり、また殆ど降雨のない處は沙漠になつてゐる。

沙漠の大きなものには、北部に有名なサハラ沙漠と、これに連るリビヤ沙漠とがあり、南部にカラハリ沙漠がある。

アフリカ雨量・等温線圖

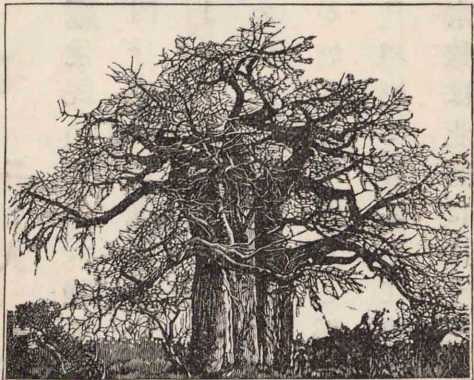


の多い處には熱帯性の森林が密生してゐるが、濕氣に乏しい處は草地となり、また殆ど降雨のない處は沙漠になつてゐる。

沙漠の大きなものには、北部に有名なサハラ沙漠と、これに連るリビヤ沙漠とがあり、南部にカラハリ沙漠がある。

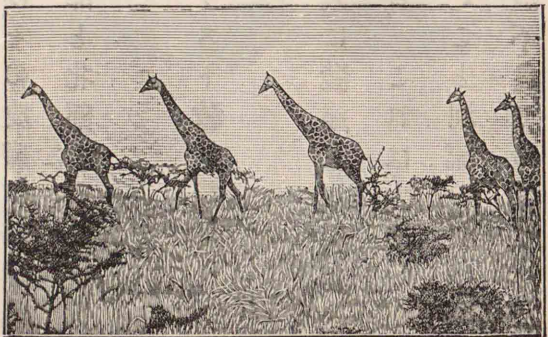
樹幹の直径十米を超えるものがある。この樹の繊維は強靱にして綱索・織布の原料となる。

バオバブ樹



④生物界 森林地方には獅子・象・犀・河馬等の巨大な獸類及び類人猿等がある。草地には縞馬・ジラフ・羚羊・駝鳥等が棲み、各地の水中には鰐を産する。これらの天産の外に南部にはヨーロッパの植民が移した牛羊等の家畜が大に蕃殖してゐる。

植物には赤道附近に密林がある。またバオバブ樹のやうな巨大なものもある。有用植物にはナイール川下流地方の綿が最も有名で、甘蔗がこれに次ぐ。この他中部以北には椰子が多い。



草に於けるフラジ群

二 人 文

マダガスカル島の西半にはアフリカ人種が住するが、東半には海岸島嶼種族が住む。

■ 住民 この大陸の人口は約一億五千萬で、その密度はアジアの四分の一に過ぎない。住民のおもなものは、アフリカ人種及びユーラフリカ人種で、後者はおもにサハラ沙漠以北の地に住する。アフリカ人種は概ねサハラ沙漠以南に住み、その皮膚が暗黒色であるから一に黒人と稱せられる。なほ南部と北部とは近世ヨーロッパから移住して来た植民が少くない。

宗教は北部にはマホメット教、南部にはキリスト教が行はれ、その他の地方には種々の異教が行はれる。

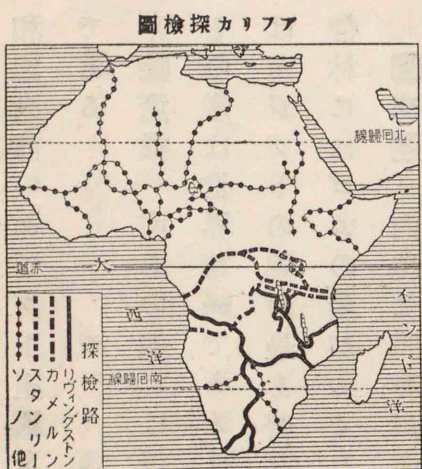
■ 國家 文明は上古エジプト等に一時大に發達したが、今は他の大陸に比してその程度が遙に劣つてゐる。これは大陸の南北を界して大沙漠の横はること、港灣の乏しいこと、河流の交通に不便なこと等が文明の普及を妨げ、また氣候が不良であるために、白

アフリカ大陸は久しく暗黒大陸と稱せられてゐた。近古の初ヨーロッパから東洋に向ふ航路が通じてからこの大陸の大西洋・インド洋海岸は、その船舶の寄港地となつて、現在の植民地の基を造つた。

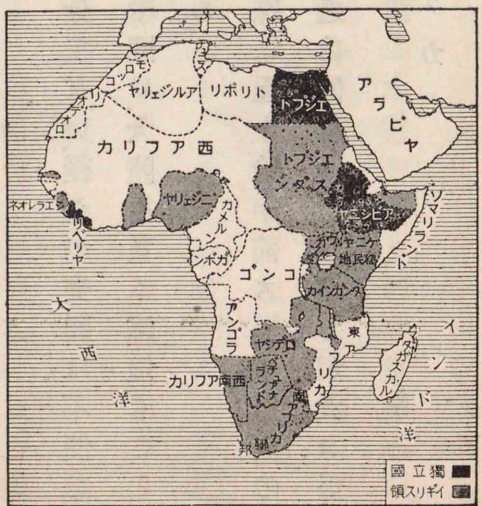
南部は氣候が温和で地産に富み、白人の移住に適してゐるからその發展が著しい。

人の移住を試みるものが少かつたためである。

しかし十九世紀に入つてからは、内地の探検が大に行はれて、今は大陸の大部分は分割せられ、東北部・南部及び東西海岸の諸地方



アフリカ探検圖



アフリカ政治區劃圖

はイギリス領となり、西北の大部分マダガスカル島はフランスに屬し、ベルギー・ポルトガル・イタリア・イスパニヤ等もまた各領地を有するに至つた。大陸の獨立國は西岸のリベリヤ共

和國、東部のエジプト王國及びアビシニヤ王國の三國があるのみである。

●産業 南部の鑛業は近年非常に進歩して、金とダイヤモンドの産は世界第一である。また牛羊の牧業も盛である。北部ではエジプトの綿が最も著しく、砂糖、葡萄、麥をも産する。中部の熱帯林にはゴムの産が少くない。

鐵道の延長は世界全長の約百分の三に過ぎない。

●交通 内地は開發がまだ十分でない、従つて交通は不便である。しかし南部と東北部とはやや開け、大陸を貫く鐵道もこの兩方面から起つて中部に及んでゐる。

沿海の交通は比較的よく開け、殊に五十餘年前スエズ運河の開鑿せられてから、東西兩洋間の交通に便利を得たことが大きい。

第二章 北部アフリカ

一 バルバリ諸國

●總説 大陸の北端、地中海に沿ふ地方をバルバリ諸國といふ。アトラス山脈は西北部に連り、地中海に面する部分は土地が肥沃であるが、内地の高臺は草地または沙漠である。住民はおもにアラブ種族でマホメット教が行はれてゐる。モロッコ、アルジェリヤ、チュニストリポリタニヤ、キレナイカの諸國に分かれる。

●モロッコ 大陸西北端の專制王國で、大部分はフランス、一部分はイスパニヤの保護を受けてゐる。首府をラバットといふ。商業は大西洋岸のタンジエル港に盛である。物産はモロッコ革が最も名高い。

●アルジェリヤ モロッコの東に隣り、フランスの植民地中で最も

面積

約六〇萬方呎
(三・九萬方里)

人口

約六〇〇萬

密度

約一〇人

タンジエル港は中立地である。



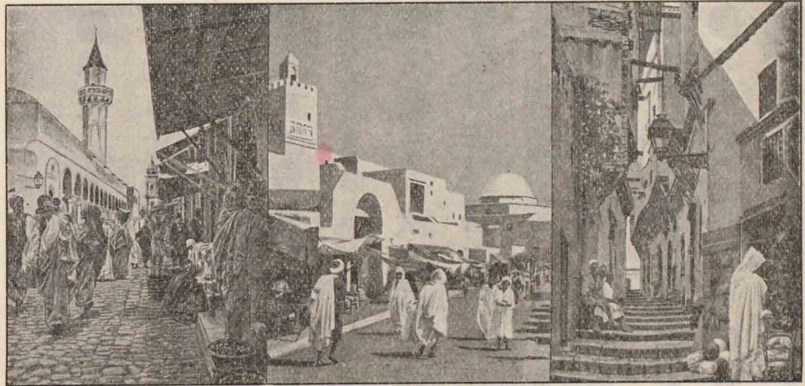
人アラア

面積 約五七萬方籽
(三・七萬方里)
人口 約六一〇萬
密度 約一一人

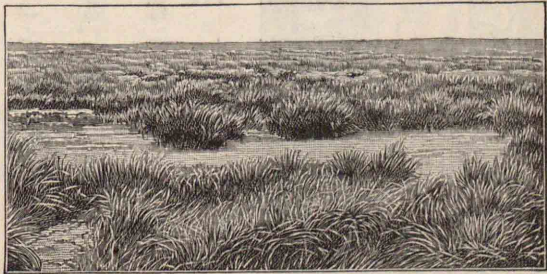
右 アルジェー
中 チュニス
左 トリポリ

チュニス
面積 約一二萬方籽
(八〇〇〇方里)
人口 約二二〇萬
密度 約一八人

北アフリカの風俗



重要なものである。この地方は産業の發達が著しく、特に葡萄酒の産が多く、またオリブ及び製紙の原料に供するアルファ草を出し、林産にはコルク、畜産には羊、山羊がある。



アルファ草

首府をアルジェー(三)といひ、對岸の本國との間に貿易が甚だ盛である。

四チュニス ガベス灣に臨み、フランスの保護國である。アルファ草、海綿及び毛

トリポリタニヤ・キレナイカ

面積 約一五〇萬方籽
(一〇萬方里)
人口 約八〇萬
密度 約〇・五人
トリポリ及びキレナイカは一にイタリヤ領リビヤといふ。

面積 約一〇〇萬方籽
(六萬方里)

近年ナイル川中流のアッスワンに大堰閘を作り河水を調節して灌漑に便にしてゐる。

氈を産する。首府をチュニスといふ。

五トリポリタニヤ・キレナイカ チュニスの東南に隣るイタリヤの領地で、隊商貿易の最も盛な處である。隊商は沙漠を越えて、スダン地方と往來し、ヨーロッパ産の工藝品等を送つて象牙、金、駝鳥の羽毛等を戴せて歸る。首府トリポリは港市である。

ニ エジプト

一 地文 エジプトは大陸の東北部に位してゐる。ナイル川は源をヴィクトリヤ湖に發し、この國の中央を走り、下流に大三角洲を造つて、地中海に注ぐ。その下流地方は降雨が甚だ少いが、上流地方は夏・秋の頃雨が多いから下流に溢れて、沿岸の地は多量の沃土で被はれ、冬季になれば乾いて豊沃な耕地となり、綿、穀物、砂糖の産が極めて多い。また棗椰子が繁茂する。

二 人文 住民はエジプト人とアラビヤ人とで、エジプト人は上

人口 約一四〇〇萬
約一四人

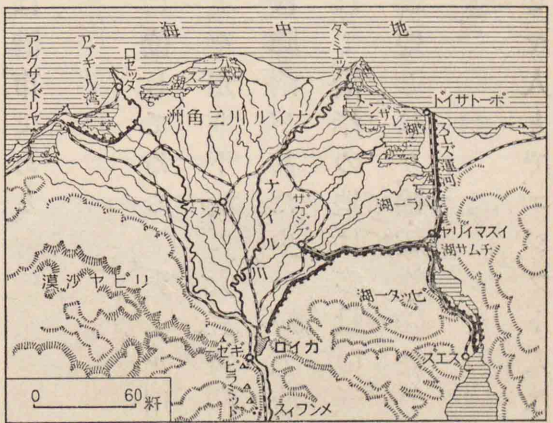
市中に三百のメ
ホメット寺院
がある。圖中高
く尖塔の見える
のはその一であ
る。

街市のロイカ



古世界文明の中心を造つたことがあ
る。共にナイル川の沿岸のみに集つ
てゐるから、この地方は人口が甚だ密
である。多くはマホメット教を信じ農
業に従ひ、また遊牧をするものもある。
この國は久しくトルコの屬國であ
つたが、世界大戦中イギリスの保護國
となり、
今は獨
立の立憲王國である。

地方誌 首府カイロはナイ
ル川三角洲の尖頭に位する大陸第
一の大都市である。

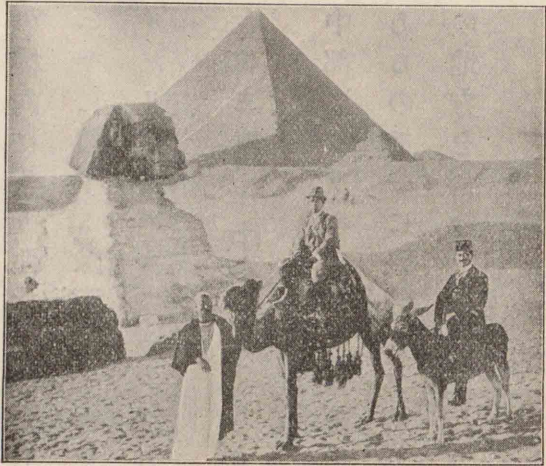


洲角三の川ルイナ

ピラミッドの高
大のものは高さ
百三十米、頂上
に登ればナイル
河畔の緑野とリ
ビヤの沙漠とが
眼の及ぶ限り遠
く連るのが望め
る。

スエズ運河の長さ
は約百六十軒あ
る。船舶のこの運
河通過時間は約十
六時間を要する。
アレクサンドリヤ
にわが總領事館、
ポートサイドにわ
が領事館がある。

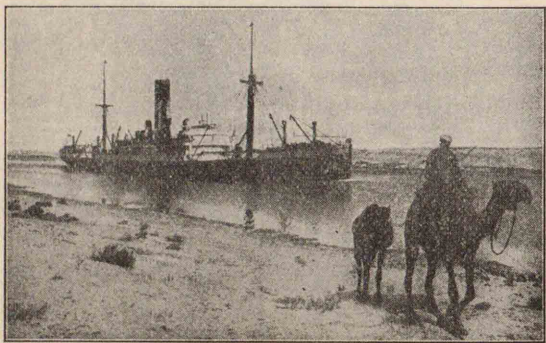
スクンイフスとドミラビ



スエズ地峽を横ぎり、地中海岸のポ
ート・サ
イド・港に終つてゐて、艦船の往來が極めて
頻繁で、一年間にこの運河を通過する船舶
は約五千隻に及ぶ。

名高いピラミッドは上古のエジプ
ト王の墳墓で、ナイル川の西方沙漠
の臺地に多い。地中海岸のアレク
サンドリヤは古來有名な商港で
ある。

スエズ運
河は紅海北
岸のスエズ
港から起り、



河運ズエス

サハラ沙漠は東西約四千八百軒、南北約千六百軒に及ぶ。

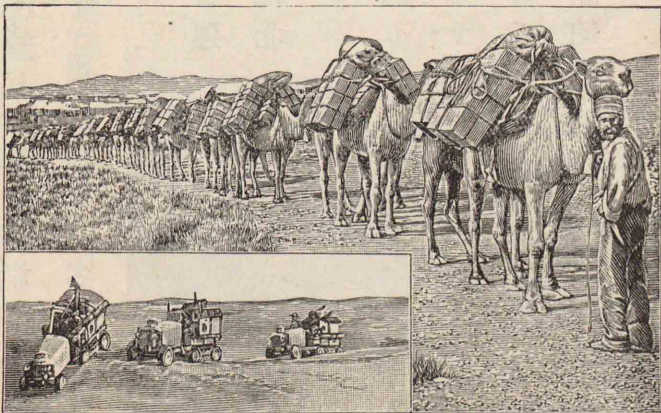
三 サハラ

世界第一の大沙漠で、面積はわが國の九倍に餘つてゐる。その大部分はフランスの勢力範圍で、東部はイギリスの權内に入り、西北海岸地方はイスパニヤに屬する。隊商はこれを横ぎり、バルバリ諸國からスダン地方に至る。

第三章 中部アフリカ

中部アフリカはその大部分が熱帯にあるので、一に熱帯アフリカと稱し、左の地方を含む。

一 スダン地方



行旅車動自と商隊の漠沙ラハサ

東部スダンは一にエジプトスダンともいふ。地中海岸からナイル川に沿うて上つた鐵道はハルツームを過ぎてゐる。この地方にはアラビヤゴムの産出が多い。

物生の近附湖ド-ヤチ



■ 總説 サハラ沙漠の南にあつて、東はナイル川の流域から西は大西洋岸に至る一帯の地をスダン地方と名づける。住民の大部はアフリカ人種のニグロ種族である。

■ 東部スダン ナイル川の本流が中央を走つてゐる。川に沿うて首府ハルツームがある。この地方はもとエジプトの一部であつたが、今はイギリスが統治の實權を握つてゐる。近時青ナイル川に大堰堤

を作つて、灌漑の便を圖つて綿の栽培に力めてゐる。
■ 中央スダン チャード湖附近の低地を含み、おもにフランス及

びイギリスの勢力範囲である。湖畔のクカはサハラ沙漠を横ぎつて来る隊商の集中点である。

四 西部スタン スタン地方の主要部で、イギリス・フランス・ポルトガル等の領地に分かれてゐる。

リベリヤはその間にある独立共和国で、嘗てアメリカ合衆國に奴隸となつた黒人の解放せられ、歸つて建てた國である。首府をモンロヴィヤといふ。

西部スタンの海岸地方は椰子油の産に富み、またココア・ゴム・象牙等を出す。イギリス領にあるラゴス港は西アフリカ商業の中心である。内地はニジェル川の上流地方であつて、それから西方



ナイヴロンモ

リベリヤ

面積 約一萬方軒 (七〇〇〇方里)

人口 約二〇〇萬

密度 約一八人
椰子油はヨーロッパに送られて石鹼・蠟燭等の原料となる。

ギニー灣東岸のカメルンにもドイト領であつたが、今はイギリスとフランスとが分割して、委任統治を行つてゐる。

下ギニー地方の住民はパンツ人で、文明の程度が甚だ低く、絶えず相闘つてゐる。

面積

約二三〇萬方軒 (一五萬方里)

人口 約八五〇萬
密度 約四人

ゴンゴ川流域の土人部落



海岸まではフランス領西アフリカである。チンブクツは北方サハラ沙漠に接する市場で、隊商の來集するものが多い。

ニ 下ギニー地方

■ 總説 ギニー灣の東岸にフランス領赤道アフリカ及びポルトガル領アンゴラ等がある。またこの灣に注ぐゴンゴ川の河口から大陸の中央にかけては、廣大なるベルギー領コンゴがある。

■ ベルギー領コンゴ コンゴ川は多くの支流と共に國內を灌ぎ、水量に富んで、交通に便である。ただその下流は臺地を下際に急流になつてゐるから、その間は川に沿うて鐵道を敷き、水路との連絡を保つ。

ラザウムは世界需要の八〇%をここから供給する。

この下流に臨んだ首府をレオポルドヴィルといふ。おもな輸出品は椰子の實及び油で、象牙・ゴム・樹脂・コーヒ・ココア等がこれに次ぐ。銅・金・ラザウム鑛の産も少くない。

三 東岸地方

■ 總説

ソマリランド半島から南方ザンベジ川下流の地方に及び、内地には數個の湖水があり、その間の高臺にはキリマスチャロ・ケニヤ等の火山が峙つ。海岸はイタリヤ・フランス・イギリス・ポルトガルに分屬し、内地にはアビシニヤ王國がある。

■ 地方誌

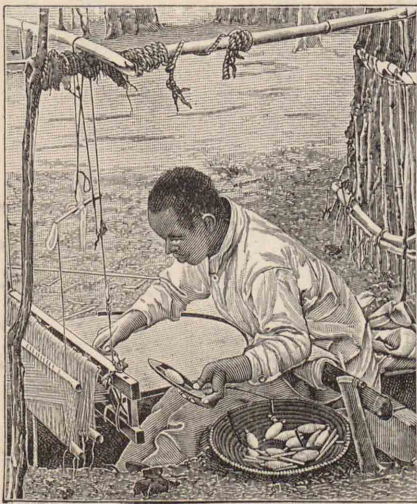
アビシニヤは高臺上にある専制王國で、皮革・コーヒ・樹脂等を輸出する。

面積

約九〇萬方里
(六萬方里)

人口

約一〇〇〇萬
約一一人



リ織機の人ヤニシピア

タンカンイカ地方はもとドイツ領であつたが、今はイギリスが委任統治を行つてゐる。

ポルトガル領東アフリカの南端にあるロレンソマルケスは良港で、鐵道がここから内地に通じてゐる。

アビシニヤの東北方、紅海・アデン灣の沿岸地方は東西交通の要點にあたり、イギリス及びフランスはその最も形勝の地を占めてゐる。フランス領にあるヂブチは紅海の口に臨む要港である。またイタリヤは紅海の岸にあるエリトレヤと、ソマリランド半島のインド洋に臨む部分とを領する。

これから南にはイギリス領のケニヤ植民地・タンガンイカ地方・ポルトガル領東アフリカ等が連り、多くはまだ開拓が進まない。近海のザンジバル島はイギリスの領地で、大陸に面して同名の港があつて、アフリカ東海岸の要港になつてゐる。

第四章 南部アフリカ

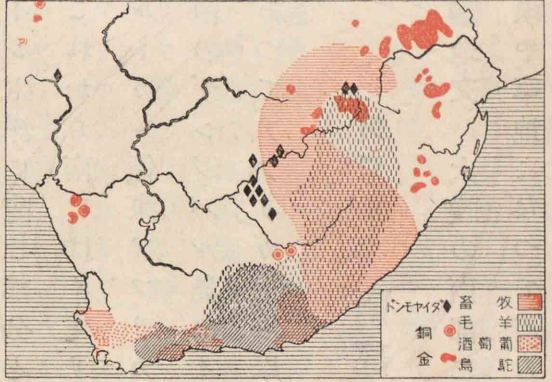
■ 地文

大陸の南部にある。西半は雨が乏しいから、カラハリ沙漠や草地になつてゐるが、東部は雨が多く豊沃で、農・牧の業が發

わが國で發明せられた人力車は今も遠く南アフリカにまで行はれてゐる。

南アフリカ聯邦
面積 約一、二〇〇萬方里
(七八萬方里)
人口 約七〇〇萬
密度 約六人

南アフリカ部カ業産分佈



南アフリカ聯邦を組織し、自治を行つてゐる。
地方誌 南アフリカ聯邦の最南部はケープ州で、名高い喜望峯の岬がその西南端に突出してゐる。域内は産物に富み、殊にダイヤモンドは世界産額の大部分を占め、キンバリーはその産地の

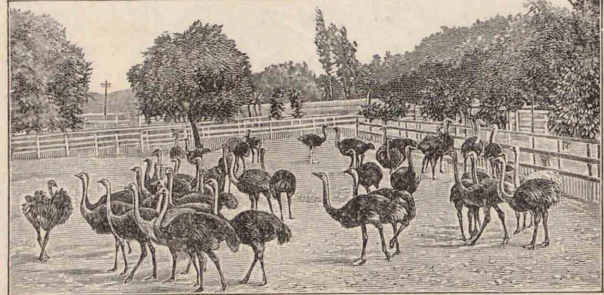
達し、且つ高臺であるから、氣候が凌ぎよくて白人の移住に適する。大陸中最も發達した植民地はこの地方にある。
人文 土人は文明の程度が甚だ低い。白人は内地にはオランダから來たブル人が多く、南部にはイギリス人が多い。南部アフリカの大部分はイギリスに屬し、もと多くの植民地等に分れてゐたが、近年そのおもなものが相合して

ケープタウンにわが領事館がある。ケープタウンから北上する鐵道は、ローデシヤを過ぎ、ベルギー領コンゴに入る。

背景はテーブル山で白雲がこれにかかると、多に市民はこれをテーブルクロースといふ。

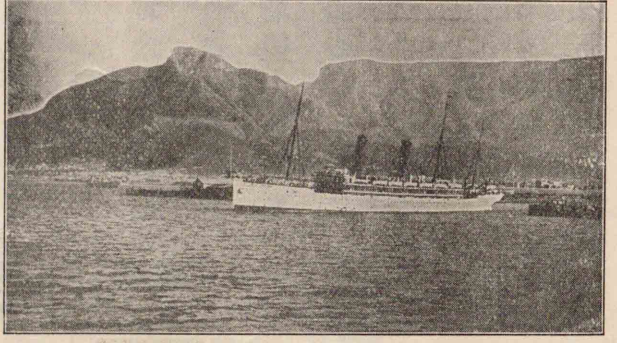
駝鳥はもと野生のもの、射殺してその羽毛を取つたが、今は廣大な飼育場で繁殖せしめて、同の駝鳥から幾回となく羽毛を抜き取るやうになつて、羽毛の産出が大に増加した。

ケープ州に於ける駝鳥飼育



中心である。農牧業も行はれて羊毛の産が多く、麥類、駝鳥の羽毛も少くない。ケープタウン(三)は喜望峯の北にあつて、水陸交通の要點にあたり、聯邦議會の所在地で、貿易が盛である。

ケープ州の東方にあるナタル州には羊毛の産が多く、ダーバン(ナト)港から輸出する。また北方にあるオレンジ自由州には牧畜が行はれ、またダイヤモンドを産する。トランスヴァール州は更にその北に位して、



ケープ州

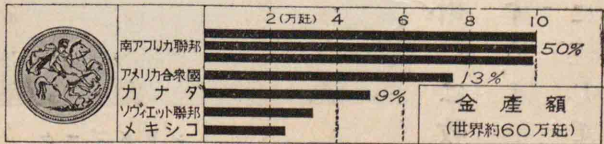
世界第一の産金地で、ヨハネスブルグがその中心である。羊毛の産も多い。プレトリアには聯邦政廳がある。内地にあるロデシヤにも金を産する。ベチアナ、ラハ、はその南にあつて、牧畜が行はれる。兩地ともイギリスに屬する。

西南アフリカは面積が廣いけれども、土地は不毛の處が多く、僅に牧畜が行はれるばかりである。この地方はもとドイツ領であつたが、世界大戰後國際聯盟の管理に屬し、南アフリカ聯邦が委任統治を行つてゐる。

第五章 アフリカの屬島

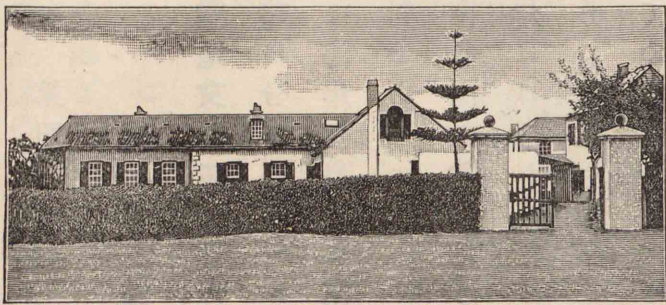
■マダガスガル島 大陸の東南、モザンビク海峡を隔てて、インド洋中にあるフランスの領地である。この島の生物は著しくア

面積 約五九萬方軒
人口 約三八萬方里
密度 約三六〇萬
約六人



擬猴類と旅人木とは共にアジヤ南部に産するもので、この島がもとアジヤと連絡してゐたことを生物分布の上から證明する好資料になつてゐる。

居住の後最世一ンオレボナ



フリカ大陸のものと異つて、擬猴類旅人木のやうな特殊のものを産し、住民も西半にあるものはアフリカ人種に屬するが、東半にあるものは海岸島嶼種族に屬する。首府をタ

ナナリヴといふ。物産には金、ゴム、獸皮等がある。この他インド洋中にはフランス領のハイニオン島や、砂糖を産するイギリス領のモトリシヤス島等がある。

■カナリヤ諸島 大陸の西北海岸に近い火山諸島で、イスパニヤに屬し、カナリヤ島の郷土である。

■セントヘレナ島 大陸の西南の沖にある火山島で、イギリスに屬する。ナポレオン一世の流された地として有名である。

第四編 アメリカ

第一章 總論

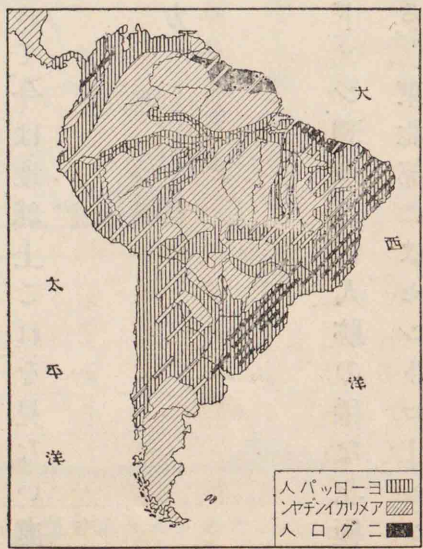
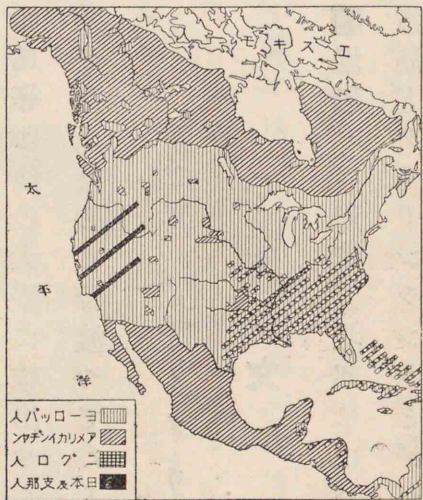
■地文 アメリカは太平洋と大西洋との間に横はり、南北の大陸に分かれ、パナマ地峽によつて僅に相連つてゐる。北アメリカは海岸の出入に富み、屬島が多いけれども、南アメリカはこれと反對である。

南北兩大陸の地形は相類似して、共にほぼ三角形である。太平洋岸にはこれに沿うて南北に走る大山脈があり、大西洋に面する部分には低い山脈があつて、この兩山脈の間には廣い平野が挟まつてゐる。

■人文 土人の大部分はアメリカ人種で、十五世紀の終頃にコロンブスがこの大陸を發見してから、イスパニヤ人、ポルトガル人

アメリカ人種はまたアメリカインディアンともいふ。

アメリカ人種分布



等が先づ移住し、次いでイギリス人、フランス人も多く來り、その後、奴隸としてアフリカから大に黑人を移住せしめたことがあつて、今日の住民はこれらの諸人種とその混血種とである。

人口は約二億一千万で、その密度が甚だ小で、ヨーロッパの十分の一に過ぎない。されば多數の移民は人口過剰の地から、この地積廣大、生産豊富な新大陸に來り、その數が年々三百萬に及ぶ。

この大陸は、始めヨーロッパ諸國の植民地のみであつたが、その後各獨立して共和國を建て、その數が二十一に及んでゐる。しかしイギリスは今なほ北アメリカの北部及びその他を領する。生物界も發見後に著しく變化して、從來この大陸で見なかつた牛・馬・羊・豚等の家畜は、綿・甘蔗・コーヒ・麥等の植物と共に輸入せられて、いづれも大に繁殖し、またこの大陸特有の玉蜀黍・馬鈴薯・煙草・七面鳥等は他の大陸に輸出せられて、今は地球上これを見ない處が殆どないほごに行渡つてゐる。

第二章 北アメリカ

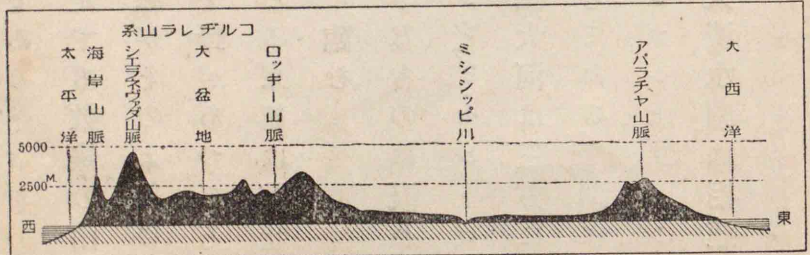
一 地 文

面積 約二四〇〇萬方
 約二六〇萬方里

一 地形 (一) 海岸 北部にはハドソン灣の外に、人跡の稀な北極海諸島とグリーンランドとがある。東北部にはセントローレン

ス灣が彎入し、南部にはメキシコ灣がある。西インド諸島はその外に列つてカリブ海を抱く。西北部にはアラスカ半島が突き出て、餘脈がアレウト列島となつてベーリング海を擁する。

その以南の海岸は小出入と小島とに富んで、更に南方に下れば、カリフォルニア半島

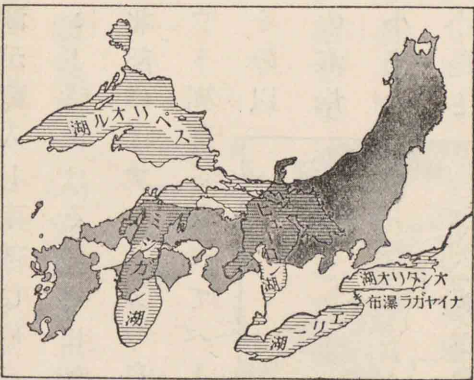


(下) 圖面斷同 (上) 圖形地カリメア北

アラスカ半島のマッキンリー山は海拔六千二百四十米に及んで、北アメリカ第一の高峰である。

スベリオル湖はわが九州島の二倍よりやや大きい。

北アメリカの五大湖



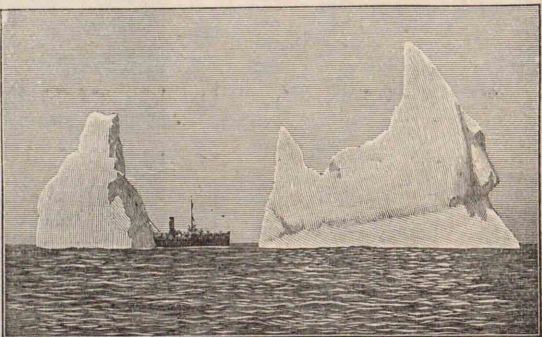
が細長く南方に突き出て、内に同名の灣を抱いてゐる。
(二) 山系 コルヂレラ山系は大陸の西部を縦走する數條の山脈から成り、中に高臺性の大盆地を包み、ロッキー山脈がその東部に連なる。山系の東に隣る大陸の中央には廣大な平野があつて、その東にはアパラチヤ山脈が更に横はつてゐる。その東麓は帶狀の平野を伴つて大西洋に臨む。
(三) 水系 河流の大きなものは概ね大平野の中にある。ミシシッピ・セントローレンス・マケンジの三大河は三方に輻射し、この大平野を潤してゐる。湖水も多くてスベリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五大淡水湖は相連つて最も有名である。

大西洋の北部には往々巨大な氷山が流れて来て、航海者を苦しめる。大きなものはその延長十數軒、海面上の高さ百米に及ぶ。

■ 氣候

地積が廣大であるから、氣候は一樣でない。大西洋岸の北部はラブラドル海流といふ寒流に洗はれてゐるから、ヨーロッパの同緯度の地方に比して、遙に寒冷である。太平洋岸の地は概ね温暖で、寒暖の差は東岸よりも少い。中央平野は北部極寒の地から、南方に進むに従つて次第に

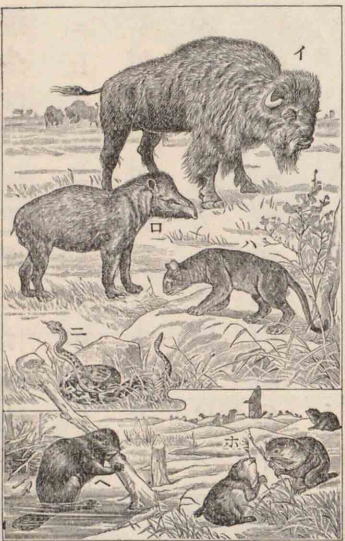
温暖になり、南部は熱帶の特色を呈してゐる。雨量は太平洋斜面の北半及び大西洋斜面の南半に最も多く、内部は概ね乾燥する。



氷山

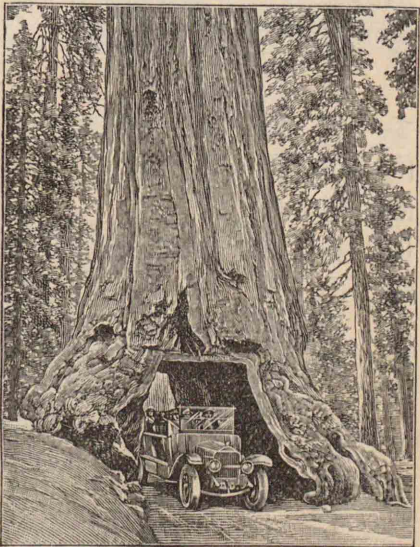
- イ、野牛
ロ、タビヤ
ハ、ヒユマ
ニ、響尾蛇
ホ、プレイリー犬
ヘ、ビーヴァー

北アメリカの特有動物



圖に示す巨樹は高さ百米、幹の直径十數米、樹齡千二百年に及び、トンネルを穿つて自動車を通ずる。

生物界 北部には極地特有の白熊、麝牛が棲み、中部の山中にはアメリカ獅子と稱せられるピヌアがある。平野にはブレイリー犬が群居し、南端の中部アメリカには蜂鳥のやうな美しい小鳥がある。



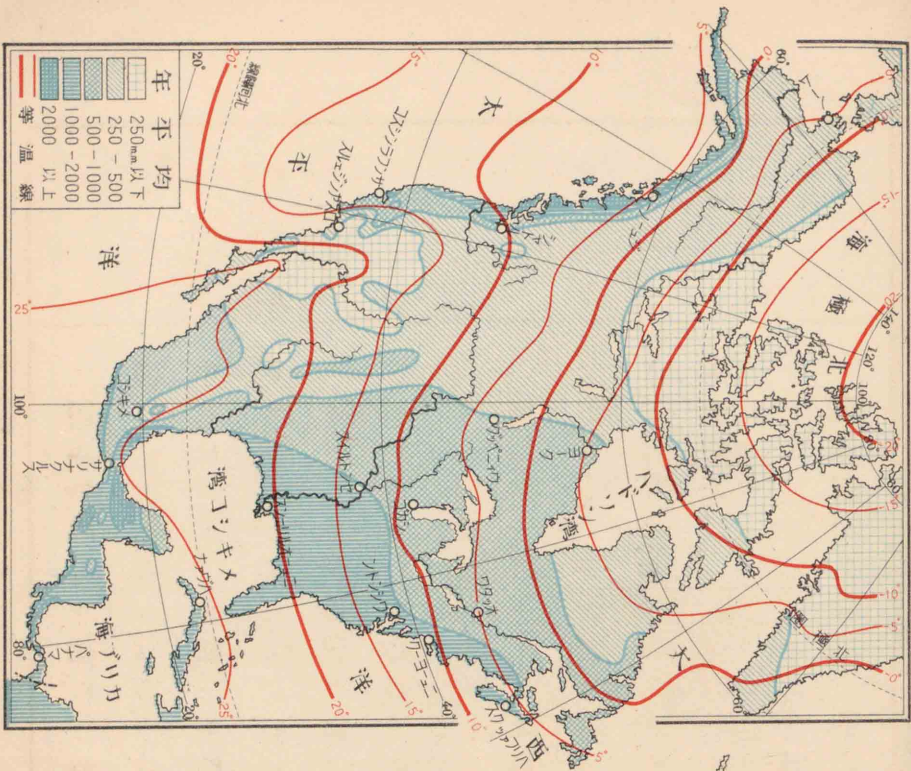
樹巨のナニルオフリカ

植物は中部アメリカに最もよく繁茂して熱帯性の森林となり、それから北方コルデラ山系中の乾燥した地方には、サボテンのやうな水分に富むものが多く、西部の海岸地方には巨大な樹木の森林がある。

二 人 文

一 國家 大陸の中部にはアメリカ合衆國があり、その北に隣つ

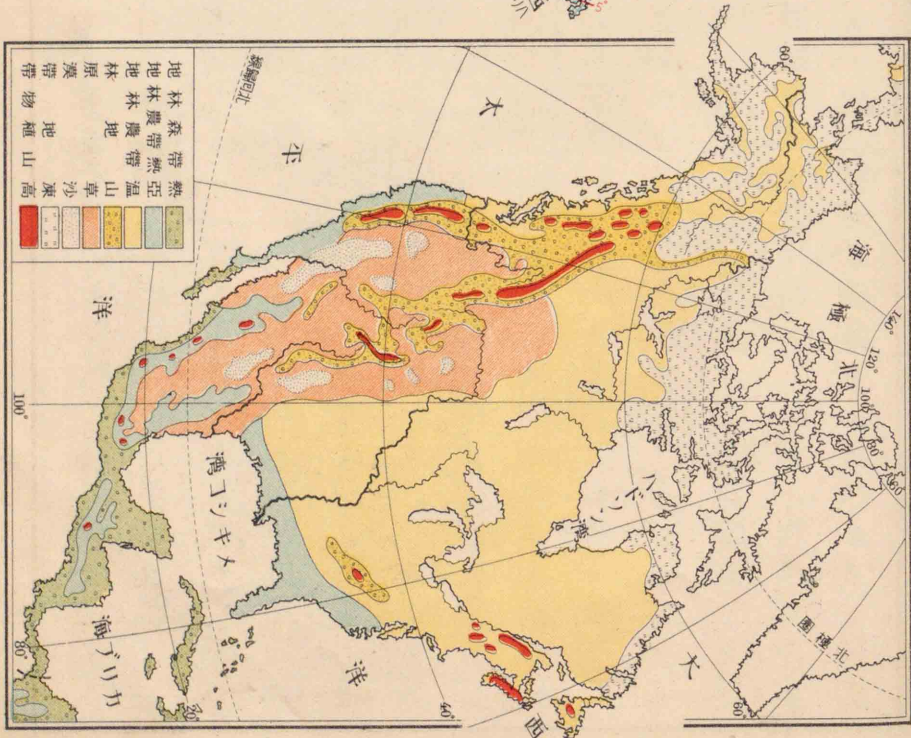
布分量雨及線温等カリメア北



0 500 1000 1500 K.M

1:70,000,000

布分物種カリメア北



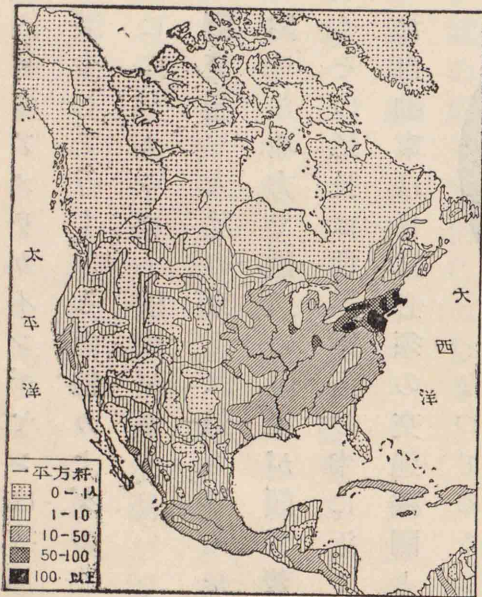
0 100 200 300 400 哩

大陸西北隅のアラスカ地方はアメリカ合衆國に屬する。

人口
約一五〇〇〇萬

わが國人及び支那人は西部に多い。

北アメリカ人口密度



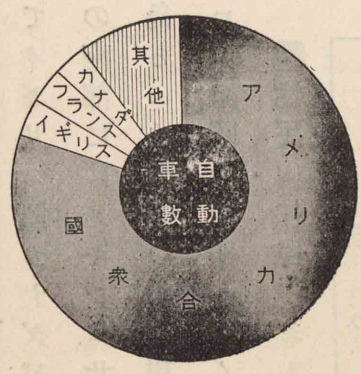
てイギリス領カナダがあり、共に廣大な面積を占めてゐる。大陸の南部にはメキシコ共和國がある。中部アメリカと西インド諸島とには數個の小共和國が分立し、またアメリカ合衆國及びヨーロッパ諸國の領地も少くない。

■住民

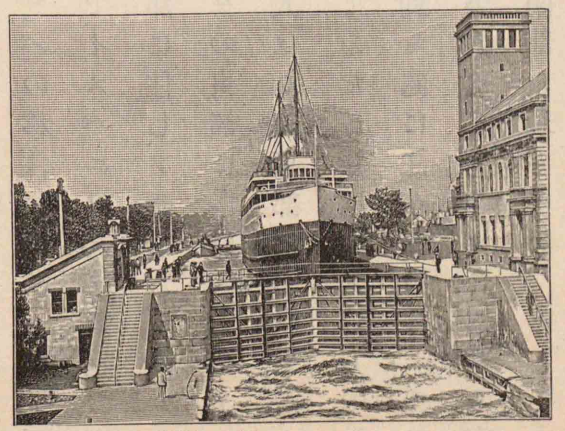
住民のおもなものはヨーロッパの移住民及びその子孫で、イスパニヤ人は大陸の南部に住し、フランス人はカナダの東部に多い。イギリス人は初め東部の海岸を占めてゐたが、今は南部地方の外到る處に住んでゐる。また黒人はアメリカ合衆國の東南部に最も多い。そして大

大陸の大部分にはイギリス語、南部にはイスペイン語、セントローレンス川の下流地方にはイギリス語とフランス語とが行はれる。

自動車数
世界 約二七〇萬臺
アメリカ合衆國 約二二一〇萬臺



陸固有のアメリカインディアンは次第に減少して行く。その他カナダの北部にはエスキモー種族がある。
交通 大陸の東部は最も早くから開けた地方で、鐵道の發達が頗る著しく、その延長は世界鐵道の半に近く、また自動車は日常必須の交通機關となつてゐる。
また海港が多くて、ヨーロッパとの間に汽船の交通が極めて頻繁である。平野の河川及び五大湖水運の便が多い。



門閘の河運—リマンサーン

西部地方は大陸横斷の鐵道によつて、東

大汽船によれば日本・アメリカ間は約十五日、イギリス・アメリカ間は約五日間を要するに過ぎない。

面積 約九六〇萬方里 (六二萬方里)

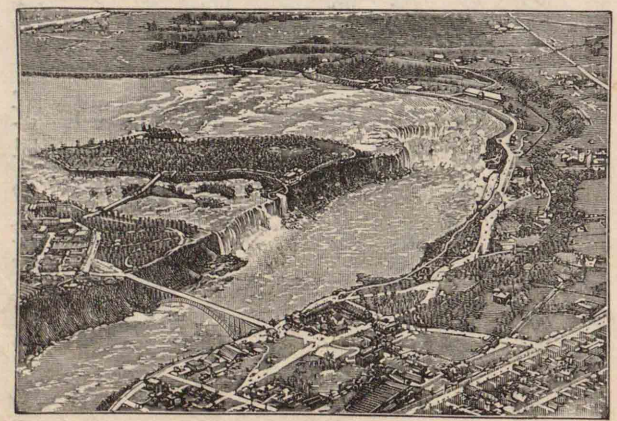
ナイヤガラ瀑布はカナダとアメリカとに分かれてゐる。前者は幅約九百米、後者は幅約三百米で高さは共に約五十米である。

部と連絡し、東洋及びオセアニア諸港との間には、諸國の商船が往來する。また東西兩岸の間には定期航空路さへ開かれてゐる。

三 カナダ

境界 カナダは大陸北部の大部分と、その近海の島とを占め、面積はわが國の約十四倍にあたる。

地形 西部にはコルデラ山系が連つてゐるが、その他は臺地もしくは平野で、中央が最も低く、ハドソン灣がここに彎入してゐる。南方アメリカ合衆國との境には五大淡水湖が連つて、そのエリー湖の水のオンタリオ湖に入るにあつて、有名なナイヤガ



布瀑ラガヤイナた見らか空上

第二卷 北アメリカ
エリー湖の汽船の交通
エリー湖の汽船の交通
エリー湖の汽船の交通

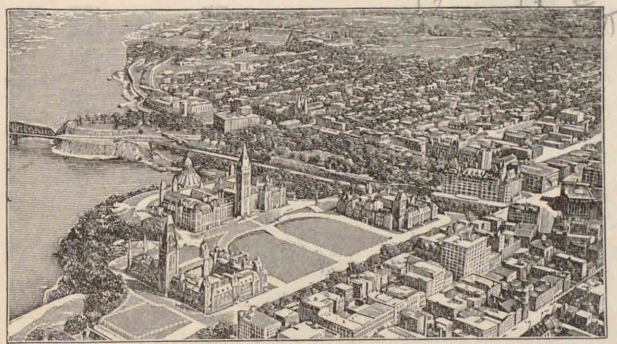
石炭。埋蔵量。世界一
カネマン。日本。一六七。南。一。ガ。新。つ。つ。ガ。カ。
水産。世界三大漁場。ニューファンドランド。イギリス。本國。及び。アメリカ。合衆。地。として。知ら。れて。ゐ。る。貿易。は。イギリス。本國。及び。アメリカ。合衆。國。との。間に。盛。である。

地として知られてゐる。貿易はイギリス本國及びアメリカ合衆國との間に盛である。

七 地方誌

域内の最もよく開けた地方は東南の一部分で、おもな都市も多くはこの地方にある。モントリオール(五)はセントローレンス川に沿ふ河港で、商工業が盛大で、カナダ第一の都市である。その西方には首府のオッタワがある。トロント(六)は南部にあつて、商工業が行はれる。

ウイニペグは中央平野の南端にあつて、交通の要點にあたり、農産物や畜産物の集散が盛である。西岸のヴァンクーヴァーは良港で、アメリカからわが國に來る最捷航路は



ロタッオ

オッタワにわが公使館及び領事館がある。
ヴァンクーヴァーにわが領事館がある。

石炭。埋蔵量。世界一
カネマン。日本。一六七。南。一。ガ。新。つ。つ。ガ。カ。
水産。世界三大漁場。ニューファンドランド。イギリス。本國。及び。アメリカ。合衆。地。として。知ら。れて。ゐ。る。貿易。は。イギリス。本國。及び。アメリカ。合衆。國。との。間に。盛。である。

今はわが労働者の入國は困難である。

ニューファンドランドランド島は、ラブラドルの海岸地方と共に、イギリスの自治植民地である。

面積 約三〇萬方呎 (二四萬方里)

ここから起る。カナダ太平洋鐵道はこれらの諸市を連絡してゐる。

八 カナダと日本

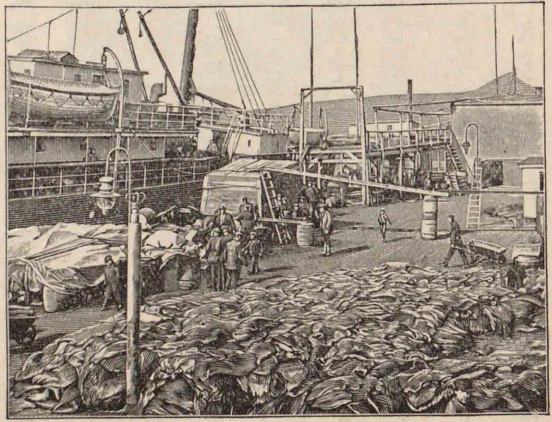
カナダの太平洋岸地方にはわが國人の移住して、漁獵伐木等に從事するものが二萬以上に及んでゐる。貿易はわが國へは小麦、木材等を輸出し、わが國からは絹織物、生絲茶等を輸入する。

九 ニューファンドランド島

セントローレンス灣外にある。その近海は世界三大漁場の一で、鱈の産が多く、また海豹を産する。

四 グリーンランド

大陸の東北にある世界第一の大島で、面積はわが本州の九倍に



業漁のドンラドソヴァーユニ

この島のエスキモ一人の中には普通の家屋に住み、學校・寺院等を有してゐるものがある。

湖水の湖
大盆地

約七七〇萬方籽
(五〇萬方里)

大盆地は不毛の高原であるが、近年灌漑工事を施して農牧の業がやや行はれるやうになつた。
ミズーリ川の上流には間歇泉と風景とで名高いイエローストーン国立公園がある。

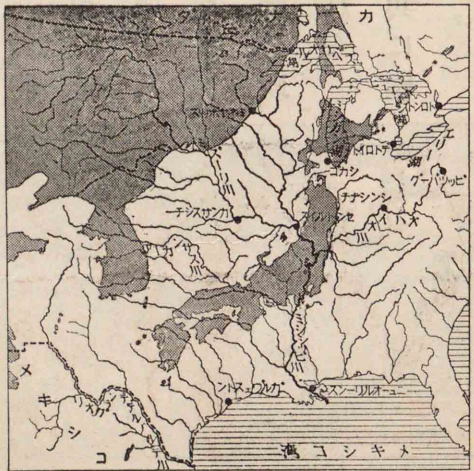
及ぶ。島の内部は高臺になつて、その大部分は氷雪に被はれ、生活に適するものは、ただ南部海岸の低地のみである。住民はエスキモ一種族で、漁獵を事とし、デンマルクの保護を受けてゐる。

五 アメリカ合衆國

●**境域** 大陸の中部にある大國で、太平洋と大西洋との間に挟まり、北はカナダと境を接し、南にはメキシコ及びメキシコ灣がある。面積はわが國の十二倍に近い。

■**地形** 國の西部はコルデラ山系の最も幅廣い處で、その大盆地の中には大鹹湖が横はつてゐる。コロラド川は源をロッキー山脈に發し、大峽谷を穿ち高原の間を流れて、カリフォルニア灣に入り、リオグランデデルノルテは南に流れてメキシコ灣に注ぐ。山系の東は大平野である。ミシシッピ川はミズーリオハイオの二大支流等を合せ、平野の中央を南流してメキシコ灣に入る。その長

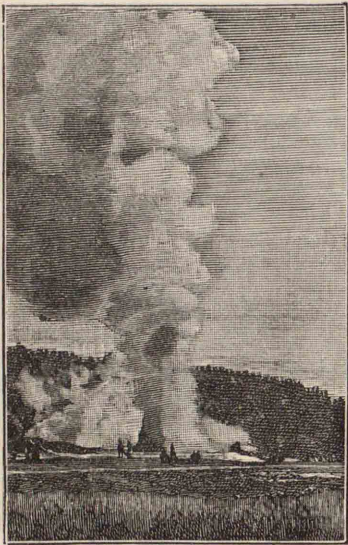
さは約六千五百籽に及び、世界第一の長流で、その流域の面積はわが國の五倍に達する。東部のアパラチヤ山脈は平行してゐる數條の小山脈から成り、その東南麓には細長い平野が横はつて大西洋に終つてゐる。南方の海岸は洲渚が多いけれ



域流の川ヒッシミ

ど、東岸と西岸とは良港が乏しくない。

●**住民** 人口は約一億一千万で、國土の廣大な割合には甚だ少い。住民はおもにイギリ



泉歌間の園公ントスーロエイ

公園内に七十餘の間歇泉がある。圖に示したのはオールドフェースフルト稱するもので、噴出時極めて確實、熱湯噴出の高さ七十米に及ぶ。

取世界一、一七〇、カン

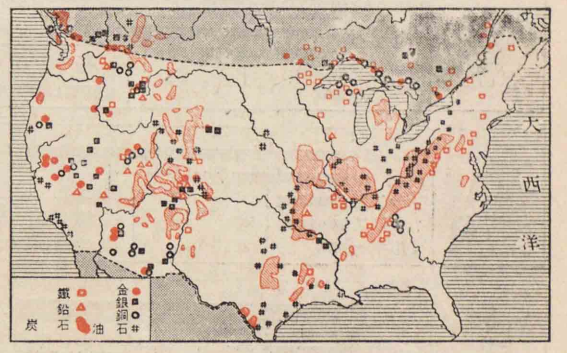
製田都市
三ノ市
三ノ市

1 オーストラリア
2 アルゼンチン
3 南アフリカ

石油の産額は全世界の約七十二%を占め、わが國一ヶ年の産油額はこの國の僅に十五時間の産出額に相當するといふ。

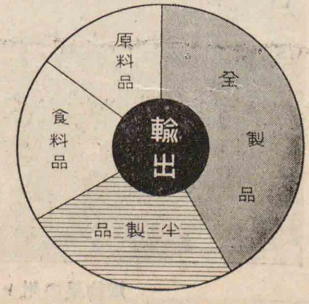
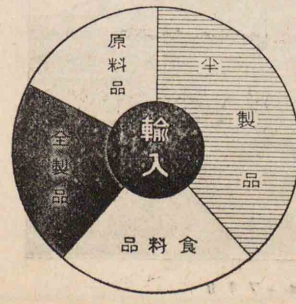
石炭
銅
鉛
亜鉛
金
銀
鉄
鋼
セメント
紙
綿
絹
毛織物
皮革
木材
硝子
ガラス
陶器
磁器
繊維
染料
医薬品
化粧品
食品
飲料
酒類
タバコ
紙煙草
印刷
出版
新聞
雑誌
書籍
映画
音楽
演劇
スポーツ
娯楽
教育
科学
技術
工業
農業
林業
漁業
畜産
水産
交通
運輸
郵便
電信
電話
電報
無線
航空
航海
汽船
汽車
電車
バス
トラック
オートバイ
飛行機
船舶
港湾
空港
駅
港
橋
トンネル
道路
鉄道
船舶
航空機
自動車
オートバイ
飛行機
船舶
港湾
空港
駅
港
橋
トンネル
道路
鉄道

メキシコ合衆國産物分布



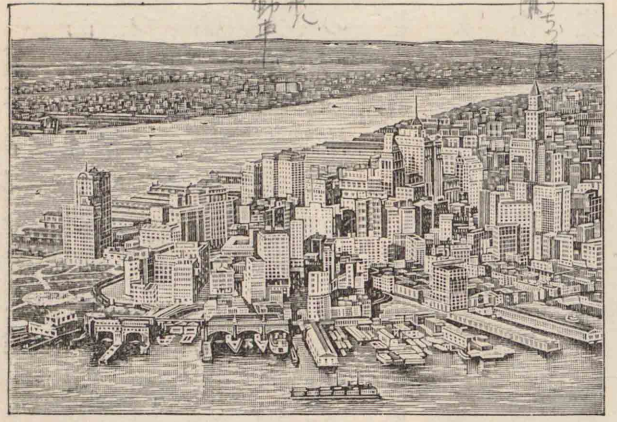
銅水銀鉛亜鉛等に富み、いづれも世界の主産地として知られてゐる。工業は鑛産の多いのに伴つて大に興り、中部以東に於ける製鐵・機械製造・造船・自動車製造・紡

流の諸州と東北部とも、木材の伐出が極めて盛である。水産は東北の近海に多い。鑛産中、石炭は中部平野及びアパラチャ山脈に産し、鐵と銅とはスペリオル湖附近に多く、石油は處々に産し、この四つのもものはその産額が皆世界に冠絶してゐる。西部諸州は金銀



績等はいづれも極めて盛大である。また中部地方には製粉業が著しく發達してゐる。産物が豊富であるから、商業は甚だ盛で、外國貿易額はイギリス

輸出總額 約九十九億圓
輸入總額 約八十五億圓
取引額はイギリスを第一とし、カナダがこれに次ぐ。
製鐵工業
製鋼工業
機械製造
自動車製造
造船
航空機製造
船舶製造
汽船製造
製粉業
製糖業
製紙業
製油業
製塩業
製炭業
製硝業
製陶業
製磁業
製漆業
製染料業
製医薬業
製化粧品業
製食品業
製飲料業
製酒業
製タバコ業
製印刷業
製出版業
製新聞業
製雑誌業
製書籍業
製映画業
製音楽業
製演劇業
製スポーツ業
製娯楽業
製教育業
製科学業
製技術業
製工業業
製農業業
製林業業
製漁業業
製畜産業
製水産業
製交通業
製運輸業
製郵便業
製電信業
製電話業
製電報業
製無線業
製航空業
製航海業
製汽船業
製汽車業
製電車業
製バス業
製トラック業
製オートバイ業
製飛行機業
製船舶業
製港湾業
製空港業
製駅業
製港業
製橋業
製トンネル業
製道路業
製鉄道業
製船舶業
製航空機業
製自動車業
製オートバイ業
製飛行機業
製船舶業
製港湾業
製空港業
製駅業
製港業
製橋業
製トンネル業
製道路業
製鉄道業



に次いで世界第二位を占め、輸出額は遙に輸入額を超えてゐる。輸出品のおもなものは農産物を第一とし、これに次ぎ鑛産物・畜産物等があり、輸入品では種々の原料品・半製品等がある。
地方誌 東部地方は最初に開けた處で、商工業も盛で、都市が甚だ多い。大西洋の正門とも稱すべきニューヨークは、ハドソン川の口に臨み、新大陸第一の大都市で、人口は約六百萬に及び、

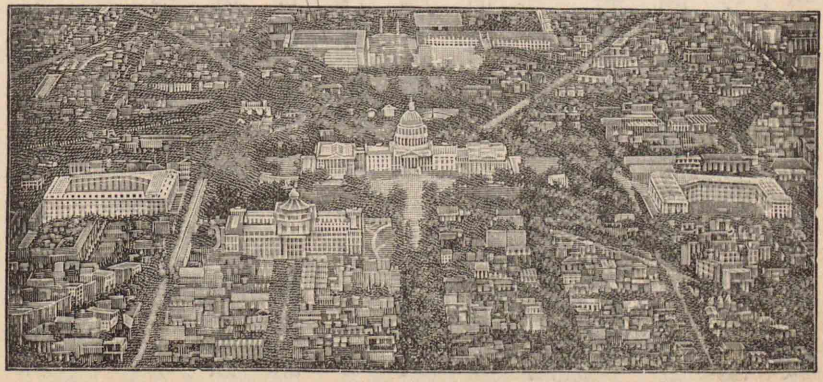
ニューヨークの輸出入の總額は約八十億圓に上る。

左方に見えるは國會議事堂、これに對するは國會圖書館、最も近きは下院の事務所、これに對するは上院の事務所、遙に後方にあるのはユニオン停車場。

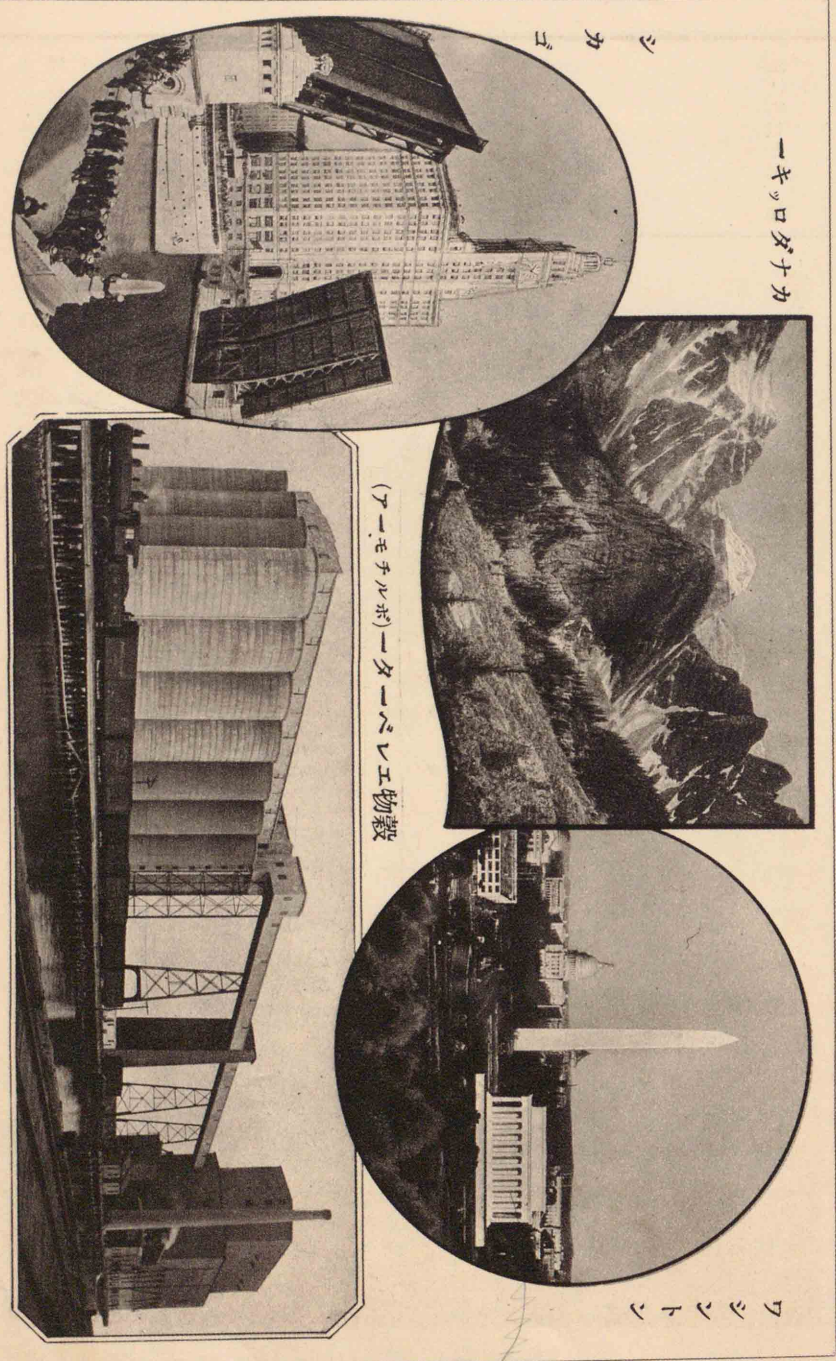
フィラデルフィヤには有名な獨立閣がある。

その樞要な部分では建築物が次第にその高さを増し、數十階のビルディングが相列つてゐる。また海岸河邊には無數の棧橋が櫛比し、商船の出入が頻繁で、世界の大市場となり、輸出入の總額は世界諸港の第一位である。ボストン(七)はその東北にある古い都市で、貿易が盛に行はれ、また學藝の一中心である。その美術博物館は東洋美術、殊にわが國美術の粹を集めてゐるので有名である。

ペンシルヴァニア州は鐵石炭石油の産に富み、工業が盛で、ピッツバーグ(七)は製鐵業の中心をなし、フィラデルフィヤ(三〇)は石



ワシントン



フィラデルフィヤ

アーモナルボーダーマン工物製

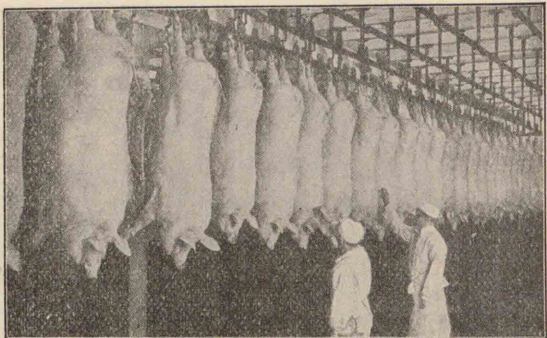
ワシントン

ワシントンにわが大使館がある。

シカゴにわが領事館がある。

ニューヨークにわが領事館がある。

シカゴの畜産検査場



油の市場となつてゐる。首府ワシントン(一)はその南にある清麗な都市で、議事堂、圖書館等の宏壯な建築物がある。

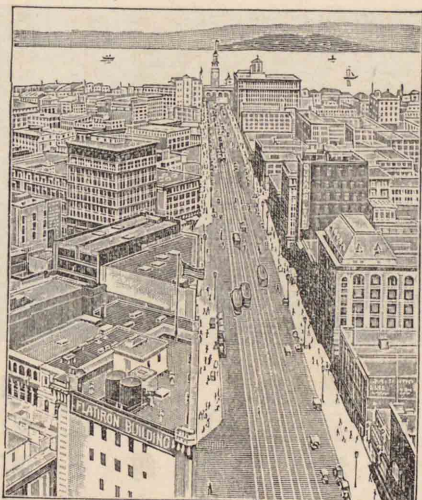
中部地方にはミシガン湖畔にシカゴがある。内地交通の要點にあたり、市街の發達が極めて著しく、人口三百萬を超え、この國第二の大都市で、穀物、肉類の世界的大市場である。その東方のデトロイト(二)は自動車製造の盛大で知られてゐる。ミシシ

ピ川とミズーリ川との會點にはセントルイス(三)の河港がある。南部地方には盛に綿を栽ゑ、また甘蔗米が作られる。ミシシッ川の下流に沿ひ、ニューヨーク(四)の港市があつて、綿の輸出港として著れ、またその西南のガルヴェストン港は綿の積出が多い。

Handwritten mark or signature.

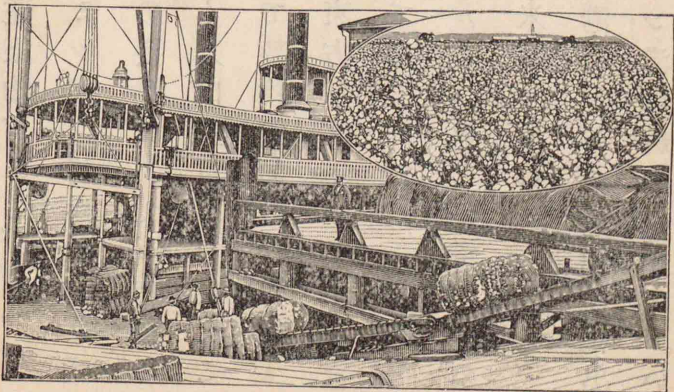
サンフランシスコにわが総領事館がある。

コスシラフンサ



西部太平洋岸地方はわが國との間に直接の交通が行はれる處で、わが國人の在留者は十三萬餘に及び農業に従事するものが多い。その南部のカリフォルニヤ州には細長いカリフォルニヤ平野があつて、小麥や葡萄を産する。サンフラン

シスコはこの海岸の第一の良港で、各方面の太平洋航路と大陸横斷の鐵道とを連絡する地點にあた



(畑綿は圖附)出積の綿のスノーラルオーユニ

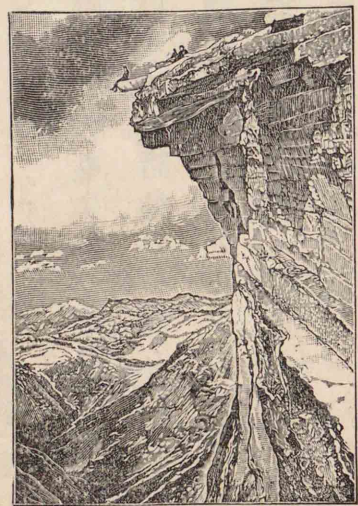
シエラネヴァダ山脈の西斜面にある峽谷で、延長十二軒、兩側は花崗岩の岩壁千米乃至千五百米に及び處々に瀑布が懸る。

ロスアンゼルス附近のサンペドロには日本郵船會社船が寄港する。ここにはわが國人の漁業に従事するものが多い。

(スルエジミアスロ)所影撮のドゥウリハ



り、商業が盛である。わが二大汽船會社船もここに寄港する。州



谷峽テミセヨ

の西南部は氣候が溫和、空氣が清明で、林檎・蜜柑等の果實が盛に栽培せられ、近年米綿の耕作も行はれるやうになつた。

ロスアンゼルス(三〇)はその中心に位して、發達が著しく、この國太平洋岸第一の都市となり、自動車の使用が盛に行はれ、市民三人につき一臺を有する割合で

ロスアンゼルス、シヤトルにわが領事館がある。

面積 約一五〇萬方呎
(一〇萬方里)
人口 約六萬

行政上ハワイ諸島はアラスカと共に本國の一地方となつてゐる。

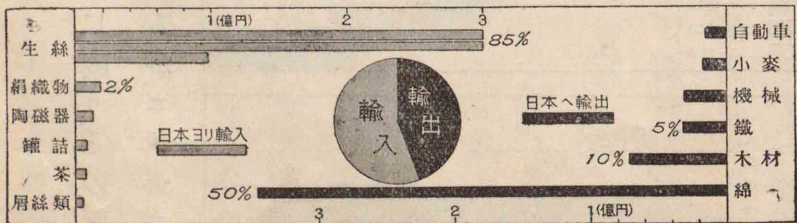
ある。市に活動寫眞の大撮影所がある。わが國人は附近で農園を營み、野菜園藝植物の供給をして甚だ有力である。また北方カナダの境に近くシヤトル^(四)及びタコマの港市があり、わが二大汽船會社の定期汽船の航路の終點にあたる。アラスカは大陸の西北部にある半島で、嘗てロシヤから買収した處である。氣候は寒くて、土地がまだ開けないが、海岸地方には鮭、膾膾たる等の産が多く、またユーコン川の上流には著名の産金地がある。

領地 この國は從來海外に領地を求めなかつたが、西曆千八百八十九年ハワイ諸島を併せ、次にサモア諸島の一部を領し、後またイスパニヤに勝つて、フィリピン諸島、グム島、ポルトリコ島を收め、パナマ運河の開鑿にあたり、その沿線一帯の地を租借し、近年デンマルクから西インド諸島中の數島を購入した。

わが國が外國と條約を結んだのは、この國が始である。

八 アメリカ合衆國と日本 この國は嘗てわが國に開國を促し、文明を傳へ、明治三十七八年戰役を調停し、近年われとイギリス、フランスと共に四國條約を結び、世界の平和を促進してゐる。わが移民のこの國の西岸及び南部地方にゐるものが少くない。しかしわが國人のこの國で發展するのを好まず、今はわが移民の入國が禁止された。

兩國間の貿易は盛で、わが國へ綿、木材、鐵類、機械等を輸出し、わが國からは生絲、絹織物、陶磁器等を輸入する。わが國のこの國に對する輸出額はわが全輸出額の約四割に及び、この國は支那と共にわが商品の大得意先である。



品貿易要主本日・國衆合カリメア

六 メキシコ

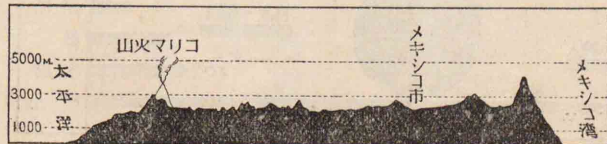
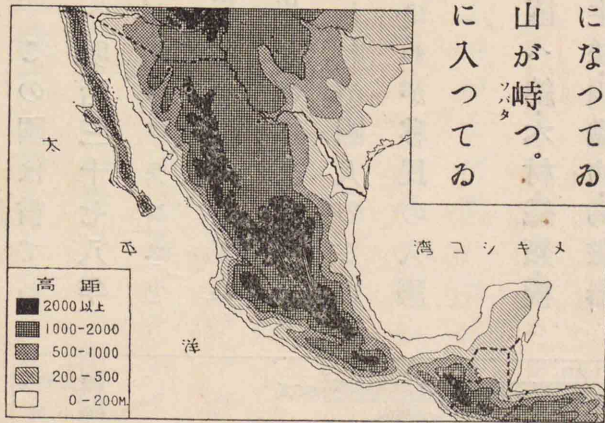
面積
約二〇〇萬方
里(一三萬方里)

サボテンに寄生するコチニール蟲は染料として有名な産物である。

■**境域地形** メキシコはアメリカ合衆國の南に隣り、その面積はわが國の三倍に近い。海岸には狭い平野があるが、コルデラ山系が國內に連つて高臺國になつてゐる。高臺の上には多くの火山が峙つてゐる。

○**氣候産業** 南半は熱帯に入つてゐるから、メキシコ灣岸の低地は暑くて濕氣が多い。これに反して内地の高臺は甚だ涼しいが、雨量に乏しいから、サボテン・マグエー等の植物が生育する。

農産には玉蜀黍・コーヒ！



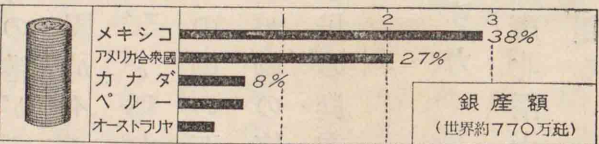
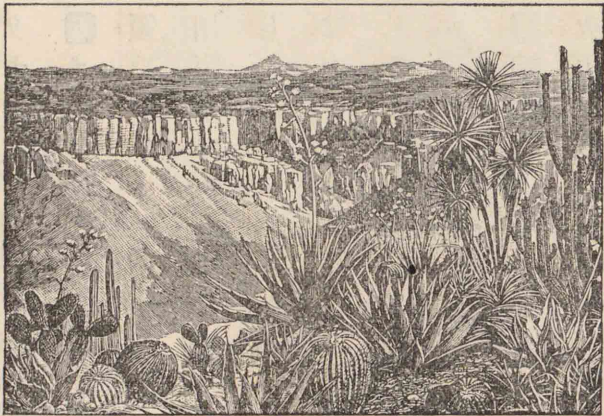
(下) 圖面斷同 (上) 圖形地コシキメ

■**圖解**
近くサボテン・マグエーの繁茂せるを見、遠く火山の圓錐峰を望む。

■**人口**
約一四〇〇萬
約七人

メキシコにわが公使館及び總領事館がある。

界物植の臺高コシキメ



内政は常に紛擾して、國運が振はず、アメリカ合衆國に干渉されることが多い。

四 地方誌

首府メキシコシティは内地の高臺に位し、空氣が清明で、

煙草等の産が多い。鑛産は豊かで、銀の産額は世界第一に位し、石油の産額も少くない。その他金銅の産も多く、**編瑪瑙**・**オパール**等も出す。

■**住民政治** 住民は白人土人の外に混血種も多い。この國はもとイスパニヤの領地であつたが、今は獨立共和國になつてゐる。しかし

サリナクルス港は
わが日本郵船會社
南米航路船の寄港
地である。

市の中心に位し
てゐる宏壯な寺
院とその前の大
廣場。

面積
約六〇萬方呎
(四萬方里)
人口
約六〇〇萬

氣候が甚だよい。メキシコ灣の岸にある
ヴェラクルスは不健康地であるが、この國の
最も重要な貿易港である。太平洋岸には
サリナクルス、アカプルコ等の港がある。
⑤メキシコと日本 この國がイスパニ
ヤ領でノヴァイスパニヤ(ノヴィサス)と稱した頃、
徳川家康はわが國の船をこの國の西岸に
遣したことがある。今はわが國の條約國
となり、その南部にはわが移民の農業に従
事してゐるものが多い。

七 中部アメリカ

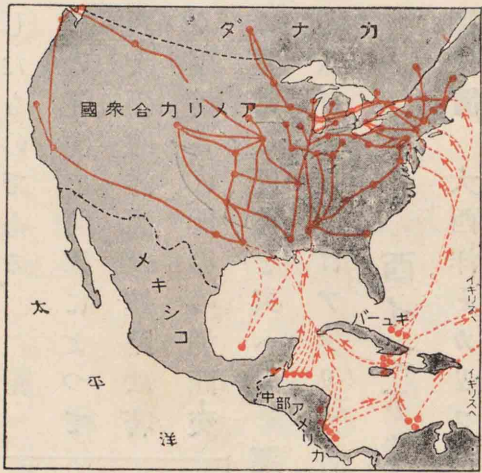
■總説 中部アメリカは南北兩大陸を連絡する高臺性の地で、
活火山が多く、地震が頻繁に起る。



メキシコ市

中部アメリカには
蚊が多くて、熱病
の病毒を盛に傳播
する。

出輸のナナバ



熱帯に位してゐるから暑氣が強
く、カリブ海岸には雨量が多い。植
物は到る處に密生して、森林にはマ
ホガニーその他の良材を産する。
農産ではコーヒー、バナナ、甘蔗、煙草
が重要なものである。

住民はメキシコと同種族で、分れ
てグアテマラ、サルヴァドル、ホンジュラス、
ニカラグワ、コスタリカ、パナマの六小共和國を建設してゐる。しか
し多くは内亂が絶えないで、國勢が振はない。この他北部にイギ
リス領、ホンジュラスがある。

③パナマ運河 太平洋岸のバルボア港から、パナマ地峽を横斷
して、カリブ海岸のクリストバル港に通ずるもので、その延長は八

一年間にパナマ運河を通過する船舶は約五千隻に及ぶ。またその通航所要時間は約六時間である。

圖は太平洋側から二番目の閘門で、上水面は海拔二十六米、下水面はそれから九米低い。閘門内の水準は自由に上下せられるから、船は容易に次の水面に移ることができ

十料に及ぶ。この運河はもとフランス人レセブスによつて企てられたが、失敗に終り、後アメリカ合衆國の經營によつて千九百十四年に開通したものである。

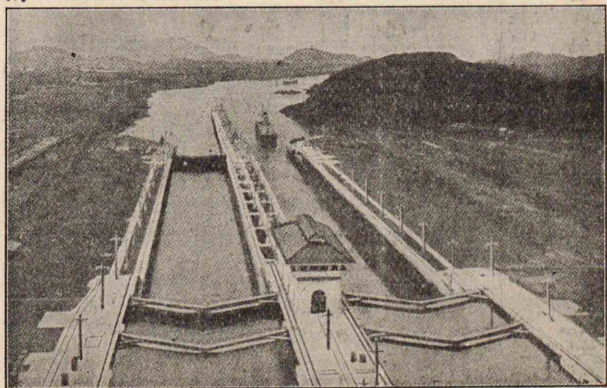
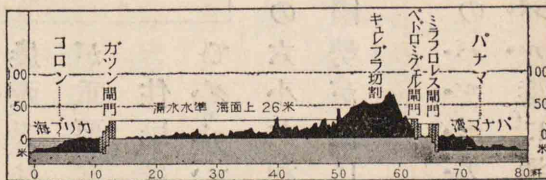
この運河の開鑿によつて

大西太平洋兩洋間の航路は著しく短縮され、世界の通商交通に非常な便益を與へた。運河の兩岸

幅各八料の地帯はアメリカ合衆國の租借地である。

八 西インド諸島

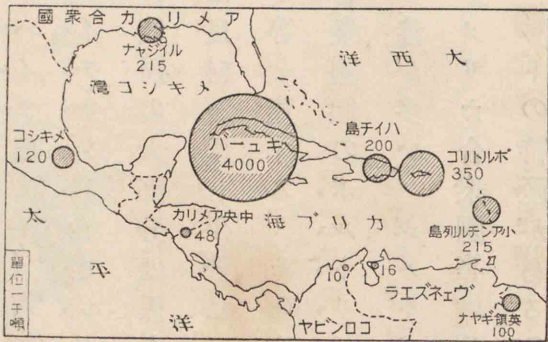
一 位置 大西洋とカリブ海との間に横はつて、バハマ諸島とア



河運マナバ

西インド諸島には中部アメリカと共にパン樹と稱する樹が多く、その果實は土人の食用となる。

西インド諸島砂糖産額比較



ンチル列島とに分れてゐる。アンチル列島は山がちで火山が多い。

三 氣候産業住民 大部分は熱帯に位し、暑氣が強く、雨量が多く、煙草、甘蔗、コーヒ等を産する。住民は土人とイパニヤ人と外に黒人が多く、混血種も少くない。

地方誌 バハマ諸島はイギリス領で、低い珊瑚礁から成り、パインアップルその他の果實を産し、近海には海綿が多い。諸島中のサンサルヴァドル島はコロンブスの最初に発見した處である。キューバ島は西インド諸島中の最大島でも、トイスパニヤ領であったが、今は獨立の共和國になつてゐる。土地がよく開け、甘蔗糖煙草の産が多い。甘蔗糖の産額は世界第一に位してゐる。

面積 約一萬方呎 (七〇〇〇方里)
人口 約三五〇萬
密度 約三二人

面積 約一七七〇萬方
 約一七〇萬方里



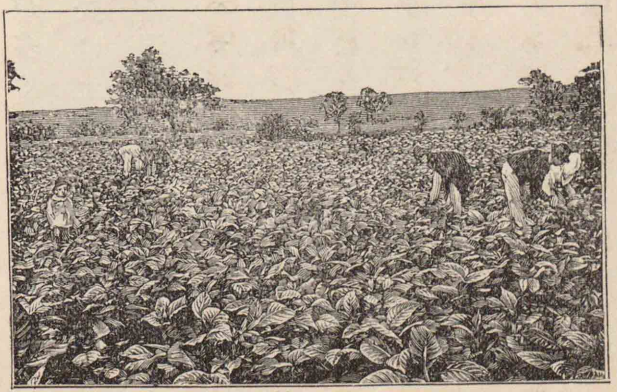
第三章 南アメリカ
 一 地文

四ベルムダス諸島 西インド諸島の北方大西洋中にあつて、イギリスに屬する。全島珊瑚礁から成り、メキシコ灣流に浴し、保養地として名高く、またその港は海軍の根據地である。

一 境域地形 その形はほぼ三角形で、海岸の出入が乏しく島も少い。南端にはマゼラン海峽を隔てて、フエゴ島がある。
 アンデス山系は大陸の西岸に沿うて連り、處々に高原

ハヴァナはわが汽船の航路にあたる。

首府ハヴァナは西北岸にあつて名高い巻煙草を産する。キューバ島の東南にはイギリス領のジャマイカ島があり、甘蔗バナナ等を産する。
 ハイチ島はキューバ島の東隣に位して、ハイチ・サントドミンゴの二共和國に分れ、住民の大部分は黒人である。山林には良材を産し、平野には甘蔗、煙草、コーヒ一等を産する。その東にあるアメリカ合衆國領のポルトリコ島にはコーヒの産が多い。ポルトリコの東南に連る島々は、イギリス、フランス、アメリカ合衆國等に分屬し、イギリス領のトリニダード島はアスファルトの特産があるので名高い。



ハヴァナに於ける煙草耕作

南米
地形
図

大陸の北半は氣候が炎熱で熱病が流行するので、都市は多く氣候の良好な高地にある。

(下) 地草と(上) 林森のカリメア南



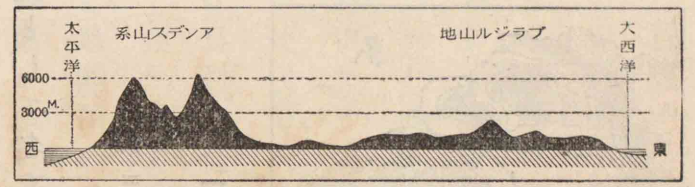
てオリノコ川の流域がある。この二川の間には全く分水界のない處があつて、その支流が互に連絡してゐる。大陸の南半ではラプラタ川が最も大きい。

■ 氣候 面積の廣い大陸の北半は熱帯に位して、暑氣が強く、濕氣に富む東風が大西洋上から容易に大陸の内部に吹き入つてアンデス山系に達するから、この地方は雨量が甚だ多い。ただ山系の西側にある狭小な地帯のみは雨が少い。大陸の南部の溫暖な地方では、西風が多

アマゾン川の流域はわが國全面積の約十一倍に及ぶ。

アンデス山系中には火山が多く、中にはアコンカグワ山は高さが約七千七百メートルで、この大陸第一の高峯である。コトパクス山は高さ約六千メートルで、世界最高の活火山である。

南カリメア断面圖



に及ばないが、流域の廣いことと、水量の豊かなこととは、世界第一である。その北に隣つ

を挟んでゐる。この山系は高さはヒマラヤ山系に次いで世界第二位であるが、長さは遙にこれに優つてゐる。大陸の中部には廣大な平野があり、東部にはブラジル山地とギヤナ山地とがある。

大河は皆大西洋に注いでゐる。大陸北半の大部分はアマゾン川の灌ぐ處で、この川は、長さはミシシッピ川及びナイル川



アンデス山系の南部

- 一 ヨコヤク
- 二 樹懶
- 三 蟻食
- 四 アルマサロ

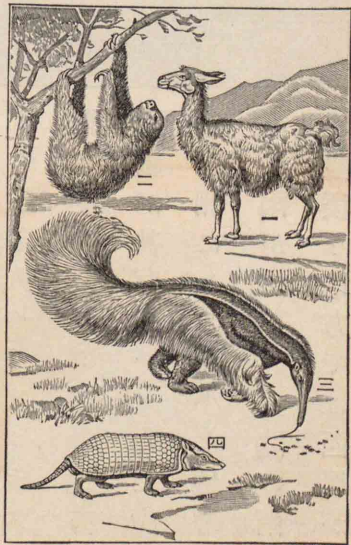
ココアの果實は碎いて飲料に用ゐ、またチョコレート原料とする。
 コンドル鳥は翼を張れば四米に及ぶものがあり、高山に棲み時々平野に來て牛馬等の家畜を襲ふ。

いため雨量は却つてアンデス山系の西側に多くて東側に少い。この大陸の平野は雨量の多少によつて或は森林となり、或は草地となつてゐる。

III 生物界 炎熱多雨の地は、

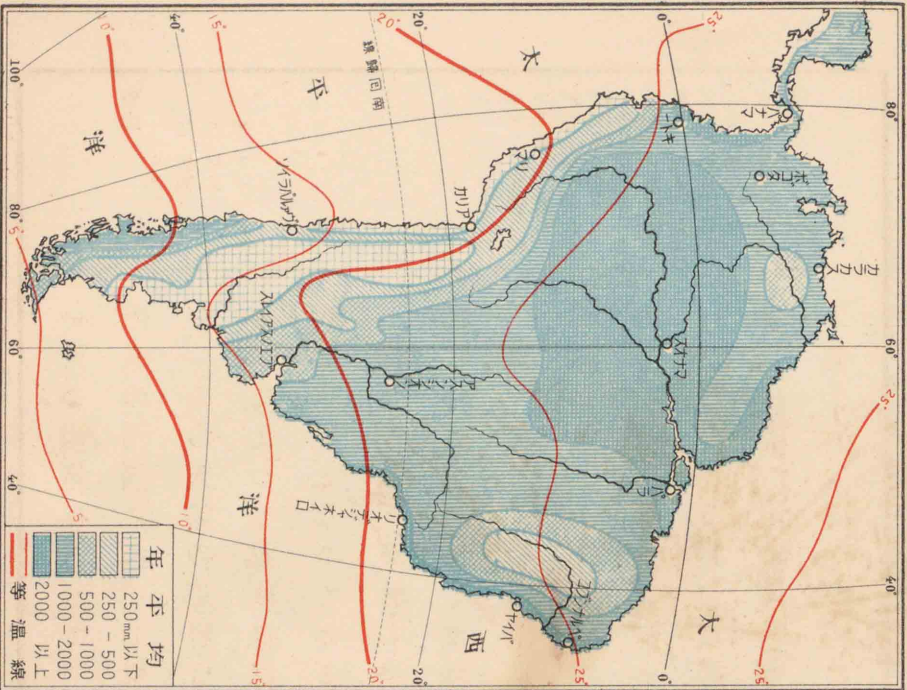
植物の種類が多くて、極めて美しい花卉がある。また規那・コーヒ
 !ココア・ゴム等有用植物の産が甚だ多い。

動物には樹懶・蟻食等があつて、この大陸動物界の特色と稱せられる。鳥類は種類が多く、コンドル鳥のやうな雄大なものもあれば、蜂鳥のやうな可憐なものもある。また有用動物で駄用家畜にリヤマ、絨毛を供給するものにアルパカがある。南部の平野にはも
 と舊大陸から輸入した牛羊が著しく繁殖してゐる。



動物の特有カリメア南

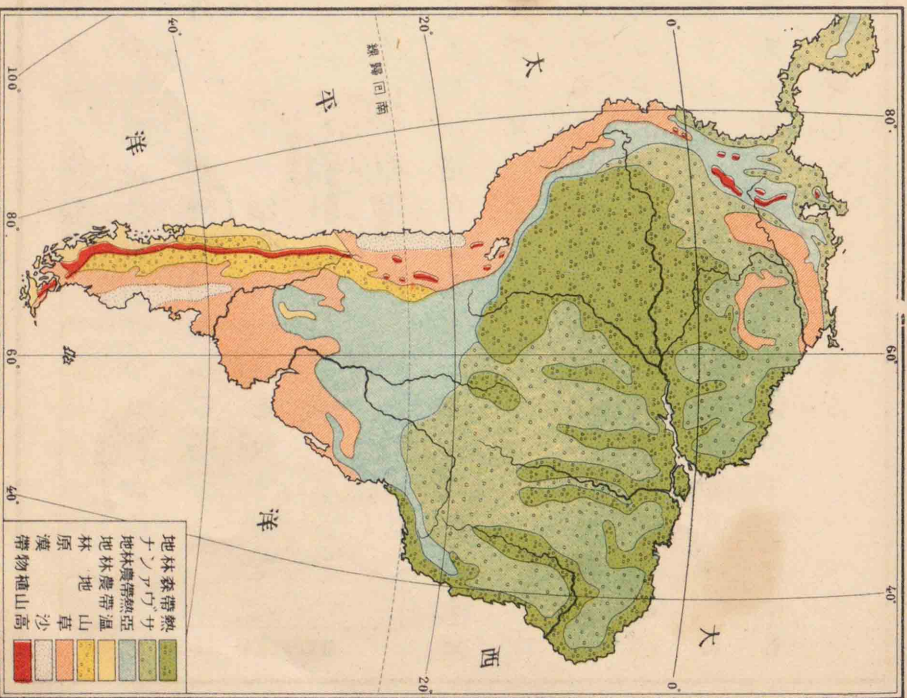
右分雨量及緯温等カリメア南



0 500 1000 1500 Km

1:70,000,000

右分物産カリメア南

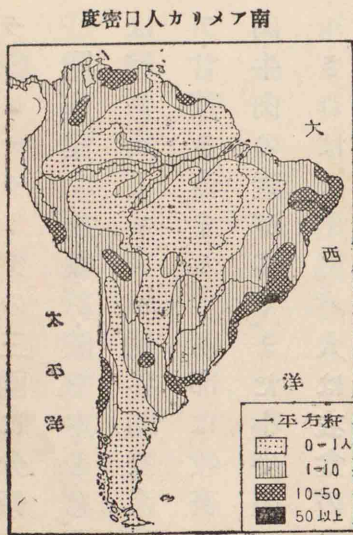


0 100 200 300 400 Km

人口の密度はわが内地の四十分の一に過ぎない。されば到る處移民を歓迎してゐる。ヨーロッパ殊にイタリヤから來るものが著しい。近來わが國の移民も少くない。

二 人 文

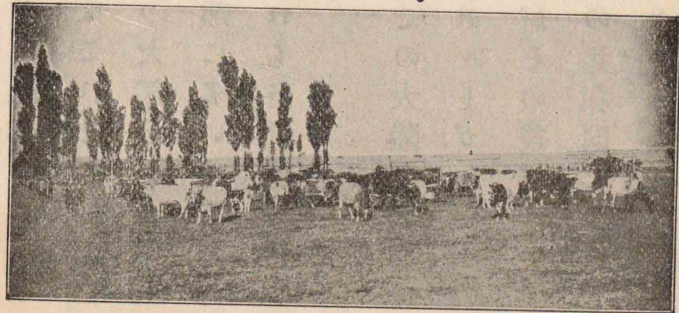
■ 住民 人口は大陸を通算しても約六千七百萬で、まだわが國に及ばない。従つてその密度が甚だ小である。土人のアメリカインヂヤンは少くないが、ヨーロッパの移住民はこれを壓服して、大陸の新主人となり、殊にイスパニヤ人は大陸の大部分を占領し、ポルトガル人はこれに次いで、ブラジルの東南部に多い。この外奴隸として移されて來た黒人も多く、従つてこれら各種族の混血種も少くない。



■ 國家 この大陸の大部分はイスパニヤ・ポルトガル兩國の領地であつたが、その後相ついで獨立し、今は十の共和國に分れた。ただ北部のギヤナのみはイギリスフ

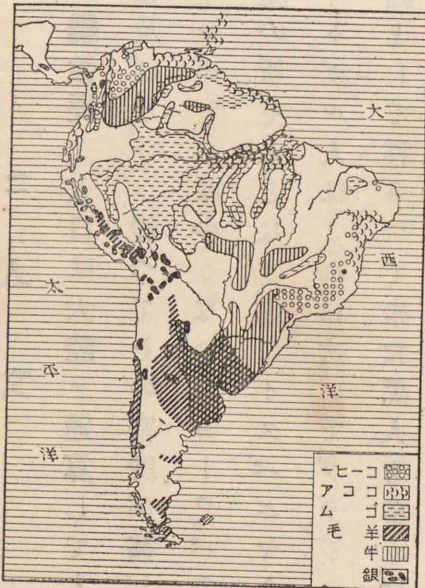
ランス・オランダの三國に分領されてゐる。

■産業 農牧林鑛を主とし、北部及び東部はゴム・コーヒーの世界的主産地で、またコア・甘蔗を産する。南部は牧畜が盛で、羊毛・羊肉・牛肉の産が多く、また小麦の産も少くない。さればヨーロッパ人は衣食の資料をこの大陸に仰ぐことが多い。その他アンデス山系からは銀・銅等の鑛物を出す。



南部の羊牧

南アメリカ産業分布



この大陸とヨーロッパとの間には数條の海底電線を通じてゐる。

交通

交通機關の發達はまだ北アメリカに及ばないが、河川は水運の便が多く、鐵道も次第に敷設せられて、南部にある一線は既にアンデス山上海拔三千米の峠を越えて、東西兩岸を連絡してゐる。また他の大陸との間には汽船の往來が頻繁で、わが汽船もその太平・大西洋岸の諸港に航路を開いてゐる。

三 西北部諸國

位置地形

大陸の西北部はコロンビヤ・エクアドル・ペルー及びボリヴィアの四國に分れる。域内にはアンデス山系が縦走して、到處山がちである。ただ山系の東側はやや緩斜して森林や草地になつてゐる。

産業

山麓の地にはココア・コーヒー等熱帯性の植物が繁茂し、高地には温帯性の穀物・果實を出し、また貴金屬の産が少くない。

コロンビヤ

アンデス山系の北端に位して、コーヒーの産が

コロンビヤ
面積 約一〇萬方里
(七二萬方里)
人口 約六〇〇萬
約六人

この大陸とヨーロッパとの間には数條の海底電線を通じてゐる。

面積 約三〇萬方里
 (一・九萬方里)
 人口 約二〇〇萬
 密度 約七人

パナマ帽はこの國の産物であるがパナマ商人の手を経て販賣せられるから、その名がついた。

面積 約一四〇萬方里
 (九萬方里)
 人口 約五〇〇萬
 密度 約四人

取採と燥乾の實果のアココ



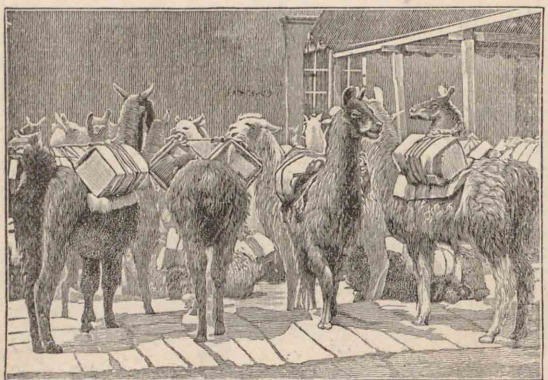
多い。首府をボゴタといふ。
四 エクワドル 赤道は正に國內を貫き、火山が甚だ多く、中にもコトパクス山は世界最高の活火山である。ココアの産が甚だ多く、またパナマ帽の特産がある。首府キトは海拔約三千米の高處に位して、四時氣候が溫和である。

五 ベルー エクワドルの南に隣つて、その東部アマゾン川上流の地方には規那ココア、コカゴム等を産する。西岸の地は雨量が少く、多くは荒地であるが、河邊には綿砂糖等を

産する。わが國の移民のこの國で、農林の業に従事してゐるものが少くない。アンデス山中には銀・銅・金を産し、海岸の小島にはグワノの層がある。

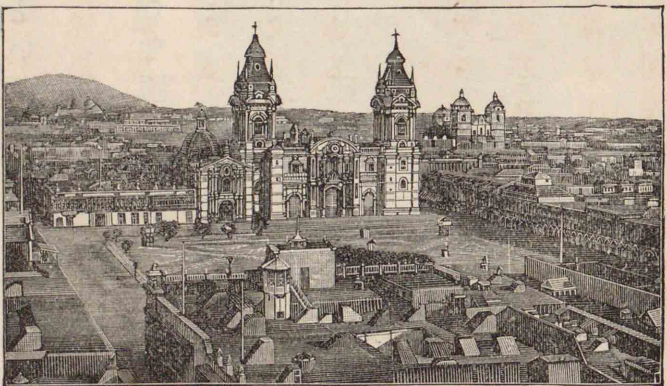
リマにわが公使館及び領事館がある。
 中央公園と大寺院とを示す。この寺院内にこの都市の建設者ピサロの墓がある。
 カリヤオはわが日本郵船會社船の航路にあたる。

面積 約一三〇萬方里
 (八・六萬方里)
 人口 約三〇〇萬
 密度 約二人



首府をリマ。三〇といひ、その市街は純然たるイスパニヤ風である。その西にある港市をカリヤオといふ。

六 ボリヴァイ



ペルーの東南に隣るア

錫の産額はマライ半島に次いで多い。

面積 約一〇〇萬方里 (六六萬方里)

人口 約二六〇萬

密度 約三人

この國の油田は現今驚くべき増産を示し、新興油田として世界注視の焦點となつてゐる。

ンデス山間の高地である。鑛産では錫と蒼鉛とが多く、林産にはゴムが最も著しい。交通が不便で、これらの産物は多くリヤマの背によつて運搬せられる。首府をラ・パスといふ。

四 北部諸國

■ヴェネズエラ カリブ海の南岸にある。國の中部、オリノコ川流域の草地には、羊牛等の放牧が盛に行はれる。北部にはコーヒー、砂糖の産が多い。また近年石油の産出が急激に増加した。首府カラカスは山間の高地に位し、甚しく迂回する鐵道によつてラ・グアイラ港と連絡してゐる。

■ギヤナ ヴェネズエラの東に隣る臺地で、イギリス・フランス・オランダの三國が分領してゐる。概ね熱帯の森林に被はれて、海岸には甘蔗の栽培が行はれる。

五 ブラジル

面積 約八五〇萬方里 (五五萬方里)

イグワッス瀑は國の南境にある。高さ五十五米、平時はアラシル瀑とアルシエンチン瀑とに分れ、雨季には相連つて幅約四軒に及ぶ。

アマゾン川は遠洋航路の汽船も遠く内地に入り、小舟は國の西境を出て、アンデス山麓の地に達することができ。

日移本民のヒーコ栽培



■位置地形 南アメリカ第一の大國で、大陸の東部・中部の大部分を占め、面積はわが國の十二倍に近い。

國の東部にはブラジル山地があるが、低くて峻しくない。その餘の大部分は廣い平野で、アマゾン川は多くの支流を併せてこれを貫いてゐる。その流域は概ね熱帯の森林が極めて深く、ただ西部のみは草地である。

■産業 東南部にはコーヒーの栽培が

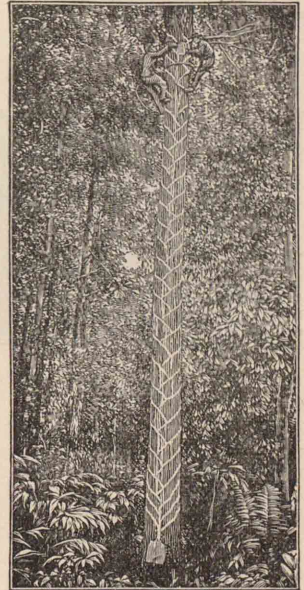


イグワッス瀑

1. 糸く肉はる
2. フラシル
3. 4. 1

約四人

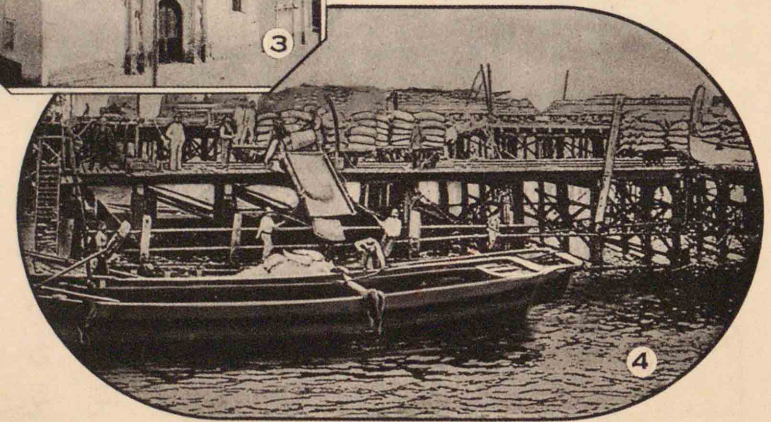
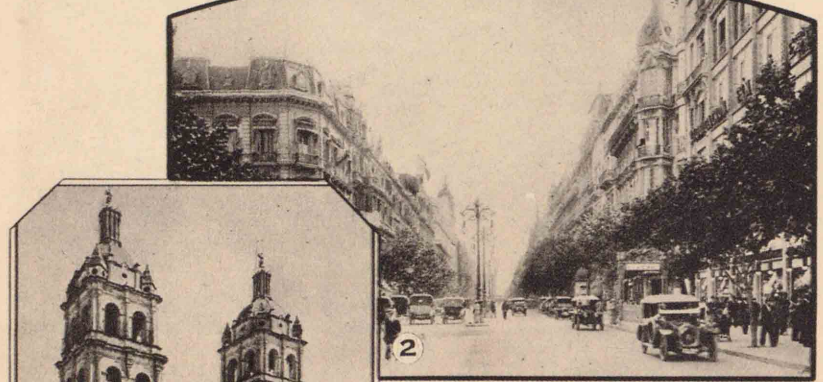
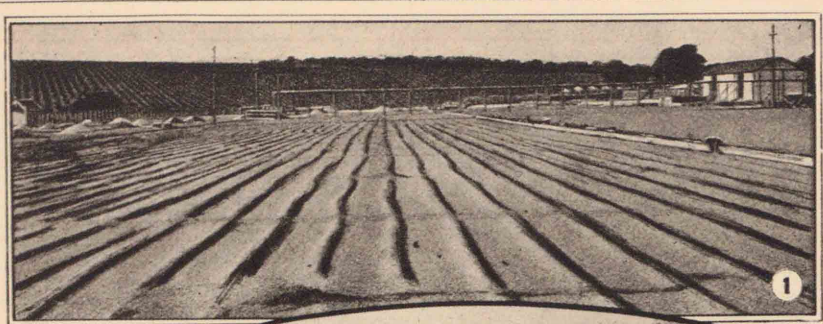
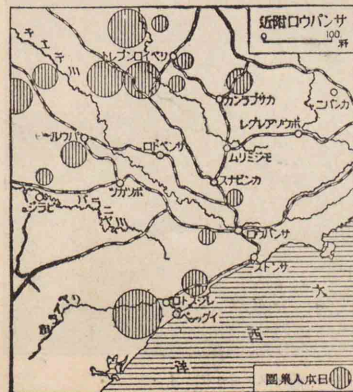
取採の液△ゴ



はこの國第二の産物である。また木材及び染料を多く出す。ブラジル山地には金・ダイヤモンドを産する。

住民 人口は約三千一百万で、その密度はわが國の三十分の一に過ぎない。ポルトガル人の子孫が最も勢力を占め、ポルトガル語を國語としてゐる。南部にはイタリヤ及びドイツからの移民が少くない。この國は約百年前、本國ポルトガルから

極めて盛で、その産額は世界全體の八割を占めてゐる。外に綿煙草、砂糖を産する。アマゾン川流域の森林は有用の天産に富み、殊にゴム

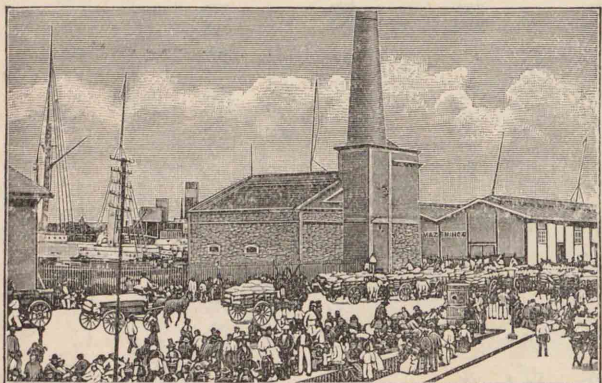


1. ブラジルのヒーコー畑と
果實の乾燥
2. エブスノイア市の街市
3. メキシコ市の大寺院
4. チリ硝石の積出

最近外國よりの移民数は一ヶ年約十二萬人を越え、現在ではイタリヤ人が最も多い。

リオデジャネイロにわが大使館及び領事館がある。

出積ーヒーコの港ストンサ



獨立して君主國となつたが、今はこの大陸の他の諸國と同じく共和國となつてゐる。

この國は勞力缺乏の結果、わが移民を歓迎して諸種の便宜を與へてゐるから、近年わが國人のサンパウロ州その他に來て、コーヒーや米の栽培等に従事するものが、次第に多く、その數が五萬を超えてゐる。

四 地方誌 東南の海岸はよく開けて、おもな都市はこの地方にある。首府をリオデジャネイロ(吾)といふ。世界有數の良港で、風景の美しいので名高い。その西にあるサントス港はわが移民の上陸地で、首府と共にコーヒー集散の大市場

サンパウロにわが
総領事館がある。

パラグワイ

面積 約二五萬方里
人口 約一〇〇萬

ウルグワイ

面積 約一八萬方里
人口 約一七〇萬

アルゼンチン

面積 約三〇〇萬方里
人口 約九六〇萬

モンテヴィデオに
わが領事館があ
る。

アルゼンチン

面積 約三〇〇萬方里
人口 約九六〇萬

モンテヴィデオに
わが領事館があ
る。

である。その北方のサンパウロ(五)はわが移民居住地の中心であ
る。アマゾン川の口に近いパラ(四)港はおもにゴムを輸出する。

六 南部諸國

■位置 大陸の南部を占め、パラグワイ・ウルグワイ・アルゼンチン・チ
リの四國を含む。

■パラグワイ 内地の小國で、マテと稱する灌木の葉よりパラグワ
イ茶を産し、大陸の諸國に輸出する。首府をアスンシオンといふ。

■ウルグワイ ブラジルの南端に隣る小國で、國內牛羊の放牧が
盛である。首府モンテヴィデオ(四)は港市で、貿易が盛に行はれる。

■アルゼンチン 大陸の南部の大國で、そ
の面積はわが國の四倍半にあたる。國の大
部分は平野で、雨量の少い處は草地になつて
ゐる。パラニャ川は遠くブラジルから來て、國

の東北部平野の中を流れ、下流はラプラタ
川となり、大西洋に入る。



テマ

■パタゴニヤ人は
體格巨大で、
身長平均百八十
厘、中には二百
厘に達するもの
がある。その衣
服及びテントは
獸皮で造る。

パタゴニヤ人の居住



この國はアメリカ
合衆國と共に小麥
の大供給國であ
る。

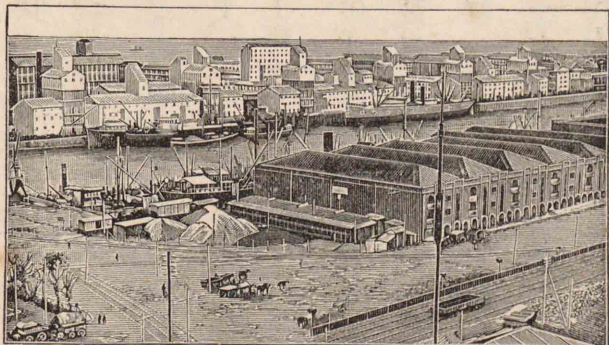
飼養し、貯藏肉の輸出が夥しい。農産には小麥が極めて多い。北
部には綿が作られ、わが國人の耕作するものがある。

アエノスアイレスはラテン民族國の中ではパリに次ぐ第二の大都會である。市にわが公使館及び領事館がある。

川の兩側にある建物は小麦倉庫である。

面積 約七五萬方呎
(四・九萬方里)
人口 約四〇〇萬
密度 約五人

首府ブエノスアイレスはラプラタ河口に臨む港市で、人口は二百三十萬に及び、南半球第一の大都市であつて、盛に羊毛、牛肉を輸出する。この港はわが日本郵船、大阪商船兩會社船の南アメリカ航路の終點にあたる。



港スレイアスノエア

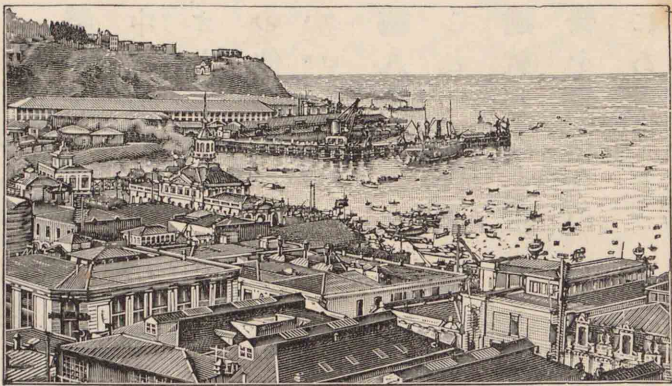
五チリ 大陸南部の西岸にある極めて細長い國で、南端をホーン岬といふ。アンデス山系の西側の斜面を占め、アルジェンチンとの境に聳えるアコンカグマ山は大陸第一の高峰である。

國の北部は雨が少くて、荒地となつてゐる。ここにはチリ硝石の産が夥しく、この國第一の富源である。南部には雨量が多く、林

チリは地形が狭長で、火山に富み、且つ銅の産出が多く、國民も進取の氣象に富み、種々の點に於てわが國と似てゐる。

サンチャゴにわが公使館がある。

港ソイラバルヴァ



業牧畜が行はれ、中部は氣候が溫和で、農業がよく發達してゐる。その他山中からは種々の金屬を出し、特に銅が多い。國民はよく産業を勵んで、アルジェンチンと共に、この大陸中國運進歩の著しいので知られてゐる。

中部海岸のヴァルパライソは國內第一の港市で、わが日本郵船會社船の南アメリカ西岸航路の終點である。鐵道はここから起つて、首府サンチャゴ(五)に通じ、またアンデス山系を横斷して、東の方アルジェンチンに入る。北部のイキケ港はチリ硝石の輸出で名高く、わが國に送られるものも少くない。

第五編 オセアニア(大洋洲)

第一章 總論

面積
約九〇〇萬方里
(五八萬方里)

■地文 オセアニアは世界最小の大陸オーストラリヤと、太平洋中に散在する大小多數の島々との總稱である。これを四大別し、オーストラリヤとその附近の島々をオーストララシヤと稱し、その他の島の東部にあるものをポリネシヤ、西北部にあるものをミクロネシヤ、西部にあるものをメラネシヤといふ。

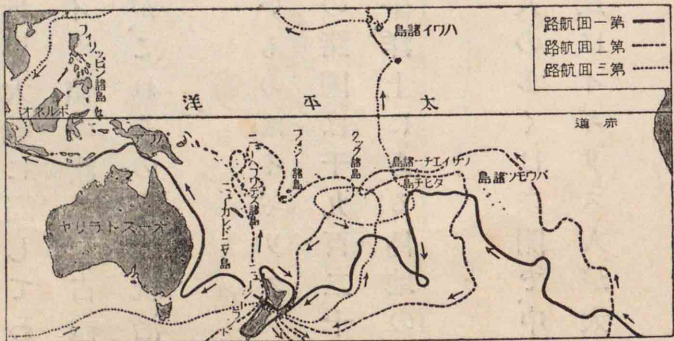
■人文 オセアニア洲のヨーロッパ人に發見せられたのは近代のこと、十六世紀にポルトガル人マジランは南アメリカの南端を廻航して太平洋を横斷し、その後イスペインヤはフィリピン諸島の經營を試み、今のメキシコとの間を屢往復するやうになり、その途中にあるミクロネシヤの諸島はその領地に加へられた。



クック

一方オランダ人は十七世紀にオーストラリヤ及びその附近の島を發見したが經營をしなかつた。然るに十八世紀の後半にイギリス人クックは太平洋諸島の探検に力め、オセアニアの地理がそれのために明かになつた。イギリスはこれに基づき、オーストラリヤを占領して拓殖を試み、更にポリネシヤの中に處々小島を占領するに至つた。

十九世紀に入つてフランスはポリネシヤの南部を占領し、ドイツもまた或は買収によつてメラネシヤ・ミクロ



クックの南太平洋探検圖

ネシヤ等に領地を造つた。アメリカ合衆國は北太平洋東部のハワイ諸島を併合し、更にイスパニヤとの戦に勝つて、フィリピン諸島と共にミクロネシヤのグム島を収めた。世界大戦に際してわが艦隊はイギリスの艦隊と共に出勤してドイツ領の諸島を占領し、戦後わが國並にイギリス及びその植民地が、これらの委任統治を行つてゐる。

かくて現今オセアニヤに利害關係の深いものは、イギリス・フランス・アメリカ合衆國及びわが國で、これらの諸國は千九百二十二年ワシントンで四國條約を結び、各國の太平洋上にある島地の領土の權利を尊重することを約した。

オセアニヤの住民は土人と植民とで、土人の多くは未開で、中にはその種族の絶滅に近いものがある。植民はイギリス人が大部分を占めてゐる。

人口 約八四〇萬

第二章 オーストララシヤ

一 オーストラリヤ

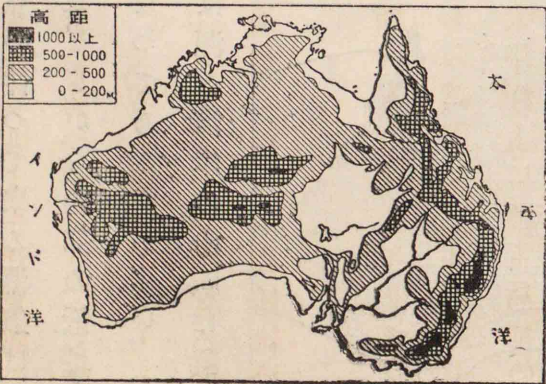
■ 境域地形

オーストラリヤはインド洋と、太平洋との間に挟

まつて、マライ諸島の東南に位し、その面積はヨーロッパよりもやや小さい。

海岸は、北にカーペンタリヤ灣、南にオーストラリヤ大灣のある外は、大きな出入がないが、小灣は處々にあつて良港を造つてゐる。東北の海には海岸と並行に一帶の珊瑚礁が斷續して長く連る。

これを大堡礁といふ。大陸の東南岸にはオーストラリヤア



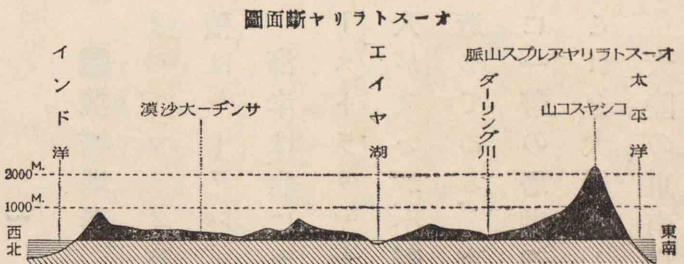
圖形地ヤリラトスーオ

面積 約七七〇萬方呎 (五〇萬方里)

大堡礁はその延長約二千呎に及ぶ。

この大陸の最高峯
コシヤスコ山は海
抜二千二百米に過
ぎない。

この大陸は南半球
にあるから四季は
北半球と反対であ
る。

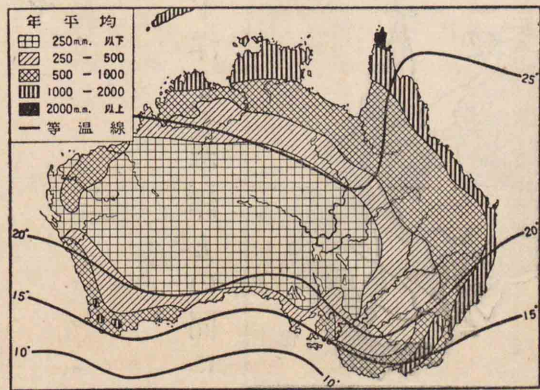


は温かで、内地は大陸性の特色を呈して、暑氣が殊に著しい。特有の生物として、

■ 氣候生物界 南回

歸線が正に大陸の中央を横ぎつて、北は暑く、南

ルプス山脈がある。東風の伴つて来る濕氣は、概ねこの山脈に觸れて雨となるから、内部の低地は雨が少く、沙漠や草地になつてゐる處が多い。東南部にあるマurler川は源を海岸の山脈に發し、水量が多く大陸第一の大河で、その流域には沃野がある。また内地には處々に鹹湖がある。



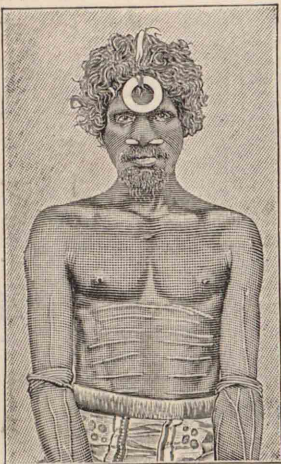
圖線温等・量雨ヤリラトスーオ

- 一、カンガルー
- 二、エミウ鳥
- 三、鴨嘴鳥
- 四、鴨嘴獸

人口 約六〇〇萬
密度 約〇・八人

クインズランドに住するもので、前額に環を垂れまた鼻飾を帯び體軀には傷飾を施してゐる。

人士のヤリラトスーオ



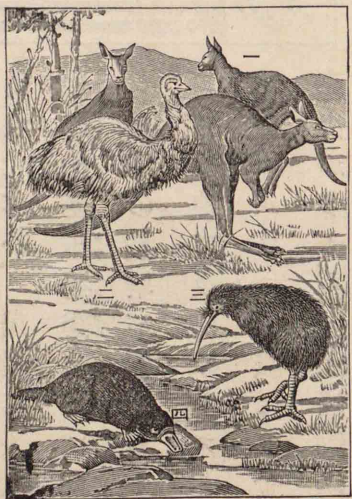
獸類にはカンガルー、鴨嘴獸、鳥類にはエミウ鳥、樹木にはユーカリ樹等があつて、いづれも珍奇なものである。

■ 住民 土人はオーストラリ

ヤ種族と稱する黑人であるが、今はその數が減じて、イギリス人がそのおもな住民となつてゐる。また労働者として支那人の渡來したものが多く、しかし新開地のこととして人口はまだ多くない。近時イギリス本國から失業者の移民するものが少くない。

■ 政治 この大陸はニューサウス

ウェールズ、ヴィクトリア、クインズランド、



物動の有特ヤシラトスーオ

下記の諸州の外北
オーストラリヤ・
中央オーストラリ
ヤの二州がある。

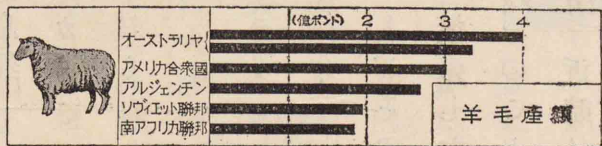
肉類は貯蔵肉とし
てヨーロッパに出
すものが多い。

石炭は南洋の市場
で、わが石炭と競
争の姿である。

南オーストラリヤ・西オーストラリヤ等の七州に分れ、タスマニヤ島と共に、オーストラリヤ聯邦を組織し、自治植民地の制を布き、イギリス王の任命する總督がこれを統治してゐる。

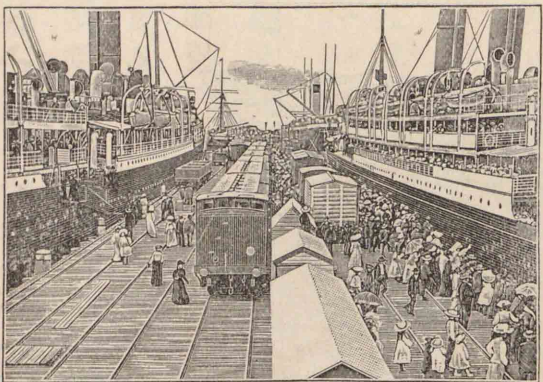
五産業 牧畜は本大陸第一の産業で、殊に羊の飼育が盛に行はれ、羊毛の産額は世界第一である。肉類の輸出もまた多い。農業もよく開けて小麥・玉蜀黍の外に葡萄・甘蔗等の栽培が盛である。西部地方及びオーストラリヤアルプス山脈には金の産出が多く、石炭・銀・鉛・銅・錫等

オーストラリヤの羊毛本見市場



シドニーにわが總領事館がある。

メルボルンの埠頭



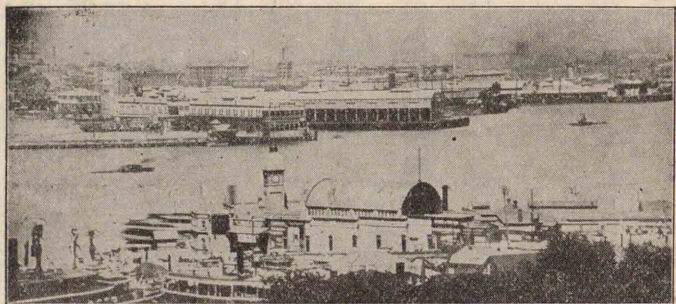
も處々に産する。

六交通 鐵道は海岸地方から起つて次第に内地に及び、海上の交通はよく開けてゐる。海底電線は舊大陸の各地に通ずる外に、太平洋を横ぎつて北アメリカとも連絡してゐる。

の東南部は最初に開けた處である。シドニー(シド)は大陸

七地方誌 大陸

第一の都市で、世界屈指の良灣ジャクソン灣に臨み、貿易が盛である。その西南に

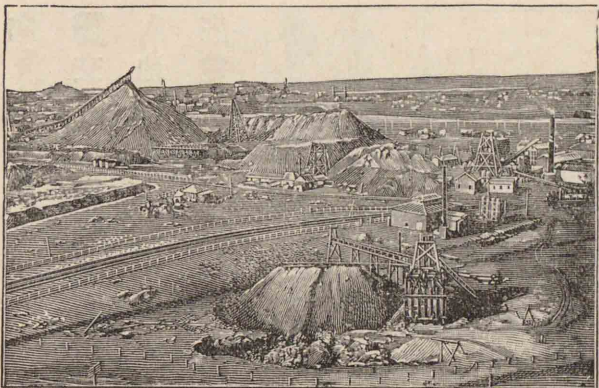


シドニー港

この大陸の二大都市の中間の地を選び、無人の平野に歴史的の拘束なく作られた理想的の市街。

大陸の東南部にあり有名な大鐵山で、鉛・銀を産する。

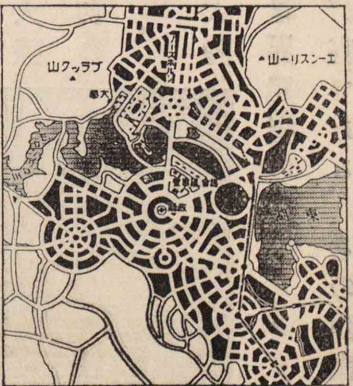
あるメルボルン(齒)は羊毛金の輸出が夥しい。この兩都市の中間に聯邦の首府カンペラがある。



山嶺ルヒンクロープ

東北部のタウンズヴィルは羊毛の輸出港である。大陸の北端トレス海峡の木曜島附近は、久しく眞珠貝の産地として名高く、わが國人のその採取に従事するものが多かつたが、今は西方へ移つて行つた。

大陸の西南部は近年金の産出が大に増加し、従つて土地が盛に開けて來た。



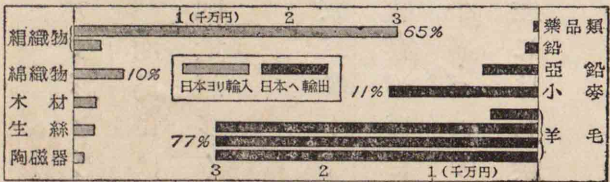
ラベンカ

タスマニヤ島
面積 約六・八萬方軒
(四〇〇〇方里)
人口 約二一萬
密着 約三人

パリスはその地方の港市である。その北方のブルームにはわが國人が多く居住して、眞珠貝の採取に従事してゐる。南岸のアデレード(三)港は小麥を輸出する。

大陸の東南方にはバス海峡を隔てて、タスマニヤ島がある。氣候が良好で、土地が肥沃である。また風景の勝れてゐるので名高い。土人は今は絶え果ててイギリス人がこれに代り、農牧を勉めてゐる。ホバートは島の中心都市である。

オーストラリヤと日本 オーストラリヤにはわが國人の在留して、採貝業その他の事業に従ふものも多く、わが日本郵船會社船はこの大陸に往來して、絹織物・綿織物等を送り、おもに羊毛・小麥等載せて歸る。



品易貿要主本日・カリラトスーオ

ニ ニュージーランド

オーストラリアの東南に位し、長靴を倒にしたやうな形をしてゐる。クック海峡が中央を横ぎつて、南北二島を分つ。南島には山脈が高く連り、北島には火山が多い。氣候は溫和で雨量が多く、天産には鴨駝鳥のやうな特殊なものがある。

土人は好んで黥をするマオリ種族であるが、その数が多くない。これに反してイギリスの植民は愈榮えてゐる。農牧業が盛に行

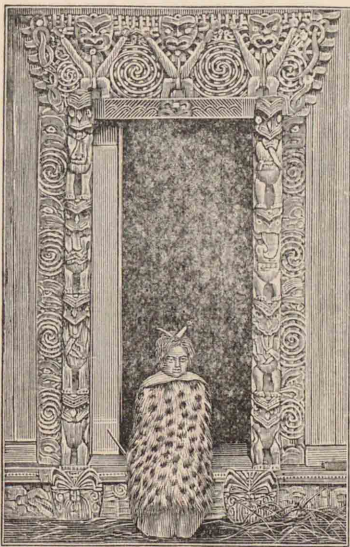
はれて、羊毛・羊肉・小麥・ゴムの産が多い。また鑛産には石炭・金を出す。

首府ウエリントン及び本島第一の商港オークランド(三)は共に北島にある。

面積 約二六萬方軒
人口 約一三〇萬
密度 約五人

マオリ人は家屋の正面に、黥ある主人の顔を模刻して門標の代用にする。

家のそと人りオマ

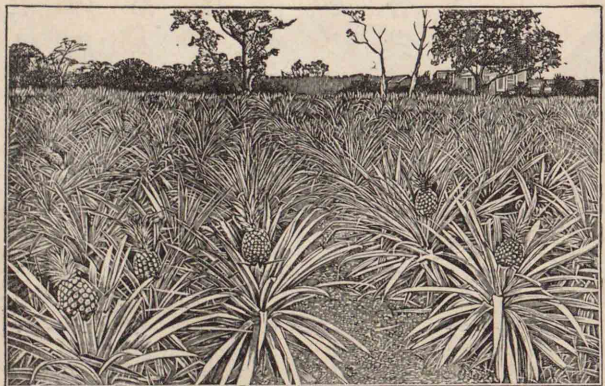


第三章 ポリネシヤ

位置 太平洋の中央に散在する多数の島から成立つてゐる。ハワイ諸島及びサモア諸島はその中の著名なものである。

ハワイ諸島 火山の列島で、ハワイ島のキラウエヤ山の大火口には熔岩が常に溢れてゐる。諸島は熱帯中に位して、植物がよく繁茂し、砂糖・パインアップル等の産が極めて多い。

この諸島はアメリカ合衆國に屬する。人口は約三十三萬あるが、土人は僅にその七分の一に過ぎない。その他は皆外



畑ルブアインイバのイワハ

面積 約一・七萬方軒
人口 約二〇〇方里

密度 約二〇人

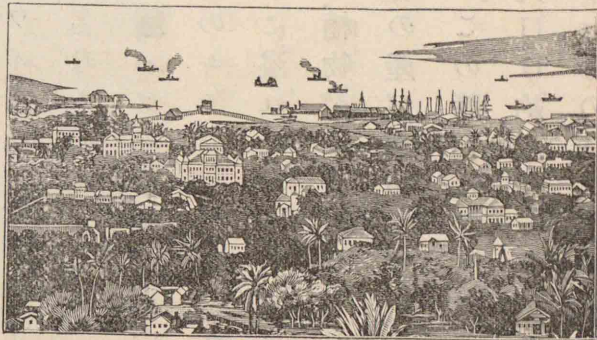
移住民はわが國人の外にフィリッピン人・ポルトガル人・支那人が多い。

ホノルルにわが總領事館がある。わが日本郵船會社の汽船はここに寄港する。

圖説

眞珠貝と芋麻との頭飾及び海獸の齒の頸飾はサモア人男女を通じての盛裝である。

ホノルル



國の移住民で、中にもわが國人は十三萬以上に及び、全人口の四割を占め、大抵甘蔗の耕作に従事してゐる。

首府ホノルルはオアフ島にあつて、太平洋交通の要點を占め、その海底電線もこの地を経由する。その附近のパールハーバー(眞珠港)は、アメリカ合衆國の海軍大根據地である。ハワイ島にはヒロの名邑があり、附近にわが國人が多い。

三 サモア諸島 ハワイ諸島とニュージーランドとの間に位し、その東南部はアメリカ合衆國に屬する。



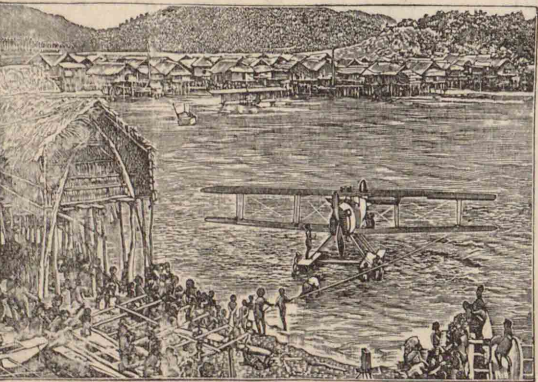
モサ島の土人

西北部はもとドイツ領であつたが、今は國際聯盟管理の下にニュージーランドが委任統治を行つてゐる。アピヤ港は南洋航路の要點で、多くコブラを輸出する。

第四章 メラネシヤ

位置 オーストラリアの北から東北に連つてゐる。次の諸島がそのおもなものである。

一 パプア島その他 パプア島は世界第二の大島で、中央には高峻な山脈が連り、その南麓には廣い平野がある。住民はパプア種族と名づける未開の黒人で、水上または樹上に家屋を營むものが多



パプア土人の水上家屋

パプア島は一にニューギニーといひ、その面積はわが本州の三倍半にあたる。

面積

約七十七萬方呎(五萬方里) 約八〇萬 約一人

い。西部はオランダに、東南部はオーストラリア領である。東北部は附近のビスマルク諸島と共に、もとドイツに屬してゐたが世界大戦の後、オーストラリアが委任統治を行つてゐる。

これらの島々には籐、コブラ等を産し、その近海からは眞珠貝や鼈甲が採れる。殊にパプア島の極樂鳥はその羽毛の美しいので名高く、他の鳥類の羽毛と共に輸出せられる。

③ ニューカレドニア島 パプア島の東南にあつて、フランスに屬し、ニッケルを産する。

④ フィジー諸島 ニューカレドニア島の東北に位するイギリス領で、風景が美しく、木材、砂糖を産する。また南太平洋交通の一要點である。

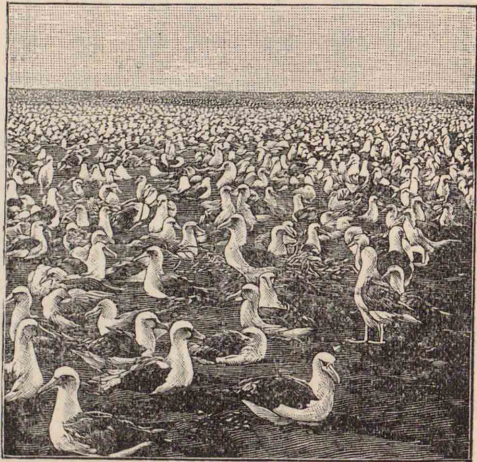
第五章 ミクロネシヤ

面積 約二〇〇方軒
(二四〇方里)
人口 約五・六萬
密度 約二五人

ミクロネシヤはフィリピン諸島の東から、フィジー諸島の北に至る間に散在する無数の小島で、多くは珊瑚礁または火山島から成立つて、コブラ、燐、鑛、海鳥、鼈甲、貝類等を産する。土人はおもに未開のミクロネシヤ種族である。

赤道の北にはマーシャル、東西カロリン及びマリヤナの諸島がある。その大部分はもとドイツに屬してゐたが、わが國は世界大戦に際し、これを軍事的に占領し、講和の後委任統治を行つてゐる。

マリヤナ諸島はわが富士火山脈の南に列つて、僅に彎形を畫き、おもに火山島から成立ち、ただ南部の諸島には隆起珊瑚礁がよく



(島人無ヤシネロクミ) 集群の鳥うほあ

グワム島南方の海淵は深さ約九千八百米に及ぶ。

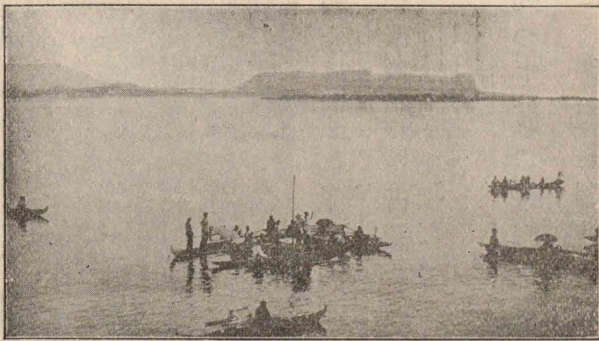
貝殻及び椰子の内果皮で作った耳飾りをつけてその美を誇る風がある。多いものは百以上を垂下する。

發達してゐる。サイパン島はわが統治の主島で、甘蔗と綿との栽培が行はれてゐる。最大島グワムのみはアメリカ合衆國に屬して、その太平洋の貯炭所である。海底電信線は北アメリカからハワイを過ぎ、グワム島で三分し、一は北の方小笠原島を経て東京へ、一は直に西方フィリピン諸島に至り、一は西南に向ひ、ヤップ島に通ずる。カロリン諸島



人グワルト

は火山島と珊瑚礁とからできて、ポナペ島が最も大きく、クサイエ島がこれに次ぐ。トルック島には珊瑚礁で囲まれた廣い礁湖の中に火

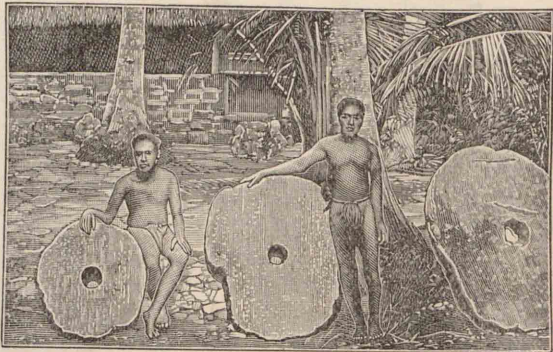


岸海の島メナボ

石貨の大きなものは直徑一米以上に及ぶ。

燐鐵は海鳥の排泄物が珊瑚石灰岩に作用して燐酸石灰となつたもので、この島では厚さ六米に及び總量約一萬噸と稱せられる。

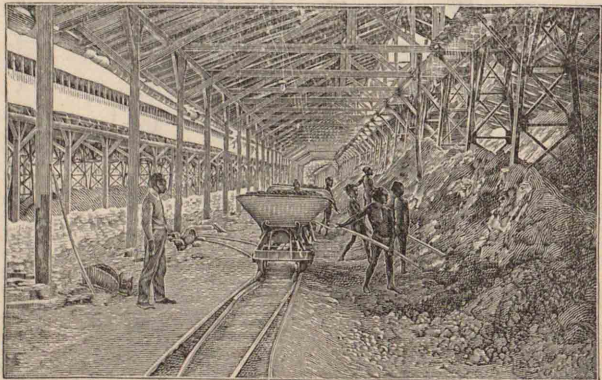
石貨



貨を用ゐる奇風がある。

パラウ島にはマラカルの良港がある。諸島中のコロール島に南洋廳を置く。近海に蝶貝・高瀬貝を産する。その南方

山群島があつて、良好な碇泊地を有してゐる。ヤップ島は海底電信線のおもな中繼所で、一方マライ諸島に通じ、一方グワム竝に上海に通じて、わが國內地と連絡する。土人は今なほ石貨貝



出積燐鐵の島ルウガンア

のアンガウル島には燐鑛の産出が極めて多く、わが委任統治地域
 第一の富源である。
 マーシャル諸島は珊瑚礁で、できた二列島から成立つてゐる。南
 部のヤルット島はその主島で、わが海軍の最初に占領した處であ
 る。その礁湖は大船を容れるに適し、礁上の主邑をジャポールとい
 ふ。この諸島にはココ椰子が繁茂し、コブラの産が殊に多い。
 マーシャル諸島の南には、赤道を越えてギルバート、エリス等の諸
 島が相連り、終にフィジー諸島に及ぶ。皆イギリス領である。ギ
 ルバート諸島の列から西に離れて、オーシャンナウルの二島があつ
 て共に燐鑛を産し、わが移民がこれを採掘して、多くわが國に輸送
 する。ナウル島はもとドイツ領であつたが、世界大戦後大英帝國
 が委任統治を行つてゐる。

第六編 兩極地方

明治四十二年にア
 メリカ合衆國人ピ
 ヤリーは北極に到
 達して、北極附近
 は堅氷に鎖された
 深海であることを
 確めた。大正十五
 年ノルウェー人ア
 ムンセンはイタリ
 ヤ製の飛行船でス
 ピッツベルゲンか
 ら北極を横断して
 アラスカまでの飛
 行を遂行した。

北極横断の飛行船ノルゲ



■北極地方 北極附近は、ユーラシヤと北アメリカとに圍まれ、
 北極海がその大部分を占めてゐるやうである。そのユーラシヤ
 沿海にはスピッツベルゲン、フランツヨセフランド等の諸島がある
 に過ぎないが、北アメリカ方面にはグリーンランドの大島を始め、
 島が甚だ多い。シベリヤ北部の海は概ね遠淺であるが、グリーン

ランドの東方から北方にかけ
 ては深海がある。
 大西洋の暖流は、スカンデナ
 ヴィヤ半島の西から、北を掠めて
 北極海に入る。またシベリヤ
 の北から北極附近を通過して、

明治四十四年にノルウェー人アムンゼンは氷壁から上つて南極に達した。

南極地方にはペンギン鳥が甚だ多いのを特色とする。この他種々の鳥類がある。海獣には海豹・鯨を見る。

ンセンムア



グリーンランドの東岸に向つて流れる寒流がある。

南極地方 南極附近は、従来の探検によれば、オーストラリアの南には、廣大なウイルクス州・ヴィクトリア州・エドワード七世州等があり、南アメリカの南にはグラハム州があつて、その沿岸には卓状になつた氷の峭壁が連つてゐる。これらの地方は大陸であるやうで、これを南極洲といふ。そして南極は實にこの大陸内地の高臺の上にある。ヴィクトリア州のロス海の岸には、有名な活火山エレブスがある。

(了)

新制 女子世界地理



大正十三年一月四日發行
昭和二年二月四日訂正四版發行
昭和三年九月廿五日修正五版印刷
昭和三年九月廿八日修正五版發行
昭和四年一月十日訂正六版印刷
昭和四年一月十五日訂正六版發行

定價 金壹圓參拾貳錢

著者 山崎直方

發行兼印刷者 株式會社 東京開成館
代表者 松本繁吉

西部販賣所 大阪市東區北久寶寺町心齋橋筋角 三木佐助

東部販賣所 東京市日本橋區吳服橋二丁目五番地 林平次郎

發行所

東京市小石川區小日向水道町八十四番地
〔振替貯金口座〕東京五三三二二番

株式會社 東京開成館

東京藥地活版製所印刷

牙三學年斯班下組政子

Handwritten notes on the right page of an aged notebook, including a faint rectangular border and various illegible markings.

Vertical text on the left side of the page:

三月廿五日 禮拜五
三月廿六日 禮拜六
三月廿七日 禮拜日

Vertical text on the right side of the page:

三月廿八日 禮拜一
三月廿九日 禮拜二
三月三十日 禮拜三

Vertical text in the center of the page:

三月三十一日 禮拜四

Vertical text at the bottom of the page:

三月三十一日 禮拜四

五二五九〇九



広島大学図書

2000031336



庫
9
36